

1790迄 (2181件)

1781年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンケレン大統領府総督「エドワード・Coles」(~1785年)
1781年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「アラ・デ・イン・ムハンマド・ダウト・シャー」(~1795年)
1781年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Achral」(~1796年)
1781年-08:00|マレーシア/タイ| |||トレンガヌはタイの主権下(~19090709)
1781年-07:00|タイ| |||<就任>ラムプーン公(チャオ)「セティ・カム・ファン」(~1826年)
1781年-07:00|ラオス/タイ| |||ウー・エンチャンはタイの家臣(~18281112)
1781年-05:30|インド| |||<死去>キヤンガール国マハラジャ「ハ・ハート・ウル・シン」
1781年-05:30|インド| |||<就任>シロヒ国統治者(ラオ)「ジャガット・シン」(~1782年)
1781年-05:30|インド| |||<就任>トール国統治者(タクル・サーヒブ)「ジュノー2世ジェイムズ」(~1789年)
1781年-05:30|インド| |||<就任>トール国統治者(タクル・サーヒブ)「ジュノー2世ジェイムズ」(~1789年)
1781年-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ラジャ「ダサラ・マルトラージ・ハリチャンドン」(~1784年)
1781年-05:30|インド| |||<就任>パタル国統治者(シュリマット・タクル・サーヒブ・シュリ)「タルパ・ツインジ」(~1783年)
1781年-05:30|インド| |||<就任>パランプ国統治者(デ・イワン)「シール・カーン」(~1788年没)
1781年-05:30|インド| |||<就任>ヒンドル国ラジャ「ラム・チャント・ラ・シン・マルトラージ・ジャガデブ」(~1786年)
1781年-05:30|インド| |||<就任>マンデイ国ラジャ「スルマ・セン」(~1788年没)
1781年-05:30|インド| |||<即位>キヤンガール国マハラジャ「ヒラト・シン」(~17881122没)
1781年-05:30|インド/イギリス| |||イギリスがサトラス占領(~17850629)
1781年-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダ領インド・コロンデル海岸の駐屯地がイギリスに占領される(~17840520)
1781年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第49代ハン「フラド・カーズィー」イルハム2世の孫(~1783年)
1781年-05:00|ウズベキスタン| |||タシュケントはブハラに従属、カザフの支配終了(~1784年)
1781年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフタハン汗国ハン「アッバス・クルリ・ハン」(1回目~1783年)
1781年-04:00|セシル/フランス| |||<就任>フランス領セシル司令官「ルイ・フランソワ・クロード・ベルロット・ド・ラ・コステ」(~1783年)
1781年-02:00|コンゴ民主共和国| |||<即位>ルバ王国ムポウエ「イルガ・ヌンク」(~1809年没)
1781年-02:00|エジプト| |||イブラヒムとムラドが和約し、上エジプトでの支配権を認可
1781年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ウリス「メフメト・パシャ」(~1783年)
1781年-01:00|フランス| |||<就任>ルル伯「ルイズ・ド・モン」(~1789年)マイエヌ女公、メイユエ女公
1781年-01:00|ドイツ| |||この年、カト「純粋理性批判」刊
1781年 00:00|イギリス| |||<開通>アイアンブリッジ(イングランド中西部シュロップシャー州のアイアンブリッジ峡谷において、集落アイアンブリッジからセヴァン川に架けられた 全長約60mの橋)
1781年 00:00|フェロ諸島| |||大西洋のフェロ諸島で麻疹が流行
1781年 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「アンソニー・セントリガー」(~1782年)
1781年 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス| |||<就任>タークス・カイコス諸島代理人「Andrew Seymour」(~同年)
1781年-05:30|インド| |||アクト王アサフ・ウッダウがファイザーバードからラナウに遷都
1781年1月 04:00|サマラタ/フランス| |||<就任>フランス領サマラタ副王代理「viscount de Damas」(~1782年)
1781年1月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|安永9年12月8日|<死去>初代嵐吉三郎
1781年1月5日-09:00|日本|高知県高知市|安永9年12月11日|<加増立藩>土佐新田藩13000石(浦戸城)「山内豊産」(
⇒天明3(1783)年5月21日、隠居)
1781年1月6日-09:00|日本|京都府綾部市|安永9年12月12日|<死去>丹波綾部藩19500石「九鬼隆貞」(52歳)⇒翌年3
月12日、婿養子「九鬼隆祺」が継ぐ(⇒天明7(1787)年1月30日、23歳で死去)
1781年1月8日 05:00|バルバドス/スペイン| |||クスコ軍、反撃に出る。ピチェ山を奪取し、トゥパマル軍の正面を叩く
1781年1月15日 04:00|ボリビア/スペイン| |||チャパタの新代官アケニャ、カリをとらえ処刑/トマスの弟ダマソ、ニコラスのカリ兄弟
が7千のインディオをひきい、チャルス附近のプニリヤ山に陣を構え一連の暴動を起こす
1781年1月17日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<アメリカ独立戦争:カハペンスの戦い>サスカラワの「カハペンス」でモガン將軍指揮で英
国軍に完勝
1781年1月19日-09:00|日本|北海道|安永9年12月25日|<完成>松前広長「福山秘府」60巻
1781年1月24日-09:00|日本| ||安永10年|この年松前広長「松前志」を著す
1781年1月24日-09:00|日本| ||安永10年1月|<刊行>大田南畝、黄表紙評論書「菊寿草」
1781年1月24日-09:00|日本| ||安永10年1月|<出版>湖龍斎「混雑倭艸画」(浮世絵)
1781年1月24日-09:00|日本| ||安永10年1月|<出版>谷素外、俳書(北尾重政の挿画)「俳諧名知折」
1781年1月24日-09:00|日本| ||安永10年1月|<出版>鳥山石燕「百鬼夜行拾遺」(浮世絵)
1781年1月27日 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<就任>リワード・カリビ諸島総司令官・総督代行「アンソニー・ジョン
ン」(~8.27)
1781年1月28日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「フランシスコ・カサ・イ・ソト・ハラナ」(~同年)
1781年1月29日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「徐命善」(~17830408)
1781年1月30日-09:00|日本| ||安永10年1月7日|<死去>曾我蕭白(52歳)絵師
1781年2月-05:30|インド| |||<就任>パティアーラ国統治者(ラジャ・エ・ラジガン)「サーヒブ・シン」(~1810年)
1781年2月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「メルク・メフメト・パシャ」(~1782年7月)
1781年2月 00:00|イギリス/BES諸島| |||ロドニー、オランダ領のセントユスティウス島攻略
1781年2月1日-09:00|日本|東京都中央区|安永10年1月9日|日本橋新材木町より出火、葦屋町、堺町など類焼、市村
座、中村座が全焼
1781年2月3日 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>サバ島副司令官「Sir James Cockburn」イギリス司令官(~同年)
1781年2月3日 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユスティウス島知事「George Bridges Rodney」(~5.3)

1790迄 (2181件)

1781年2月3日 04:00|BES諸島/イギリス| |||カバ島、セント・ユスティウス島をイギリスが占領 (~11. 26)
1781年2月4日-09:00|日本|岐阜県中津川市|安永10年1月12日|<死去>遠山友清 (47歳) 前美濃苗木藩主
1781年2月5日 04:00|サン・マルタン/イギリス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王「Andrew Edhouse」イギリス司令官 (~9. 6)
1781年2月5日 04:00|セント・マルテン/サン・マルタン/イギリス| |||イギリスがサン・マルタン全島を占領 (~11. 27)
1781年2月6日 06:00|アメリカ| |||大陸会議、財務局設置
1781年2月6日-09:00|日本|石川県加賀市|安永10年1月14日|<死去>前田利道 (49歳) 前加賀大聖寺藩主
1781年2月10日-01:00|スペイン/ボリビア| |||ホルコの町でインディオと組んだクリオールの反乱。スペイン人を虐殺し町を占拠
1781年2月11日-09:00|日本|新潟県村上市|安永10年1月19日|<死去>越後村上藩5万石「内藤信凭」(34歳) ⇒長男「内藤信敦」が継ぐ(⇒文政8 (1825) 年4月6日、死去)
1781年2月12日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ホプトン伯「ジョン・ホプ」
1781年2月12日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ホプトン伯「ジェームズ・ホプ」=ジョンストン 先代の息子 (~18160529死去)
1781年2月13日-09:00|日本| |||安永10年1月21日|<死去>初代常盤津文字太夫 (73歳) 常盤津節太夫
1781年2月17日-01:00|スペイン/ボリビア| |||セゴビア率いるチャルカスのアタ・イエシア軍がカリ軍討伐をおこなうが大敗
1781年2月19日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ドゥアルテ・デ・メロ・ダ・シルバ・エ・カストロ・デ・アルメイダ」 (~3. 19)
1781年2月20日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「イェット・メフメト・パシャ」(2期目 ~17820825)
1781年2月20日-01:00|スペイン/ボリビア| |||セゴビアに代わりイグナシオ・フローレスが率いるチャルカス軍プニリヤ山を奪取。ダマスカリはチャパタに逃れるが逮捕
1781年2月23日-08:00|中国| |||清・乾隆46年2月|清で「四庫全書総目提要」の原稿が完成
1781年2月23日-09:00|日本|大阪府大阪市|安永10年2月1日|<死去>初代・常盤津文字太夫/73歳(誕生:宝永6 (1709) 07) 常盤津節を完成させた
1781年2月24日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||イギリスによるデメラ占領
1781年2月26日 04:00|フォーランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォーランド 諸島司令官・総督「Jacinto Mariano del Carmen Altolaquirre」 (~17830401)
1781年2月27日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||イギリスによるベルビツェ(パルパトスに從属)の占領 (~17820215)
1781年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Azmadade Yusuf Pasha」 (~同年) ⇒「Celik Mustafa Pasha」 (~同年) ⇒「Osman Pasha」 (~1782年)
1781年3月1日 04:00|ボリビア/スペイン| |||シカでインディオの反乱/セグレロはこれを鎮圧し住民多数を殺りく
1781年3月1日 06:00|アメリカ| |||アメリカで連邦規約が全邦に承認される
1781年3月2日 06:00|アメリカ| |||<就任>連合会議議長「Samuel Huntington」 (~7. 10) 無所属
1781年3月3日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||イギリスによるエセキ 占領(デメラとエセキはパルパトスに從属 ~17820209)
1781年3月3日-09:00|日本|青森県八戸市|安永10年2月9日|<交替>陸奥八戸藩2万石「南部信依」隠居 ⇒長男「南部信房」が継ぐ(⇒寛政8 (1796) 年2月13日、隠居)
1781年3月6日 04:00|ボリビア/スペイン| |||南部のトゥピサでクリオールのラツ・デラ・ペガのひきいる反乱/10日後にラツ逮捕
1781年3月7日-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公摂政「アルネエ・ブラメツク」 (~17840515死去)
1781年3月7日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ジャン・バティスト・ベルラン」 (~1782年7月)
1781年3月8日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「マルコ・アントニオ・シエンタイル」 (~17830308)
1781年3月9日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「アルトゥーロ・オニール・イ・ティロン」 (~1792年)
1781年3月13日 00:00|イギリス| |||英国天文学者ウィリアム・ハーシェル(43) が天王星を発見
1781年3月14日-03:30|イラン| |||<死去>サント 王朝ワキル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「ムハンマド・サディク・カン・ザント」
1781年3月15日-03:30|イラン| |||<即位>サント 王朝ワキル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「アリ・モト・カン・ザント」 (~17850211没)
1781年3月15日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<アメリカ独立戦争:ギルフォード 郡庁舎の戦い>ノースカロライナのギルフォード・コートハウスで、イギリス本国軍のコーンウォリス将軍が植民地軍を破るも犠牲者多数
1781年3月16日 05:00|コロンビア| |||ニューグラタで、重税と独占に抵抗するコメーロスの反乱が勃発
1781年3月17日 04:00|サン・バルテルミー/イギリス| |||セント・バーソロミュー島をイギリスが占領 (~11. 26)
1781年3月19日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「運営委員会(フランシスコ・デ・サン・シマン/ル・フェレイラ・ダ・シルバ/ジョアン・フレイル・デ・アントラーデ)」 (~17821116)
1781年3月21日-01:00|フランス| |||フランスの天文学者ピエール・メシャンが「伴銀河」発見
1781年3月25日-08:00|中国| |||清・乾隆46年3月|甘粛でムスリム宗派対立から、蘇四十三が指導する反乱がおこる
1781年3月29日-09:00|日本|東京都新宿区|安永10年3月5日|<大相撲>安永10年3月場所[江戸市ヶ谷左内坂長龍寺] (~10日間) 優勝(西大関) 谷風、9勝0敗1休、50連勝
1781年3月31日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| |||<就任>トリニダード 知事「ファン・フランシスコ・マチャート」 (~17840123)
1781年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・アントニオ・レオナルディ」 「シローモ・パオロニ」
1781年4月3日-01:00|オーストリア| |||初演>グオルファン・アマデウス・モーツァルト《交響曲第34番ハ長調》
1781年4月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・乾隆46年3月10日|朝鮮、江華に外奎章閣を設立
1781年4月4日-09:00|日本|福井県勝山市|安永10年3月11日|勝山城下で大火、家中80軒・町家582軒焼失
1781年4月6日-01:00|スペイン/パル| |||討伐軍とトゥパマル軍、サカラで決戦。トゥパマル軍は壊滅し、トゥパマル捕えられる
1781年4月11日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督「ファン・フローレス・イ・サンチェス」 (~1785年)
1781年4月11日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|安永10年3月18日|桜島、海中噴火による津波で死者・行方不明者15名
1781年4月20日-09:00|日本|東京都中央区|安永10年3月27日|<初演>人形浄瑠璃「鎌倉三大記」[作・近松半二]江戸

1790迄 (2181件)

肥前座

1781年4月22日-01:00|スペイン/コロンビア| |||カリオの軍隊、プエンテ・リアルで反乱軍に包囲され投降。反乱軍はベルバオを司令官に選出

1781年4月24日-09:00|日本| ||安永10年4月|<出版>鶴岡蘆水「隅田川兩岸一覽」(浮世絵)

1781年4月25日 00:00|イギリス/アメリカ| |||グリーン將軍の率いる大陸軍が南部奪還を目指す、ホフ・カーク・ヒルの戦いでロートン卿の率いる英軍部隊に撃退される

1781年4月25日-09:00|日本| ||天明1年4月2日|「天明」に改元

1781年5月-05:00|ガブスタン| |||<死去>中ジユス・ハン「アビライ・カン」

1781年5月-05:00|ガブスタン| |||<就任>中ジユス・ハン「ワリ」アブライの子(〜1821年)

1781年5月-01:00|オーストリア/ロシア| |||ロシアのエカテリーナ2世とオーストリアのヨーゼフ2世の間で、対オスマン帝国の防衛同盟の文書が交換される

1781年5月 04:00|セント・ビンセント/フランス| |||<就任>フランス領セント・ビンセント総督「ジャン＝バティスト・ウイグ＝ルー・デュプレシス」(〜1782年3月)

1781年5月3日 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユースティウス島知事「David Ogilvy」(〜31日、死去)

1781年5月5日-13:00|トンガ/スペイン| |||スペインのフアンスコ・マウル大尉によってヴァバウが発見された

1781年5月7日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官代行「ピセンテ・カターノ・ダ・マリー・エ・ウァスコゼス」(〜17820821)

1781年5月12日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ウラジスワスロカス・ゲロフスキ」(23日まで代行〜17900523没)

1781年5月15日-09:00|日本|岐阜県恵那市|安永10年4月22日|<交替>美濃国岩村藩2万石「松平乗蒞」隠居⇒養子「松平乗保」が継ぐ(⇒文政9(1826)年6月26日、死去)

1781年5月18日 05:00|ペルー/スペイン| |||トウマル、車裂きの刑に。同時に数千人の将兵が殺される

1781年5月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代モントン伯「ギヤレット・ウェズリー」

1781年5月22日 00:00|イギリス| |||<就任>2代モントン伯「リチャード・ウェズリー」(⇒17991202兼ウェズリー侯〜18420926死去ウェズリー侯爵位廃絶)

1781年5月22日-09:00|日本|広島県広島市|天明1年4月29日|<死去>俳諧師「多賀庵風律」84歳

1781年5月23日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳4年5月|阮福映がフランスとポルトガルの支援をえて西山党の攻撃を開始

1781年5月31日 04:00|BES諸島/イギリス| |||<死去>セント・ユースティウス島知事「David Ogilvy」

1781年5月31日 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユースティウス島知事「James Cockburn卿」(〜11. 25)

1781年6月 04:00|BES諸島/イギリス| |||<就任>セント・ユースティウス島イギリス軍知事「Stafford」(〜11. 25)

1781年6月2日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ペドロ・コレア・デ・シンプラ」(〜1783年12月)

1781年6月2日 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス| |||<就任>トバゴ知事「フィリップ・フランソワ・ルセル・ド・ブランシュラン」(〜1782. 11)

1781年6月2日 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス| |||フランスがトバゴを占領、植民地とする(〜17930415)

1781年6月3日 13:00|イタリア| |||イタリア、カリで地震(M6. 2) 死者300人

1781年6月7日-01:00|スペイン/コロンビア| |||コメネーロスとボゴタ側のあいだにシベキア協定成立/グティエス巡察吏の解任、新税の撤回、クオ・ジヨの公職への登用で合意

1781年6月8日-01:00|フランス| |||パリバ・レ・ロワイヤル(王宮)」(1区)にあった「(第2次)サル・デュ・パ・レ・ロワイヤル」(「5代目オハラ座」)が火災により炎上

1781年6月11日-09:00|日本|大阪府豊中市|天明1年5月20日|<死去>青木一新(54歳)前摂津麻田藩主

1781年6月11日-09:00|日本|富山県高岡市|天明1年5月20日|越中国高岡で米騒動が起こる

1781年6月16日-09:00|日本|熊本県熊本市|天明1年5月25日|<死去>熊本新田藩35000石「細川利致」(32歳)⇒弟「細川利庸」が継ぐ(⇒文化2(1805)年2月17日、死去)

1781年6月17日-09:00|日本|大阪府松原市|天明1年5月26日|<死去>河内丹南藩1万石「高木正直」(26歳)⇒6月21日、婿養子「高木正剛」が継ぐ(⇒文政9(1826)年10月9日、隠居)

1781年6月18日-09:00|日本|東京都|天明1年5月27日|町方で養育した捨て子の貰い人、江戸府内から三里までの者に限られる

1781年6月28日-09:00|日本|愛媛県西条市|天明1年閏5月7日|<死去>松平頼邑(50歳)前伊予西条藩主

1781年7月 04:00|ドミニカ国/フランス| |||<就任>フランス領ドミニカ総督「ジャック・マルタン・デ・ブルゴン」(〜8月)

1781年7月1日-05:30|インド/イギリス| |||第2次マイソール戦争でのカルナタ地方のポルト・ノヴォの戦いで、マイソール王国軍がイギリス軍に敗れる

1781年7月1日-05:30|インド/イギリス| |||マハーダー・ジョーシニアのマラーターの軍勢は、イギリス軍に決定的な勝利を収めた

1781年7月2日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダ領インドをイギリスが占領(〜1785年)

1781年7月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明1年閏5月11日|<就任>大坂城代「土岐美濃守定経」(〜天明2. 8. 20)

1781年7月2日-09:00|日本|京都府京都市|天明1年閏5月11日|<就任>京都所司代「牧野貞長」(⇒1784(天明4年5月11日))

1781年7月2日-09:00|日本|東京都千代田区|天明1年閏5月11日|<就任>老中「久世広明」(〜天明5年1月24日)

1781年7月9日-05:30|インド/イギリス/オランダ| |||オランダ領ベンガルをイギリスが占領(〜17840520)

1781年7月10日 06:00|アメリカ| |||<就任>連合会議議長「Thomas McKean」(〜11. 4)無所属

1781年7月11日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダの交易所ジャナイクハムをイギリスが占領(〜1785年)

1781年7月12日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天明1年閏5月21日|<死去>内藤政陽(43歳)前日向延岡藩主

1781年7月13日-05:30|インド/イギリス/オランダ| |||オランダ領マサラをイギリスが占領

1790迄 (2181件)

1781年7月18日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ハース公(ジャコブ・イト)「ジェームズ・ドラモンド」
1781年7月18日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ハース公(ジャコブ・イト)「ジェームズ・ドラモンド」先代の息子(~18000702死去)
1781年7月18日-09:00|日本|京都府亀岡市|天明1年閏5月27日|<交替>丹波亀山藩5万石「松平信直」隠居⇒長男「松平信道」が継ぐ(⇒寛政3(1791)年8月18日、死去)
1781年7月27日-09:00|日本|青森県八戸市|天明1年6月7日|<死去>南部信依(35歳)前陸奥八戸藩主
1781年7月28日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミシゴ 総督代行「ジャン＝バティスト・ド・テイスト・ド・リランクール」(3回目~17820214)
1781年7月31日-01:00|ドイツ| |||<死去>リッペン＝ヒェステルフェルト 侯「Friedrich Karl」
1781年7月31日-01:00|ドイツ| |||<就任>リッペン＝ヒェステルフェルト 侯「Karl」(~1810年)
1781年8月 04:00|トミニカ国/フランス| |||<就任>フランス領トミニカ総督代行「フイ侯爵ランソワ・クロード・アムル」(~17820122)
1781年8月1日 06:00|アメリカ/イギリス| |||英将軍コーンウォリス、ヴァージニアのヨークタウン占領
1781年8月5日 04:00|ボリビア/スペイン| |||アントレス、三ヶ月のソータ包囲作戦ののち勝利。一万の軍勢がラパス包囲軍に合流
1781年8月11日 00:00|イギリス| |||<死去>21代クロフォート 伯・5代リンジー 伯「ジョージ・リンジー＝クロフォート」
1781年8月11日 00:00|イギリス| |||<就任>22代クロフォート 伯・6代リンジー 伯「ジョージ・リンジー＝クロフォート」(~18080130死去)
1781年8月13日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天明1年6月24日|<交替>丹波篠山藩5万石「青山忠高」隠居⇒次男「青山忠講」が継ぐ(⇒天明5(1785)年7月18日、死去)
1781年8月18日-01:00|リテンシュタイン| |||<死去>リテンシュタイン公「フランツ・ジヨセフ1世」(
1781年8月18日-01:00|リテンシュタイン| |||<就任>リテンシュタイン公「ロイス1世」(~18050324没)
1781年8月18日-09:00|日本|群馬県|天明1年6月29日|上野国で糸綿貫目改所設立に反対する一揆が起こる
1781年8月22日-09:00|日本|広島県広島市|天明1年7月3日|広島新開組小屋新町出火、131竈焼失
1781年8月25日-04:00|レニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Alexandre Joseph Francois Chalvet」(~17850421)
1781年8月27日 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<就任>リーワード・カビレ諸島総司令官・総督「トマス・シャリー」(1回目~17880616)
1781年9月1日-01:00|オーストリア| |||オーストリアで刑罰令が発せられ、農民に対する領主裁判権の行使が制限される
1781年9月3日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天明1年7月15日|<加増>相良藩37000石「田沼意次」⇒47000石(⇒天明5(1785)年1月21、57000石に加増)
1781年9月5日 06:00|アメリカ| |||<就任>連合会議議長「John Hanson」(~17821103)無所属
1781年9月5日 06:00|アメリカ/フランス/イギリス| |||<アメリカ独立戦争>チェサピーク湾の海戦>米仏連合海軍が、ヨークタウン沖でイギリス軍を破る
1781年9月6日 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>セント・ユスティウス島知事「Thomas de Fitz-Maurice」フランス軍司令官(~17840207)
1781年9月8日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<アメリカ独立戦争>ノースカロライナのユート・スプリングスの戦いで、イギリス本国軍のコーンウォリス将軍が植民地軍を破る
1781年9月8日-09:00|日本|宮崎県日南市|天明1年7月20日|<死去>日向飢肥藩51000石「伊東祐福」(42歳)⇒長男「伊東祐鐘」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年2月14日、27歳で死去)
1781年9月11日-09:00|日本|山口県下関市|天明1年7月23日|<死去>毛利政苗(64歳)前長門清末藩主
1781年9月14日-05:30|インド| |||<就任>ハナース国ラジャ「マヒパット・ナヤン・シン」(~17950912没)
1781年9月16日-09:00|日本|長崎県島原市|天明1年7月28日|<死去>戸田忠盈(52歳)前肥前島原藩主
1781年9月18日-09:00|日本| |||天明1年8月|<出版>二鐘亭半山(菱川春童の挿画)「見た京物語」
1781年9月19日-09:00|日本|群馬県|天明1年8月2日|<絹糸運上騒動>上野西部の人々は絹糸貫目改所設置に反対し一揆として蜂起
1781年9月26日-09:00|日本|群馬県|天明1年8月9日|<絹糸運上騒動>小幡の新井吉十郎の屋敷が打ち壊され、続いて他の申請者やそれに賛同した地主や商人の屋敷が打ち壊されただけでなく、七日市藩陣屋も攻撃され、更に一揆は今回の申請に許可を出した老中松平輝高が藩主を務める高崎藩に向かってなだれ込んだ
1781年9月27日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天明1年8月10日|<死去>越後椎谷藩1万石「堀直宣」(20歳)⇒弟「堀著朝」が継ぐ(⇒寛政4(1792)年、隠居)
1781年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルダッサーレ・ジャンギ」「ジョヴァンニ・アントニオ・マルベリ」
1781年10月3日-09:00|日本| |||天明1年8月16日|<死去>初代大谷友右衛門(38歳)歌舞伎役者
1781年10月5日-09:00|日本|群馬県|天明1年8月18日|<絹糸運上騒動>改所中止の報が広まる直前の高崎城を包囲した一揆軍と高崎藩兵が衝突/直後に双方に改所中止が伝わったために一揆は解散
1781年10月8日-09:00|日本|福岡県福岡市|天明1年8月21日|<死去>筑前福岡藩473100石「黒田治之」(30歳)⇒翌年2月2日、養子「黒田治高」が継ぐ(⇒8月21日、死去)
1781年10月9日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ケー伯「トマス・アースキン」
1781年10月9日 00:00|イギリス| |||<就任>7代ケー伯「アーチバルド・アースキン」(~17950508死去)
1781年10月13日-05:30|インド/イギリス| |||<ケワイル国はイギリス保護領(18031230および18040227に条約により確認)>
1781年10月13日-01:00|オーストリア| |||オーストリアのヨーゼフ2世が「寛容令」を公布して、ルター派、カルヴァン派、ユダヤ教徒に対する新教の自由を認める
1781年10月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆46年9月|朝鮮、金弘道(1745~1806)、「正祖御真」(正祖の肖像)を描く
1781年10月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<アメリカ独立戦争>ヨークタウンの戦い>(9月28日~)イギリス本国軍のコーンウォリス将軍

1790迄 (2181件)

が降伏しアメリカ独立戦争終結

- 1781年10月26日-09:00|日本| ||天明1年9月10日|<死去>諸九尼 (68歳) 俳諧師
- 1781年11月-07:00|オーストリア| ||<死去>グエンチャン王「オン」
- 1781年11月1日-01:00|オーストリア| ||オーストリアで農奴制の廃止令が公布される
- 1781年11月3日 04:00|ボリビア/スペイン| ||アントレス軍、副王軍に投降。トウパ・カカリは投降を拒否、アチャカに逃れるが捕らえられ、車ざきに処せられる
- 1781年11月3日-09:00|日本|静岡県沼津市|天明1年9月18日|<加増>駿河沼津藩2万石「水野忠友」+5000石⇒25000石(⇒天明5(1785)年1月29日、5000石加増され3万石)
- 1781年11月3日-09:00|日本|千葉県館山市|天明1年9月18日|<拝領>安房館山藩1万石「稲葉正明」(⇒天明5(1785)年1月29日、3000石加増され13000石)
- 1781年11月3日-09:00|日本|東京都千代田区|天明1年9月18日|<就任>老中格「水野忠友」(~天明8年3月28日)
- 1781年11月3日-09:00|日本|東京都千代田区|天明1年9月18日|<就任>老中「鳥居忠意」(~寛正5年2月29日)
- 1781年11月7日-09:00|日本| ||天明1年9月22日|<死去>2代中村伝次郎(不明) 歌舞伎振付師
- 1781年11月7日-09:00|日本|広島県広島市|天明1年9月22日|佐伯郡草津村出火、町家289軒(347竈)焼失
- 1781年11月10日-09:00|日本|群馬県高崎市|天明1年9月25日|<死去>上野高崎藩82000石(老中)「松平輝高」(57歳)⇒11月11日、次男「松平輝和」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年9月20日、死去)
- 1781年11月12日-05:30|インド/イギリス/オランダ| ||オランダ領東インドがイギリス軍に占領される
- 1781年11月15日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マテウス総督「Diogo Pereira Fojarz Coutinho Barreto de Sa e Resende」(~17980327死去)
- 1781年11月16日-09:00|日本|長野県諏訪市|天明1年10月|<交替>信濃高島藩3万石「諏訪忠厚」強制隠居⇒12月11日嫡男「諏訪忠肅」が継ぐ(⇒文化13(1816)年11月21日、隠居)
- 1781年11月16日-09:00|日本|宮城県仙台市青葉区|天明1年10月|仙台日浄寺焼失
- 1781年11月21日-07:00|オーストリア| ||<即位>グエンチャン王「ナンセン」(~1795年1月没)
- 1781年11月21日-01:00|フランス| ||<死去>フランス王国首席大臣「ジーン=フレデリック・フェリス」80歳
- 1781年11月21日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国首席大臣「シャルル・ド・ラ・ファイエール」(~17870213死去)
- 1781年11月24日-09:00|日本|三重県津市|天明1年10月9日|<死去>伊勢久居藩53000石「藤堂高衡」(18歳)⇒養子「藤堂高轟」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年9月2日、死去)
- 1781年11月25日 04:00|BES諸島/フランス| ||<就任>セント・ユースティウス島知事「Charles Andre Chabert」フランス民政知事(~17840207)
- 1781年11月25日 04:00|BES諸島/フランス| ||セント・ユースティウス島をフランスが占領(~17840207)
- 1781年11月25日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サント・ヤコブ総督「アーサー・キャンベル」(17830115まで代行~17840707)
- 1781年11月26日 04:00|BES諸島/フランス| ||<就任>サハ島副司令官「Thomas de Fitz-Maurice」フランス軍総督(~1784.2)
- 1781年11月26日 04:00|ガイアナ/BES諸島/オランダ/イギリス| ||イギリスとオランダの戦争で、イギリス軍がガイアナのベルベ、エセボ、デメラ、およびセント・ユースティウス島を奪う
- 1781年11月26日 04:00|BES諸島/フランス| ||サハ島はフランスが占領(~1784.2)
- 1781年11月27日 04:00|セント・マルテン/フランス| ||フランスがサン・マルタン島オランダ人地域を占領(~17840211)
- 1781年11月28日-09:00|日本|岩手県胆沢郡金ヶ崎町|天明1年10月13日|陸前妙教寺三師塔再興
- 1781年12月3日-09:00|日本| ||天明1年10月18日|下層町人のために、1斤につき代銀8匁3分で朝鮮種髪粉人参が販売される
- 1781年12月3日-09:00|日本|東京都墨田区|天明1年10月18日|<大相撲>天明1年10月場所[江戸本所回向院](~10日間)優勝(西関脇)谷風、9勝0敗1休、59連勝
- 1781年12月12日 06:00|アメリカ/イギリス/フランス| ||<アメリカ独立戦争>ウェサン島の海戦>英国艦隊がフランス輸送船18隻拿捕
- 1781年12月15日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ知事「Alexandre Ferdinand」(~17850713死去)
- 1781年12月16日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ウィリアム・ブラウン」(~17900111)
- 1781年12月18日-01:00|フランス| ||フランスでクルーズ王立溶鉱所が設立
- 1781年12月30日-01:00|赤道ギニア/スペイン| ||フェルナント・ポールからスペイン軍が撤退
- 1781年12月31日 06:00|アメリカ| ||アメリカ大陸会議で、フィラデルフィアに北アメリカ銀行の設立が許可される/アメリカ初の銀行
- 1782年-13:00|トンガ| ||<即位>トンガ主長(トウイ・カクホ・オル)「トウホウ・レシ」(~1789年死去)
- 1782年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事「ジョス・エ・アンセルモ・デ・アルメイダ・ソアレス」(~1785年)
- 1782年-08:00|インドネシア| ||<即位>シアク第6代スルタン「Yahya Abdul Jalil Muzaffar Shah」(~1784年)
- 1782年-07:00|タイ| ||<即位>チェンマイ国チェットン朝国王「カーウイ」(~1816年)
- 1782年-07:00|タイ| ||<即位>ナン王国第6代国主「アッタワ・ンヨ」ヒルマの指名(~17880201)
- 1782年-07:00|タイ| ||<即位>ラムパーン国主「カムソム」(~1794年)
- 1782年-05:30|インド| ||<就任>サンバルプーール国ラジャ「ジャヤンタ・シン」(1回目~1797年)
- 1782年-05:30|インド| ||<就任>シャイワナ国ラジャ「モカム・シン」(~1797年没)
- 1782年-05:30|インド| ||<就任>シロヒ国統治者(ラオ)「ラ・アリサルジ 2世」(~1809年没)
- 1782年-05:30|インド| ||<就任>ダール国ラジャ「アナン・ラオ 2世・ブ・アル」(~18070610没)、摂政「ラニ・ヌバタ・バイ・ラジエ」(~1798年)
- 1782年-05:30|インド| ||<就任>チャルカリ国ラジャ「ウ・イ・エイ・ハ・ハ・ウル・シン」(~18291122没)
- 1782年-05:30|インド| ||<就任>トランガトラ国統治者(ラージ・サヒブ)「ジャシュワンスジ 2世ガジ・シムジ」(~1801年没)

1790迄 (2181件)

1782年-05:30|インド| |||<就任>バダル国統治者(シュリマット・タール・サヒブ・シュリ)「フ・ラタプ・シンジ・アデ・シンジ」(~1825年没)
1782年-05:30|インド| |||<就任>ファリドコット国統治者(サルタール)「モハル・シン」(~1798年没)
1782年-05:30|インド| |||<就任>ミラージ国統治者(ラオ)「チンタマン・ラオ・アッパ・サヒブ」(~1801年)
1782年-05:30|インド| |||<就任>ルナバダ国統治者(ラナ)「ト・ウルジ・ヤン・シン」(~1786年没)
1782年-05:30|インド| |||<即位>ラダック国王(チョス・ギヤル・チェン・ポ)「ミジグ・ス・ツェ・ブルタン・ナム・ルギヤル」(~1802年没)、摂政「ツェワン・リゲ・ジン・ト・ルマ」(~1794年)
1782年-05:30|インド| |||トルポール国がケワリエルに併合される(~1805年12月)
1782年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>サルヤン汗国ハン「シェイク・アリ・アガ」(~1791年)
1782年-03:00|カンダ| |||<死去>ブニョロキタ王「Duhaga1世 Cwa Mujwiga」
1782年-03:00|カンダ| |||<就任>コキ王国統治者(オムカマ)「ムゲニ」(~2ヶ月)
1782年-03:00|カンダ| |||<就任>コキ王国統治者(オムカマ)「ンダ・フラ1世」(~1785年頃)
1782年-03:00|イラク| |||<即位>ハバン首長「Ibrahim Pasha」(~1803年)
1782年-03:00|カンダ| |||<即位>ブニョロキタ王「Olimi4世 Kasoma」(~1786年死去)
1782年-03:00|コモロ| |||<即位>ソスワニ・スルタン国スルタン「アブ・ド・ラ1世」(1回目~1788年)
1782年-03:00|スーダン| |||センナールがゴルト・ファン・スルタン国を再統治(~1785年)
1782年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Hazineadar Sahin Ali Pasha」(1期目~同年)
1782年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ、チェルニコフ、ノヴゴロド・セヴエルスキーの総督「Graf Pyotr Aleksandrovich Rumyantsev-Zadunayskiy」(~1796年)
1782年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフ、ウ・ホロネジ 総督「Vasiliy Alekseyevich Chertkov」(~1787年)
1782年-02:00|エスワティニ| |||ンガワネ3世が南部アフリカでウ・ワネ(スワジ)王国を建国
1782年-01:00|ニジェール| |||<死去>ダマガラム国統治者(サルキン・ダマガラム)「アサファ・タン・タニム」
1782年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマガラム国統治者(サルキン・ダマガラム)「アバザ・タン・タニム」(~1787年)
1782年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス=ローベンシュタイン伯「Heinrich35世」(⇒1790年ロイス=ローベンシュタイン侯に昇格~1805年)
1782年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トゥゲルト・スルタン「ファルハト2世」(~1792年)
1782年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ 総督「Joao Manuel da Azambuja」
1782年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Cristovao Xavier de Sa」(~1786年)
1782年 00:00|ガーナ/イギリス/オランダ| |||イギリスがオランダ 領ゴールド=コーストのフリーデントバーグ 砦、アムステルダム砦、ナッソー砦、グット・ホーフ 砦、クレグ・ケール砦(1786年まで)、およびレイセムハイト砦を占領(~1785年)
1782年 00:00|イギリス| |||イギリスで初の水蒸気利用工場が登場
1782年 00:00|ガーナ/イギリス/デンマーク| |||デンマーク領ゴールド=コーストをイギリスが占領(~1785年)
1782年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド 検査官「Bendt Olrik」(~1789年)
1782年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド 検査官「Johan Friedrich Schwabe」(~1786年)
1782年 04:00|アルバ/オランダ| |||<死去>アルバ 島司令官「Jan van der Biest2世」
1782年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ副総督「トーマス・Hodge」(~1805年)
1782年 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「チェスター」(~17840103)
1782年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王代理「Jean-Baptiste Duzant」
1782年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フ・ラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ホセ・イグナシオ・フロレス・デ・ベルガラ・イ・ヒメネス・デ・カルデナス」(~1785年)
1782年 05:00|キューバ| |||ハバナ大学創設
1782年 06:00|グアテマラ/イギリス| |||ガルベス司令官、ロアタ、リタイトの英海軍を撃破し入植者を駆逐。モスキートのイギリス軍にも圧力を加える
1782年 06:00|ニカラガ/イギリス| |||ミスキート族、ヤリネ殺害に抗議し対英反乱
1782年1月 06:00|アメリカ| |||北アメリカ銀行営業開始
1782年1月2日-05:30|スリランカ| |||<死去>キャンティ王国国王・シンハラ国王「キルティシリ・ラジヤムハ」
1782年1月2日-05:30|スリランカ| |||<即位>キャンティ王国国王・シンハラ国王「シリ・ラジヤティ・イラジヤムハ」(~17980726死去)
1782年1月8日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス軍セイロン司令官「エドワード・ヒュース」(~8.30)
1782年1月8日-05:30|スリランカ/イギリス| |||イギリス軍がトリンコマリを占領(~8.30)
1782年1月11日-09:00|日本|千葉県市原市|天明1年11月28日|<陣屋移転>伊勢南林崎藩1万石「有馬氏恕」⇒上総五井藩1万石(⇒天明3(1783)年9月26日、23歳で死去)
1782年1月13日-01:00|ドイツ| |||フリードリヒ・シラーの「群盗」が舞台で初演される
1782年1月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明1年12月|<初演>「敵討天下茶屋聚」[作・奈河亀輔]大坂角の芝居
1782年1月22日 04:00|トミニカ国/フランス| |||<就任>フランス領トミニカ総督「ト・ボ・フーレ」(~17840110)
1782年2月-03:00|ベラルーシ/ロシア| |||<就任>モギリョフ、ポラツクのロシア総督(モギリョフ)「ピョートル・ボグダノビッチ・ハツセック」(~1796年12月)
1782年2月1日 04:00|ガイアナ/フランス| |||フランス軍がデメラを占領
1782年2月2日-09:00|日本|滋賀県大津市|天明1年12月20日|<死去>近江膳所藩6万石「本多康匡」(25歳)⇒翌年2月22日、養子「本多康完」が継ぐ(⇒文化3(1806)年10月8日、死去)
1782年2月5日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ王「パウンガ・マウン・マウン」(~11日没)
1782年2月5日-01:00|スペイン| |||スペインがメロル島を攻略
1782年2月9日-09:00|日本| |||幕府が、鉄の販売方規を制定
1782年2月9日 04:00|ガイアナ/フランス| |||フランスによるエセキルの占領(~17840306)
1782年2月11日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ王「パウンガ・マウン・マウン」

1790迄 (2181件)

1782年2月11日-06:30|ミャンマー| |||即位>ビルマ王「ボ・ダ・ウファヤ」(~18190605没)アマラプラに新王都建設
1782年2月12日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天明2年|<交替>武蔵岩槻藩2万石「大岡忠喜」隠居⇒長男「大岡忠要」が継ぐ(⇒天明6(1786)年9月23日、死去)
1782年2月12日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「デ・イロン伯爵アーサー」(~1783年)
1782年2月12日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス/イギリス| |||フランスがセントクリストファー島全体を占領(~17830903)
1782年2月12日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ファン・マヌエル・デ・カジガル・デ・ラ・ベガ・イ・モンセラト」(~12.29)
1782年2月13日-09:00|日本|東京都中央区|天明2年1月2日|<初演>人形浄瑠璃「加賀見山旧錦絵」[作・容楊黛]江戸外記座
1782年2月14日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス| |||<就任>ネイビス大統領「ミョン・ド・ヴァルワ」(フランス守備隊司令官~1783年)
1782年2月14日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス| |||<就任>ネイビス副総督「フ・イ侯爵ランソワ・クロード・アムール」(~1783年9月)
1782年2月14日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス/イギリス| |||イングランド 植民地ネイビスがフランス(ニウ・エスと命名)に占領される(~17830903)
1782年2月14日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミング 総督「テラック卿ギヨーム・レナート・ド・ベルコンブ」(~17850703)
1782年2月15日 04:00|ガイアナ/フランス| |||フランスによるベルビツェの占領(~17840220)
1782年2月22日 04:00|モントセロ/フランス| |||<就任>フランス占領下モントセロ副総督「Jacques-Melchior」(~3月)
1782年2月22日 04:00|モントセロ/フランス| |||モントセロをフランスが占領(~1784.1)
1782年2月25日 00:00|日本|愛知県名古屋市中区|天明2年1月14日|<名古屋天明2年の大火>巳上刻(午前9時半頃)、名古屋城の東側にあたる白壁町の永井藤左門方から出火、隣接する主税町、榎木町、片端筋の武家屋敷を焼き払った/炎の勢いは強風に乗って東西に広がり、鍋屋町裏から萱屋町、御下屋敷へと延び法華寺町の各寺院も焼失/東は御添地から出放れの松原までが焼け野原となった/炎は広がって奥田町、白山横へと延び、古井村では宝珠寺や村の家々数10軒を焼き七つ時(16時頃)鎮火/侍屋敷107軒、町家1万300軒、寺院14か所が焼失、37人死亡
1782年3月 04:00|モントセロ/フランス| |||<就任>フランス占領下モントセロ副総督「Louis Joseph de Goullon」(~1784年死去)
1782年3月 04:00|セント・ピエール/フランス| |||<就任>フランス領セント・ピエール 総督「ピエール・ジャン・フランソワ・ド・フェイトー」(~9.21没)
1782年3月1日-08:00|フィリピン| |||フィリピンでタバコの強制栽培・専売制度を導入
1782年3月1日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 暫定副王「ファン・デ・トレザール・イ・デ・イラス・ピメンタ」(~7.4)
1782年3月7日 06:00|アメリカ| |||(グナデニッシュの虐殺)ペンシルベニア民兵ウィリアムソンの部隊は、グナデニッシュの村で約100人のキリスト教徒デラウェア族を拘束しデラウェア族が開拓者達を襲い続けているインディアンを助けていたとして、ほとんど婦女子ばかり100名をハマーで頭を割って殺した
1782年3月14日-09:00|日本|京都府京都市|天明2年春|手島堵庵が心学の講舎、明倫舎を京都で開設
1782年3月16日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||スペイン軍がベイ諸島ポート・ロイヤルを破壊
1782年3月17日-01:00|スイス| |||スイスの物理学者ダニエル・ベルヌーイ死去/82歳(誕生:17000129)
1782年3月18日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア 総督・領主「ニコラ・カラギア」(~17830827)
1782年3月19日-09:00|日本| |||天明2年2月6日|<死去>4代千宗守(58歳)茶人、武者小路千家家元
1782年3月19日-09:00|日本|岩手県一関市|天明2年2月6日|<死去>陸奥一関藩3万石「田村村隆」(46歳)⇒3月29日、養子「田村村資」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年4月27日、隠居)
1782年3月22日 00:00|イギリス| |||<辞任>グレートブリテン王国第12代首相「ノース男爵フレデリック・ノース」
1782年3月24日-09:00|日本|東京都台東区|天明2年2月11日|<大相撲>天明2年2月場所[江戸浅草八幡宮](~10日間)優勝(東関脇)虹ヶ嶽、6勝0敗1分1預2休/7日目に谷風の63連勝止まる
1782年3月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天明2年2月12日|<死去>播磨安志藩1万石「小笠原長為」(38歳)⇒次男「小笠原長禎」が継ぐ(⇒文政6(1823)年8月23日、隠居)
1782年3月27日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第13代首相「第2代ロッキンガム侯爵チャールズ・ワトソン・ウェントワース」ホイッグ党(2期目~7.1)
1782年3月29日-08:00|中国| |||清・乾隆47年2月16日|乾隆帝の命で編纂がすすめられていた7万9千余巻の「四庫全書」が完成
1782年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バティスト・ボネリ」[アンティモ・メロニ]
1782年4月4日-05:30|インド| |||<就任>ジャム・国ラジャ「バジャイ・デオ」(~1787年没)
1782年4月6日-07:00|タイ| |||<即位>チャクリ王朝国王「ラマ1世 プッタヨトファ・チュラローク(チュラローク/鄭華)」(~18090907)
1782年4月6日-07:00|タイ| |||<即位>チャクリ王朝国王「ラマ1世 プッタヨトファ・チュラローク(チュラローク/鄭華)」(~18090907死去72歳)
1782年4月7日-07:00|タイ| |||<死去>シャム国元トングリー王朝国王「タークシン(鄭信/鄭昭)」47才
1782年4月9日-01:00|フランス| |||パリに「コメディー・フランセーズ」の劇場として、建築家ジャック・ド・ヴァリエとマリー・ジョゼフ・ペールが設計した「オペラ座」(6区「ヴィクトワール通り」21番地)が完成/王妃マリー・アントワネット臨席のもとに開場/「新古典主義建築様式」の劇場で、座席数は1,000(1794年まで)
1782年4月12日 05:00|カリブ海/フランス/イギリス| |||<アメリカ独立戦争:セインツの海戦>(9日~)ドミニカ沖でドミニオン提督の英国海軍がフランス海軍艦隊に決定的勝利。
1782年4月13日-09:00|日本| |||天明2年3月|<出版>翠釜亭邦高、絵本「翠釜亭戯画譜」(浮世絵)俳優の似顔画
1782年4月14日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ボートランド 公爵ウィリアム・ヘンリー・キャベンディッシュ・ベンティンク

1790迄 (2181件)

」(~9.15)

1782年4月17日-09:00|日本| ||天明2年3月5日|<死去>加藤文麗(77歳)画家
1782年4月19日-09:00|日本|東京都江東区|天明2年3月7日|<死去>深川親和(三井孫兵衛)(83歳)能書家、篆刻家
1782年4月20日-01:00|フランス| ||ピエール・ラロが小説「危険な関係」を発表
1782年4月22日-09:00|日本|新潟県新発田市|天明2年3月10日|<死去>越後三日市藩1万石「柳沢信著」(36歳)⇒養子「柳沢里之」が継ぐ(⇒文化元(1804)年7月24日、死去)
1782年4月27日 00:00|イギリス| ||<死去>タルボット伯「ウィリアム・タルボット」廃絶
1782年5月-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア汗国対立ハン「Mehmet 5世 Geray」(~同年死去)
1782年5月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>リッペ＝テートモルト伯「ジューモン・アウグスト」
1782年5月1日-01:00|ドイツ| ||<就任>リッペ＝テートモルト伯「レオポルト1世」(⇒1789年リッペ侯に昇格~18021105死去)
1782年5月2日-09:00|日本| ||天明2年3月20日|<死去>尾崎直政(51歳)装剣金工
1782年5月5日-09:00|日本| ||天明2年3月23日|<死去>楯取魚彦(60歳)国学者、歌人
1782年5月8日 00:00|ポルトガル| ||<死去>初代オエiras公・初代ポソナル侯「セバスチャン・ホセ・ド・カルヴァル・エ・メロ」
1782年5月8日 00:00|ポルトガル| ||<就任>2代オエiras公・2代ポソナル侯「ヘンリー・ホセ・ド・カルヴァル・エ・メロ」(~18120526死去)
1782年5月8日 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>スペイン・パナマ総督「ベルナルド・デ・ガルベス・イ・マドリート」パナマを占領(~17830418)、代行「アントニオ・クラウコ・イ・サンス」(~17830418)
1782年5月9日 06:00|アメリカ/スペイン/イギリス| ||スペイン軍、ウェスト・フロリダのペンサコーラをイギリスから奪回
1782年5月12日 00:00|イギリス| ||<死去>4代スカパー伯「リチャード・ラムリー＝サンダーソン」
1782年5月12日 00:00|イギリス| ||<就任>5代スカパー伯「ジョージ・オーガスタス・ラムリー＝サンダーソン」(~18070905死去)
1782年5月17日-05:30|インド/イギリス| ||イギリスとグワリヤル太守マダーゼー・シンデニアとの間でサルバドール条約が締結され、講和により、イギリスはマダーゼー・ラオ・ナラヤンを宰相と認めること、ラガナート・ラオに年金をあてがうこと、サルセットとバルチ以外の戦争で獲得した領土をすべてマダーゼーに返還することが定められた
1782年5月17日-01:00|チェコ| ||<就任>モラヴィア総督「ルートヴィヒ・ゲラーフ・フォン・ガリアーニ＝フライヘル・フォン・ウンター＝ヴァルター＝ストルフ」(~17870814) (~17900220死去48歳)
1782年5月17日 00:00|アイルランド/イギリス| ||イギリス議会在、アイルランド議会上に立法的独立を与える
1782年5月21日-09:00|日本|東京都|天明2年4月10日|<死去>初代坂東三津五郎(38歳)歌舞伎役者
1782年5月26日-01:00|チュニジア| ||<死去>フサイン朝ベイ「アリ2世」69歳
1782年6月8日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・コンスタンティン・マヴロロバット・デリベイ」(~17850120)
1782年6月11日-09:00|日本| ||天明2年5月|<刊行>醒狂道人何必醇「豆腐百珍」豆腐の料理法100種を解説
1782年6月13日 04:00|アルバ/オランダ| ||<就任>アルバ島司令官「Harmen van der Biest」(~1791年)
1782年6月19日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Dotin」(2期目~17830107)
1782年6月19日-09:00|日本|群馬県富岡市|天明2年5月9日|<交替>上野七日市藩1万石「前田利尚」隠居⇒次男「前田利見」が継ぐ(⇒天明6(1786)年9月17日、死去)
1782年7月-04:00|モリシャス/フランス| ||<就任>マリヤス島司令官「ルネ・シャルル・ル・フランソワ・フォルヴァルト・グレインビル」(1回目~17840711)
1782年7月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ジャリフ・ハッシャ」(~1783年7月)
1782年7月-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「バハティル2世ギレイ」(1期目~17830120)
1782年7月 00:00|セネガル/フランス| ||<就任>フランス領セネガル総督「アンヌ・ガストン・デュモンテ」(~1784年2月)
1782年7月1日 00:00|イギリス| ||<死去>グレートブリテン王国第13代首相・2代ロッキンガム侯・初代モルト伯「チャールズ・ワトソン＝ウェントワース」全爵位廃絶/52歳(誕生17300513)
1782年7月2日-01:00|スイス| ||ジュネーブの代議制共和政が瓦解
1782年7月4日 00:00|イギリス| ||<就任>グレートブリテン王国第14代首相「第2代シェルブーン伯爵ウィリアム・ペティ」ホイッグ党(~17830402)/ウィリアム・ピット(小)が蔵相となる
1782年7月4日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラタ副王「大審問院」(~15日)
1782年7月5日-09:00|日本|香川県高松市|天明2年5月9日|(~27日)大雨洪水により、高松藩領内で家屋崩壊233戸、破船50艘の被害が出る。丸亀では破船11艘の被害
1782年7月15日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ダニエル・コルネユ」(~17870622)
1782年7月15日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラタ副王「ファン・アントニオ・カバジェロ・イ・ゴンゾラ」(~17890108)
1782年7月21日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン＝マインゲン公「カール・グイルヘルム」
1782年7月21日-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン＝マインゲン公「ゲオルク1世」(~18031224死去)
1782年7月21日-09:00|日本| ||天明2年6月12日|大坂市中において、地車を引いて橋上を渡ることが禁止される
1782年7月27日 00:00|アイルランド| ||アイルランドでポインクス法が修正
1782年8月19日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<アメリカ独立戦争>ブルーリックスの戦い>ケンタッキーで50名のイギリス軍インディアンと300名のインディアンが待ち伏せを掛け、182名のケンタッキー民兵隊を崩壊させた
1782年8月21日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「ペドロ・デ・サルダニャ・エ・アルバカーキ」(2回目~17831124)
1782年8月22日-09:00|日本| ||天明2年7月14日|江戸とその周辺が大地震に襲われる/特に小田原では城郭から民家まで大きな被害を出す/地震は翌15日にも発生
1782年8月25日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「イェン・ハチ・メフメト・ハッシャ」(~12.31)
1782年8月29日 14:00|イギリス| ||イギリス船「ツマス」で一等戦列艦ロイヤルジョージが船体を傾けて艦底整備を行っていたところ、傾けた部分から慰問に訪れた乗員の家族や補給物資搬入のための業者が入り込んだため、バランスを崩し

1790迄(2181件)

て転覆、800名以上の死者を出した

- 1782年8月30日-05:30|スリランカ/フランス| |||<就任>フランス軍セロン司令官「ピエール・アントワネット・サン」(~1784年1月)
1782年8月30日-05:30|スリランカ/フランス| |||フランスがトリコマリを占領(~1784年1月)
1782年9月7日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳5年8月|阮福映が嘉定を奪回
1782年9月13日-01:00|スペイン/イギリス| |||ジブラルタルで、イギリス軍がフランス・スペイン軍の攻撃を受ける
1782年9月15日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ジョージ・ニュージエント＝テンブル＝グレンビル＝トル＝アール＝テンブル」(1回目~17830603)
1782年9月24日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Jose Granados」(~1786年)
1782年9月25日-09:00|日本|福岡県北九州市|天明2年8月19日|<交替>小倉新田藩(篠崎屋敷)1万石「小笠原貞顕」
隠居⇒三男「小笠原貞温」が継ぐ(⇒文政5(1822)年2月15日、57歳で死去)
1782年9月26日-09:00|日本|群馬県沼田市|天明2年8月20日|<死去>上野沼田藩35000石「土岐定経」(55歳)⇒次男「
土岐頼寛」が継ぐ(10月16日襲封⇒同年11月19日、19歳で死去)
1782年9月27日-09:00|日本|石川県加賀市|天明2年8月21日|<交替>加賀大聖寺藩7万石「前田利精」強制隠居⇒弟「
前田利物」が継ぐ(⇒天明8(1788)年9月27日、29歳で死去)
1782年9月27日-09:00|日本|福岡県福岡市|天明2年8月21日|<死去>筑前福岡藩473100石「黒田治高」(29歳)⇒12月
19日、養子「黒田斉隆」が継ぐ(⇒寛政7(1795)年6月23日、死去)
1782年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ジャンニニ」(「フランチェスコ・マルペリ」
1782年10月4日-09:00|日本|山口県萩市|天明2年8月28日|<交替>長州藩369000石「毛利重就」隠居⇒四男「毛利治
親」が継ぐ(⇒寛政3(1791)年6月12日、死去)
1782年10月7日-01:00|フランス/アメリカ| |||J. マス、フランスと通商友好条約締結
1782年10月7日-09:00|日本|大阪府|天明2年9月|<移封>下野宇都宮藩77000石「戸田忠寛」⇒河内・播磨国内77000
石(⇒天明4(1784)年9月、河内・摂津国内77000石に移封)
1782年10月16日-09:00|日本|大阪府|天明2年9月10日|<移封>肥前島原藩77000石「戸田忠寛」⇒河内国・播磨国770
00石((⇒天明4(1784)年9月、河内国・摂津国77000石に移封)
1782年10月16日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明2年9月10日|<就任>大坂城代「戸田因幡守忠寛」(~天明4. 5. 11)
1782年10月17日-09:00|日本|埼玉県深谷市|天明2年9月11日|<交替>武蔵岡部藩20250石「安部信允」隠居⇒長男「
安部信享」が継ぐ(⇒文化3(1806)年8月5日、隠居)
1782年11月 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス| |||<就任>トバゴ 知事「アロツ子爵レネ・マリ」(~1786年)
1782年11月 04:00|セント・ビンセント/フランス| |||<就任>フランス領セント・ビンセント総督「エドゥアール・ヒレル・ルイ・ド・ティエリ」(~17840101)
1782年11月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>連合会議議長「Elias Boudinot」(~17831102)無所属
1782年11月4日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|天明2年9月29日|<交替>遠江横須賀藩35000石「西尾忠需」隠居⇒
次男「西尾忠移」が継ぐ(⇒享和元(1801)年3月27日、死去)居)
1782年11月5日-09:00|日本|東京都台東区|天明2年10月|幕府の天文台、新暦調御用所が牛込より浅草へ移転し、
頒曆調所と改称
1782年11月8日-09:00|日本|島根県松江市|天明2年10月4日|<死去>松平宗衍(54歳)前出雲松江藩主
1782年11月14日-09:00|日本|岡山県倉敷市|天明2年10月10日|<死去>伊東長丘(86歳)前備中岡田藩主
1782年11月16日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督代行「フランシスコ・デ・セントサイモン」(~17830810没)
1782年11月16日 04:00|グアドルフ/フランス| |||<就任>グアドルフ 知事「Claude Charles de Marillac」(~17830328)
1782年11月19日-09:00|日本|東京都江東区|天明2年10月15日|<大相撲>天明2年10月場所[江戸深川八幡宮](~10
日間)優勝(西大関)谷風、7勝0敗1無勝負1休
1782年11月30日-01:00|フランス/イギリス/アメリカ| |||パリで仮和平条約が結ばれ、イギリスとアメリカの戦争が終結/イギリスはア
メリカ植民地の独立を認める
1782年12月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Seyyid Mustafa Pasha」(~1783年)
1782年12月2日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウー国王「マハ・タタ」王位篡奪者(~17850102)
1782年12月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆47年11月|朝鮮、「国朝宝鑑」完成
1782年12月6日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天明2年11月2日|<死去>松平正温(58歳)前上総大多喜藩主
1782年12月7日-05:30|インド| |||<即位>マヨール国摂政「ティエー・スルタン」(~1786年1月)
1782年12月7日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||リチャード・ハウ提督が、スペイン・フランス艦隊からジブラルタルを救う
1782年12月7日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|天明2年11月3日|<死去>出羽亀田藩2万石「岩城隆恭」(59歳)⇒12
月29日、次男「岩城隆恕」が継ぐ(⇒文化14(1817)年5月21日、死去)
1782年12月8日-09:00|日本|三重県三重郡菰野町|天明2年11月4日|<死去>伊勢菰野藩11000石「土方雄貞」(20歳)
⇒12月19日、養子「土方義苗」が継ぐ(⇒天保6(1835)年1月25日、隠居)
1782年12月10日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官代理「Pedro de Nava」(~24日
)
1782年12月14日 06:00|アメリカ/イギリス| |||イギリス軍、チャールストンから撤退
1782年12月16日-03:00|エチオピア| |||<死去>ハル首長国エミール「アフマド1世・イブン・アビ・バクル」
1782年12月16日-03:00|エチオピア| |||<就任>ハル首長国エミール「ムハンマド・イブン・ユスフ」(~17830531没)
1782年12月19日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「運営委員会(ルイス・ダ・アスンソン・サン・アゼベド
・ノバキ・マニエル・ガルス・デ・カストロ・バルボサ/フランシスコ・ザビエル・デ・ロバンマチャド・ペッソナ/ジョアン・モンテイロ・デ・モライス(51日間)/ペト
・ロ・アルバレス・デ・アントラー・デ・ダクニャ・アゼベド・エウアス・コンセロス(モライスの後))」(~1784年9月)
1782年12月19日-09:00|日本| ||天明2年11月15日|幕府が朱の私売買を禁止
1782年12月23日-09:00|日本|群馬県沼田市|天明2年11月19日|<死去>上野沼田藩35000石「土岐頼寛」(19歳)⇒弟「

1790迄 (2181件)

土岐定吉が継ぐ(12月29日襲封⇒天明6(1786)年9月20日、21歳で死去)
1782年12月24日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Manuel Gonzalez de Aguil ar y Nava」(~17860214)
1782年12月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天明2年11月21日|<交替>三河奥殿藩16000石「松平乗穩」隠居⇒次男「松平乗友」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年3月6日、隠居)
1782年12月29日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ルイス・デ・ウンザ・ガ・イ・アマザガ」(~17850201)
1782年12月31日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハリル・ハミド・パシャ」(~17850331)大規模な軍制改革を行う
1783年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国対立国王「テン」(~1787年)
1783年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国対立国王「ベン」(~1794年)
1783年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「アザド・カーン」(~1785年没)
1783年-05:30|インド| |||<就任>カンパイ国支配者(ナワブ)「モハメド・コリ・カーン」(~1789年没)
1783年-05:30|インド| |||<就任>コホ・ヒール国ラジャ「ハレンドラ・ナヤン」(~18390529没)、摂政「ラニ・カムデスワリ」(~1789年)
1783年-05:30|インド| |||<就任>タンガフルール国統治者(マハラジャ)「ウ・アイリ・サル」(~1789年没)
1783年-05:30|インド| |||<就任>ハル・ラハ国ラジャ「アルナフ・ラ」(~1815年没)
1783年-05:30|インド| |||<就任>モルイ国統治者(タクル・サ・ヒブ)「ハミル・ワグジ」(~1790年没)
1783年-05:30|インド| |||<就任>パンガナハル国はマヒル(マイソール)に併合(~1790年)
1783年-05:00|パキスタン| |||<就任>シンド国カン「ミール・ファス・アリ・ブン・ソフ・ダール」(~1801年)
1783年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<復位>ヒヴァ・ハン国第50代ハン「ヤデ・イガル2世」(3期目~1790年)
1783年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフチアン汗国ハン「ジャファール・カリ・ハン」(~1785年)
1783年-04:00|セイシェル/フランス| |||<就任>フランス領セイシェル司令官「スイヤック伯爵フランソワ」(~1786年)
1783年-04:00|アルメニア| |||<即位>エリヴァン汗国ハン「ゴラム・アリ」(~1784年)
1783年-03:00|カンタール| |||<死去>ンコレ王国国王「Kahaya1世 Nyamwanga」
1783年-03:00|カンタール| |||<就任>ブガブラ統治者(オムカマ)「カブラ・ナ・イホ1世」(~1818年頃)
1783年-03:00|スーダン| |||<即位>タリ王国(ウスター)「イスマイル・ワラト・ムハンマド」(~1800年)
1783年-03:00|バーレーン| |||<即位>バーレーンキム「シャイフ・アフマド・イビン・ムハンマド・イビン・ハリファ」(~17950718死去)ハリファ家がイラン人を追いハライン島を支配
1783年-03:00|カンタール| |||<即位>ンコレ王国国王「Nyakashaija」⇒「Bwarenga」⇒「Rwebishengye」(~1811年)
1783年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>エカテリナスラフ、(1784年から)タリタ総督「Knyaz' Grigoriy Aleksandrovich Pot yomkin-Tavrisheskiy」(~1791年死去)
1783年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「ハ・ハティル2世ギレイ」(2期目~1790年ロシア帝国に併合)
1783年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ウリス「セリット・メフメド・パシャ」(~1784年)
1783年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Antonio Maria Imhoff」(~1784年)
1783年-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤチェ・イェのフォン王国国王「アヤトン」(~1794年)
1783年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルヴィア大公「ジュレ・ノウ・アコウ・イチ」(~1789年)
1783年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「John Dotin」(2期目~1784年)
1783年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>コチャバンバ総督補佐「フェリックス・ジョセフ・ビジャ・ロサ」(~1784年)
1783年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ポトシ総督補佐「ファン・デル・ビ・ノ・マンリケ・デ・ラウ」(~1789年)
1783年 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| |||<就任>スペインがトリニダード島にスペイン人以外の入植も許可
1783年 05:00|タークス・カイコス諸島/フランス| |||フランスがグランド・タークを占領(~9.3)
1783年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「ファン・デ・アイサ・イ・ブランサ・アルエ・イ・パラン」(~17861223)
1783年 07:00|メキシコ/スペイン| |||メキシコで鉱山新法が公布される
1783年 10:00|ハワイ| |||マウイ島はオアフ島に征服される
1783年1月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>クリミア・ロシア司令官「Graf Anton Bogdanovich Balmen」(~8月)
1783年1月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||クリミアをロシアが占領
1783年1月7日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「David Parry」(1期目~17900706)
1783年1月19日-09:00|日本| ||天明2年12月17日|<死去>2代中島三甫右衛門(59歳)歌舞伎役者
1783年1月20日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「シェヒン・ギレイ」(2期目~7.9)
1783年1月20日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||イギリスが、アメリカ独立戦争を支持して対イギリス戦争を起こしていたフランス、スペインと仮和条約を調印
1783年1月29日-09:00|日本|三重県桑名市|天明2年12月27日|<死去>松平忠刻(65歳)前伊勢桑名藩主
1783年2月 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラムント新植民地スペイン軍司令官「Miguel Fermin de Riglos y San Martin」(~1793.11)
1783年2月2日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天明3年|新谷藩主加藤泰賢、藩校求道軒を創立
1783年2月2日-09:00|日本|群馬県桐生市|天明3年|桐生で岩瀬吉兵衛が水力撚糸機が発明
1783年2月2日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|天明3年|野基五郎英令が門弟27名とともに3ヶ年を費やして日本寺大仏建立
1783年2月2日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳6年|<即位>パント・ウラン王「Chei Krei Brei (Nguyen Van Chieu)」(~1786年)
1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月|<刊行>伊丹椿園「女水滸伝」
1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月|<刊行>工藤平助「赤蝦夷風説考」
1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月|<刊行>四方赤良・朱楽菅江編「万載狂歌集」

1790迄 (2181件)

1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月<刊行>唐衣橋洲編「狂歌若葉集」
1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月<出版>窪俊満「画鵠」(浮世絵)
1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月<出版>勝尾春政「絵本見立仮噺尽」
1783年2月2日-09:00|日本| ||天明3年1月<出版>西村定雅(耳鳥斎の挿絵)、洒落本「徒然ヌか川」
1783年2月5日 13:00|イタリヤ| ||イタリヤのカブリアで地震(M6.9)火災などにより死者死者3万5千
1783年2月6日 13:00|イタリヤ| ||イタリヤ・パルミ地震M6.1、津波、死者1504
1783年2月10日-09:00|日本|島根県|天明3年1月9日|出雲国神門郡、飯石郡に一揆が起こる
1783年2月13日-09:00|日本|群馬県前橋市|天明3年1月12日|前橋藩領の農民約1万人が城下の穀屋・質屋などを打ち壊す
1783年2月23日 00:00|イギリス| ||<死去>サフォーク伯・パークシャー伯「トマス・ハワード」
1783年2月23日 00:00|イギリス| ||<就任>サフォーク伯・パークシャー伯「ジョン・ハワード」(~18200123死去)
1783年2月24日 00:00|イギリス| ||イギリスのシャルバーン首相が辞職
1783年2月25日-01:00|デนมาร์ク/スウェーデン/アメリカ| ||スウェーデンとデนมาร์クがアメリカの独立を承認
1783年2月27日-09:00|日本|東京都|天明3年1月26日|<死去>浪花の狂歌師、一本亭芙蓉花/江戸で
1783年3月 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「Claude Charles de Marillac」(~17910315)
1783年3月3日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳6年2月|阮恵が嘉定を占領し、阮福映はエンサン方面に逃走
1783年3月3日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明3年2月1日|大坂町民、加嶋屋家屋敷を打ちこわす、大坂最初の米騒動
1783年3月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明3年2月4日|<死去>近松半二(59歳)浄瑠璃作者/竹本座の座付作者
1783年3月10日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド 総督(名目上)「カスレル侯爵チャールズ・ジョセフ・パティエ・ド・ブッシー」(~17850107没)
1783年3月10日-09:00|日本|長野県上田市|天明3年2月8日|<死去>信濃国上田藩53000石「松平忠順」(58歳)⇒長男「松平忠濟」が継ぐ(⇒文化9(1812)年5月6日、隠居)
1783年3月27日-01:00|イタリヤ| ||イタリヤ・モンテネロ地震、死者1141
1783年3月28日 04:00|グアテマラ/フランス| ||<就任>グアテマラ 暫定知事「Louis Thomas Beaume」(~17840527)
1783年4月-04:00|ロシア| ||ロシアがクリミア汗国を併合
1783年4月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Osmanpashazade Mehmed Pasha」(~6.10)
1783年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ベニ」(「ボネ・イ・ゾリ」)
1783年4月1日 04:00|フォークランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォークランド 諸島司令官・総督「Fulgencio Montemayor」(~17840628)
1783年4月2日 00:00|イギリス| ||イギリスでフォックス・ノース連立政権が樹立⇒<就任>グレートブリテン王国第15代首相「第3代ホートランド公爵ウィリアム・キャウエンティッシュ=ベントイン」ホイッグ党(~12.19)
1783年4月2日-08:00|中国| ||清・乾隆48年3月|黄河の新河道が完成
1783年4月2日 09:00|日本|秋田県秋田市|天明3年3月1日|<出羽久保田天明3年の大火>暮れ六つ(18時ごろ)、川端四丁目から出火、31丁を焼く/町家の内、本家(1戸建て)1103軒焼失、消火のため破壊4軒、痛んだ本家6軒、長屋78軒焼失、同破壊3軒、痛んだ長屋2軒、合計1905軒被災/そのほか町医者宅5軒、職人宅6軒、寺37か所、修験者の家3軒、神社関係者3軒、足軽の家7軒が焼失
1783年4月3日 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ホセ・デ・エスタケリア・イ・ヘルナンデス」(~17891229)
1783年4月6日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Juan Andres Daban y Busterino」(~17890327)
1783年4月8日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||クリミア汗国の併合などにより、ウクライナ東部と中央部はロシア帝国に併合
1783年4月10日-09:00|日本|東京都青ヶ島村|天明3年3月9日|<噴火>青ヶ島、家屋61戸焼失、犠牲者7名
1783年4月15日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合会議、講和予備条約批准
1783年4月18日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「アントニー・デ・グアジョニア」(~9月)
1783年4月19日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||クリミアはロシアに併合(⇒7.9公に宣言:8.8~17840213、ノヴォロシアの一部として軍事的に管理:17840213~17961223、タウリア州:17961223~18021020、ノヴォロシア・グベルニヤの一部:18021020~タウリア県として再び分離)
1783年4月25日-01:00|フランス| ||フランスのモンゴルフィエ兄弟が実験に成功
1783年4月28日-01:00|フランス| ||パリの「オペラ・コミック座」(2区)が現在の地に「劇場」を建て、常打ち小屋として「サル・ヴァール」と称す
1783年4月29日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「マティアス・デ・ガルベス・ガルシア・マドリート・ガヤルド」(~17841103没)
1783年4月29日-09:00|日本|東京都江東区|天明3年3月28日|<大相撲>天明3年3月場所[江戸深川八幡宮](~10日間)優勝(西大関)谷風、5勝0敗1無勝負4休
1783年5月1日-09:00|日本|東京都中央区|天明3年4月|<初演>歌舞伎「鏡山」森田座
1783年5月3日-04:00|ロシア/ウクライナ| ||ロシア暦4月22日|エカテリーナ2世が、ウクライナに農奴制を導入
1783年5月6日-01:00|イタリヤ| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「ジョヴァンニ・バチスタ・アイロリ」(~17850506)
1783年5月9日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天明3年4月9日|<死去>松平乗穂(45歳)前三河奥殿藩主
1783年5月12日-09:00|日本|茨城県結城市|天明3年4月12日|<死去>下総結城藩18000石「水野勝起」(39歳)⇒養子「水野勝剛」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年閏4月9日、隠居)
1783年5月15日-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチアとダルマチアのバン代行「ザグレブ 司教ヨシフ・ガルジユフ」(~10.20)

1790迄 (2181件)

1783年5月18日-09:00|日本|大阪府和泉市|天明3年4月18日|<交替>和泉国伯太藩13500石「渡辺伊綱」隠居⇒弟「渡辺豪綱」が継ぐ(⇒寛政5(1793)年3月22日、死去)
1783年5月18日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天明3年4月18日|<交替>石見津和野藩43468石「亀井矩貞」隠居⇒長男「亀井矩賢」が継ぐ(⇒文政2(1819)年5月16日、隠居)
1783年5月19日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天明3年4月19日|京都三十三間堂通矢、「半堂千射」で伴吉次郎(12歳)が通矢982総矢数1,000本)を記録
1783年5月27日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明3年4月27日|<初演>近松加作・近松半二、人形浄瑠璃「伊賀越道中双六」竹本座
1783年5月29日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天明3年4月29日|<死去>丹波柏原藩2万石「織田信旧」(74歳)⇒7月2日、養子「織田信憑」が継ぐ(⇒文政10(1827)年10月10日、隠居)
1783年5月31日-03:00|イギリス| ||<死去>ハル首長国エミール「ムハンマド・イブン・ユスフ」
1783年5月31日-03:00|イギリス| ||<就任>ハル首長国エミール「アフド・アル=シャクル・イブン・ユスフ」(~17941118没)
1783年5月31日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天明3年5月1日|尾張藩校明倫堂を開講
1783年6月3日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ノーストン伯爵ハート・ヘンリー」(~17840224)
1783年6月5日-01:00|フランス| ||フランスのモンゴル兄弟はアノーで公開実験を行い気球は無人ながら高度1800メートルまで上昇(人類初の「熱気球」飛行の成功)
1783年6月6日-09:00|日本|長崎県平戸市|天明3年5月7日|<死去>平戸新田藩1万石「松浦宝」(35歳)⇒7月2日、長男「松浦矩」が継ぐ(⇒享和3年4月19日(18030608)、死去)
1783年6月8日 00:00|アイルランド| ||アイルランドの活火山が大爆発し、ヨーロッパが冷害へ
1783年6月11日-05:30|インド/イギリス| ||タンジール国がイギリスの保護領となる
1783年6月18日-09:00|日本|山口県下関市|天明3年5月19日|<承認>長府藩5万石「毛利匡芳」城主格(⇒寛政4(1792)年6月18日、死去)
1783年6月20日-09:00|日本|高知県高知市|天明3年5月21日|<交替>土佐新田藩13000石(浦戸城)「山内豊産」隠居⇒養子「山内豊泰」が継ぐ(⇒享和3(1803)年7月6日、39歳で死去)
1783年6月21日-09:00|日本|広島県広島市|天明3年5月22日|広島稲荷町出火、441軒(889竈)焼失、焼死者1人
1783年6月24日-01:00|フランス| ||フランスの化学者ラヴアジエと物理学者ラプラスが水と水素の化合物であることを発見
1783年6月24日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合会議、兵士の反乱でフィラデルフィアからプリンストンに移動
1783年6月25日-09:00|日本|岡山県津山市|天明3年5月26日|美作国津山城下に打壊しが起こる
1783年6月30日-09:00|日本| ||天明3年6月|<刊行>江村北海「授業編」/読書・習字の教育方法を説いた
1783年7月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「シラター・ムフタ・パシャ」(~17841030)
1783年7月-02:00|ウクライナ| ||<就任>クリミア・タタール政府首長「Mehmet Shah Bey Shirin」(~1784.6)
1783年7月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「鄭存謙」(~17841120)
1783年7月2日-09:00|日本| ||天明3年6月3日|<死去>伊庭可笑(37歳)戯作者
1783年7月8日 06:00|アメリカ| ||マチュー・セッツ最高裁が奴隷制の廃止を宣言
1783年7月11日-05:30|インド| ||<就任>トリプーラ国ラジャ「ラジャ・ラマニヤ2世」(~1804年3月没)、摂政「シヤウ・イ・ラニ・マハタ・ガ・ラ」(~1786年)
1783年7月11日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天明3年6月12日|<死去>丹後田辺藩35000石「牧野惟成」(56歳)⇒五男「牧野宣成」が継ぐ(⇒文化元(1804)年8月22日、隠居)
1783年7月13日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>エストニア総督「ゲオルク・フリートリヒ・フォン・グロテンヒェルム」(~17861011)
1783年7月15日-09:00|日本| ||天明3年6月16日|<死去>横井也有(82歳)尾張藩士、国学者、俳人
1783年7月16日-09:00|日本|広島県福山市|天明3年6月17日|福山領内大洪水死傷者多数
1783年7月23日-04:00|ジョージア/ロシア/イラン| ||グルジア王ヘラクリスが対ロシア同盟関係を樹立
1783年7月23日-03:00|バーレーン| ||<就任>バーレーン支配者(ハキム)「シェイク・アフマド・ビン・ムハンマド・アル・ハリファ」(~17950718没)
1783年7月24日-04:00|ジョージア/ロシア| ||ギルギエフ条約によりグルジア東部はロシア帝国の保護領となる
1783年7月27日-09:00|日本| ||天明3年6月28日|<死去>木室卯雲(70歳)戯作者、狂歌師
1783年7月28日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| ||<就任>サンピエール島・ミクロン島知事「Charles Gabriel Sebastien」(2期目~17850616)
1783年7月28日-09:00|日本|群馬県|天明3年6月29日|<1783浅間山天明噴火>正午ごろ大爆発を起こし、関東一円から130kmも離れた江戸の町の戸障子を振るわせ灰を降らした/碓氷峠では2mに及ぶ降灰のため通行不能となった
1783年7月29日-09:00|日本| ||天明3年7月|<出版>北尾政演(山東京伝)、北尾政美「狂文宝合記」(浮世絵)
1783年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Osmanzade Dervish Pasha」(~17850228)
1783年8月3日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天明3年7月6日|<死去>松平乗菴(68歳)前美濃岩村藩主
1783年8月4日 11:00|日本|長野県北佐久郡軽井沢町|天明3年7月7日|<1783浅間山天明噴火>夜、中仙道の軽井沢宿に、突然大量の焼石が降り、家の屋根に落ちて宿場全体が火災となった/噴石に打たれて即死する者あり、大混乱/2人死亡、同宿186戸の内、70戸が潰れ、51戸が焼失
1783年8月5日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|天明3年7月8日|<死去>織田信邦(39歳)前上野小幡藩主
1783年8月5日 01:00|日本|群馬県吾妻郡嬬恋村|天明3年7月8日|<1783浅間山天明噴火>午前10時、大音響とともに大爆発/火砕流が鎌原村を襲い、横へさらに12kmほど拡がり村々をのみ干しながら地下水を含んだ大泥流となって吾妻川になだれ落ちた/鎌原村では466人が犠牲となり、93人が村の観音堂に駆け上り一命をとりとめた/吾妻川に落下した大泥流は、最高水位50m~60mに達する大濁流となって川沿いの村々を次々と呑み込み、本流の利根川に入って沿岸は大洪水となり、利根川本流から江戸川下流へと、壊れた家屋や家財、死体を運んだ/被

1790迄 (2181件)

害は55か村に及び約1300戸が流失、1400人の死亡者が数えられた

- 1783年8月8日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タウリアのロシア総督「Osip Andreyevich Igol'strom男爵」(~17840213)
- 1783年8月10日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「政府委員会(フランス・コ・デ・サン・シマン/マヌエル・タハ・レス・ダ・シルバ (17840421まで)/フランス・コ・デ・アブレウ/セル・フェレイラ・ダ・シルバ (17840421から)」(~17850330)
- 1783年8月11日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「ファン・ホセ・ムセノ・デ・ケサダ・イ・バルヌエボ」(~17870626)
- 1783年8月14日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー政府評議会議長「ヤーノシュ・ツァーキ伯爵ケレスジャニ・エス・アト・ジャニ」(~17861221)
- 1783年8月26日-05:30|インド| |||<就任>パンガナッル国統治者(ナワブ)「ケラム・アリ・カン1世」(1回目~1790年)
- 1783年8月27日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ミハイ・コンスタンティン・ス・シュ・ウ」(1回目~17860517)
- 1783年8月27日-01:00|フランス| |||フランスの物理学者シャルル・ガバリで水素ガス気球の飛行実験に成功/3000m程上昇した後、気球内部の圧力により破裂して墜落
- 1783年9月 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「ロバート・ハント」(1回目~17840327)
- 1783年9月3日-01:00|フランス/セントルシア| |||パリ条約でサン・ルシアがフランスに返還された
- 1783年9月3日-01:00|スペイン/イギリス/バハマ/ベリーズ/アメリカ| |||パリ条約締結。スペインはフロリダを奪取、英領ホンジュラスやバハマ諸島を占拠
- 1783年9月3日 00:00|ガンビア/フランス/イギリス| |||西アフリカの分割協議で英がガンビア、仏がゴレ島を取得
- 1783年9月3日 00:00|セネガル/フランス/イギリス| |||ゴレ島をイギリスが正式にフランスに割譲
- 1783年9月3日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||セント・クリストファー島がパリ条約でイギリスへの帰属が確定
- 1783年9月3日 04:00|セントビンセント/フランス/イギリス| |||セントビンセントはフランスからイギリスに割譲(17840101返還)
- 1783年9月3日 06:00|アメリカ/フランス/イギリス| |||パリ条約でアメリカ13州のイギリスよりの独立が正式に承認された(アメリカ合衆国)
- 1783年9月4日-09:00|日本|長崎県平戸市|天明3年8月8日|<死去>松浦致(68歳)元肥前平戸新田藩主
- 1783年9月18日-01:00|スイス| |||<死去>スイスの数学者レオンハルト・オイラー(17040415~)「位相数学の元祖」数学のあらゆる分野に寄与し、多くの定理や方法に名を残す
- 1783年9月19日-01:00|フランス| |||動物の初飛行(フランス)モンゴルイエ兄弟の製作した熱気球に、ひつじ・あひる・おんどりを乗せて、マリー・アントワネットらの前で上昇、高度550mに達した
- 1783年9月19日-09:00|日本|石川県金沢市|天明3年8月23日|加賀国石川郡で米騒動が起こる
- 1783年9月23日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ・西インド会社)総督代行「ヴァルファート・ヤコブ・ベルトス・ナイダー」(~17841224)
- 1783年9月26日-09:00|日本| |||天明3年9月|大槻玄沢がオランダ語の入門書「蘭学階梯」をつくる
- 1783年9月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明3年9月|<初演>歌舞伎「伊賀越道中双六」中の芝居
- 1783年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「ピエール・フランチェスコ・ヴァータ」
- 1783年10月2日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ミルトン伯爵「ジョセフ・リーゾン」
- 1783年10月2日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ミルトン伯爵「ジョセフ・リーゾン」(~18011127死去)
- 1783年10月6日-09:00|日本| |||天明3年9月中旬|絵師の司馬江漢が初の銅版画を制作
- 1783年10月7日-09:00|日本|茨城県牛久市|天明3年9月12日|<死去>常陸牛久藩1万石「山口弘道」(44歳)病死⇒11月4日、養子「山口弘務」が継ぐ(⇒天明7(1787)年10月20日、31歳で死去)
- 1783年10月14日-09:00|日本|宮城県仙台市|天明3年9月19日|仙台北城下で、町人が米の値下げを要求して米商大國屋と安部清右衛門宅をさんざんに打ち壊す
- 1783年10月19日-09:00|日本| |||天明3年9月24日|<死去>初代岸澤式佐(54歳)常磐津節三味線方
- 1783年10月20日-05:30|インド| |||<就任>カプurla国統治者(サルタール)「バック・シン」(~18010710没)
- 1783年10月20日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチアのバン「フェレンツ・ゲロフ・エステルハージ」(~17850831)、代行「フェレンツ・ゲロフ・シェニイ」(~17850831)
- 1783年10月21日-09:00|日本|千葉県市原市|天明3年9月26日|<死去>上総五井藩1万石「有馬氏恕」(23歳)⇒養子「有馬氏保」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年7月29日、29歳で死去)
- 1783年10月29日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの数学者・哲学者ジャン・ル・ロン・ダランベール(17171116~)応用数学とくに力学に業績をあげた/ディドロの「百科全書」の数学・科学分野を担当し編集した
- 1783年10月31日 00:00|イギリス| |||<死去>初代スペンサー伯爵「ジョン・スペンサー」
- 1783年10月31日 00:00|イギリス| |||<就任>2代スペンサー伯爵「ジョージ・ジョン・スペンサー」先代の息子(~18341110死去)
- 1783年10月31日-09:00|日本|神奈川県厚木市|天明3年10月6日|<陣屋移転>駿河松永13000石「大久保教翹」⇒相模荻野山中藩13000石(⇒寛政8(1796)年7月9日、死去)
- 1783年11月1日-09:00|日本|石川県|天明3年10月7日|能登国で米騒動が起こる
- 1783年11月3日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国連合会議議長「Thomas Mifflin」無所属(~17841031)、代理「Daniel Carroll」無所属(~12. 13)
- 1783年11月4日-01:00|オーストリア| |||モーツァルト交響曲「交響曲第36番」初演(リンツ滞在中4日間で作曲)
- 1783年11月6日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天明3年10月12日|<死去>因幡鳥取藩32万石「池田重寛」(38歳)⇒次男「池田治道」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年5月6日、死去)
- 1783年11月8日-09:00|日本| |||天明3年10月14日|<死去>堀麦水(66歳)俳人
- 1783年11月10日-09:00|日本|福島県白河市|天明3年10月16日|<交替>陸奥白河藩11万石「松平定邦」隠居⇒養子「松平定信」が継ぐ(⇒文化9(1812)年3月6日、隠居)
- 1783年11月21日-01:00|フランス| |||人間の初飛行/フランス、ロジェとダルトン侯爵はモンゴルイエの熱気球でパリのシャトー・ド・ラ・ムエーヌから離陸し、高度500m以上に達した

1790迄 (2181件)

1783年11月22日-09:00|日本|東京都中央区|天明3年10月28日|丑の刻, 日本橋小伝馬町より出火/人形町、葦屋町、堺町、瀬戸物町、室町など延焼
1783年11月25日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「運営委員会 (アマロ・セル・テ・サント・マヌエル・デ・モライス・デュラン・ピセンテ・カスターノ・ダ・マイア・エ・ウ・アスコンセッス)」 (~17860311)
1783年11月25日 06:00|アメリカ/イギリス| |||イギリス軍、ニューヨーク市を撤退
1783年11月27日-09:00|日本|東京都墨田区|天明3年11月4日|<大相撲>天明3年11月場所[江戸本所回向院] (~10日間) 優勝 (西大関) 谷風, 8勝0敗1分1休
1783年12月-05:30|インド| |||<就任>ナバ 国ラジャ「ジャシュワント・シン」 (~18400522没)、摂政「デ・スカル・サハ」 (~1790年没)
1783年12月1日-01:00|フランス| |||フランス、シャルル教授と助手ペールは水素気球によりパリで約2時間の飛行に成功
1783年12月3日-01:00|オランダ| |||<就任>メーゲン伯「カール・テオドール・グラーフ・フォン・シャル・ツー・ベル」 (~17941021)
1783年12月5日 13:00|日本|青森県青森市|天明3年11月12日|<青森天明3年の大火>夜の四つ時 (22時頃)、安方町の長治郎宅から出火、翌日になっても勢は衰えず、安方町、大町、葺町から寺町、鍛冶町、大工町、博労町へと進み、松森町、堤町、浜町などもひとなめにし、翌朝六つ時半 (午前7時ごろ) 鎮火/焼失区域は全青森の9割に及び、火元の安方町、下大町、毘沙門角から上米町、塩町、多はこ町、寺町、鍛冶町、大工町、博労町、松森町、堤町それぞれの両側が全焼。上大町両側の壱丁半、上浜町壱丁、下浜町壱丁が全焼。周辺の村の類焼は、浦町組、後湯組の左関村、同清水村、同瀬部地村など/家屋焼失は、本家 (自分の家) 1083軒、借家 (賃貸家) 363軒など合計1446軒 (幕府への届け出は1469軒)。そのほか土蔵21か所、願昌寺、蓮得寺は全棟、蓮心寺の隠居庵並びに門、蓮花寺の門並びに鐘楼、大工町の制札場 (高札場)、大町と塩町との境の橋、米町から大工町へ行く通りの橋などが焼失
1783年12月10日-09:00|日本|滋賀県高島市|天明3年11月17日|<死去>分部光命 (70歳) 前近江大溝藩主
1783年12月14日-04:00|オスマン| |||<死去>ヤールハ 王朝イマム「アブ・ヒラル・アフマト・ヒン・サイド」
1783年12月14日-04:00|オスマン| |||<即位>アルサイト 王朝イマム「サイト 1世ヒン・アフマト・ハミス」 (~1803年)
1783年12月16日-09:00|日本|福岡県久留米市|天明3年11月23日|<死去>筑後久留米藩21万石「有馬頼僮」 (70歳) => 翌年1月23日、長男「有馬頼貴」が継ぐ (=>文化9 (1812) 年2月3日、死去)
1783年12月17日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「アントニオ・テレス・デ・メネズ」 (~17840407)
1783年12月17日 00:00|イギリス| |||イギリス上院で、フォックスの提出したインド法が否決され、フォックス・ノース連立政権が崩壊
1783年12月19日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第16代首相「ウィリアム・ピット (小ピット)」 トリー党 (~18010314) 兼蔵相
1783年12月21日-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>シャッキ汗国ハーン「アブド・アル=カーテイル・ハーン」
1783年12月21日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャッキ汗国ハーン「ムハンマト・ハサン・ハーン」 (1度目 ~1795年11月)
1783年12月25日-09:00|日本|福島県相馬市|天明3年12月2日|<交替>陸奥中村藩6万石「相馬愼胤」隠居 => 三男「相馬祥胤」が継ぐ (=>享和元 (1801) 年3月25日、隠居)
1783年12月26日-01:00|フランス| |||フランスの発明家、ルイ=セバスチャン・ルノマンが塔から、枠組みのある4mほどのパラシュートでシヤンプを行った
1783年12月27日-09:00|日本| |||天明3年12月4日|<死去>3代中島三甫右衛門 (48歳) 歌舞伎役者
1784年-13:00|トンガ| |||<死去>トンガ 大首長「ファタフエイ・ハ・ウラ」
1784年-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ 大首長「ファタフエイ・マウルベ・コトファ」 (~1793年)
1784年-12:00|ヴォリス・フツナ| |||<即位>シャ=ウ 王「Vanae」建国 (~18390810死去)
1784年-12:00|ヴォリス・フツナ| |||<即位>トウア (アロ) 王「Fonati」 (~1839年)
1784年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャク第7代スルタン「al-Sayyid al-Sharif Ali Abdul Jalil Syaifuddin Ba'alawi」 (~1810年)
1784年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティール=スルタン「Hairul Alam Kamaluddin」 (~1797年)
1784年-07:00|タイ| |||<就任>ソクラ=知事 (プーヤ・ヒ・チャイリ) 「ブーンファイ・ナ・ソクラ」 (~1811年)
1784年-07:00|タイ| |||ラーマ1世がワット・プラケオ寺院を建立
1784年-05:30|インド| |||<就任>ヴァンカール国統治者 (ラーシ・サーヒブ) 「ケリシジ 2世ラシジ」 (~1787年没)
1784年-05:30|インド| |||<就任>ジャファラバード 国タタール兼ジャンジラ国ワジル「ジョワー・カーン」 (~1789年没)、
「アブド・アル=カリム・ヤクト・カーン」 (~1789年)
1784年-05:30|インド| |||<就任>ダランポール国ラジャ「ルプ・デ・ウジ」 (~1807年没)、摂政「マハニ・バ・イジ・クシヤル・クンガ・アーバ・サーヒブ」 (~1800年没)
1784年-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ラジャ「コヴァルタン=マルトラーシ・ハリヤンタン・ファテ・シン・バ・ハートゥル」 (~1795年没)
1784年-05:30|インド| |||<就任>パオ国支配者 (ナワブ) 「エマト・アル=モルク・ガーズィ・アト・デイン・カーン」建国 (~18000901没)
1784年-05:30|インド| |||<就任>パオ太守「Ghazi ud-Din Khan Feroze Jung3世」 (~18000901死去)
1784年-05:30|インド| |||<就任>ハンガナツル国統治者 (ナワブ) 「ムハンマト・ユスフ」 (~1790年)
1784年-05:30|インド/イギリス| |||カナヌール国はイギリス保護領
1784年-05:30|インド| |||ゴハド がケワリエルに併合される (~1804年)
1784年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>タシュケント支配者「Muhammad Yunus Khwaja」 (~1801年)
1784年-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>パケ汗国ハーン「マリク・ムハンマト・ハーン」
1784年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ガンジャ汗国ハーン「ムハンマト・ハサン・ハーン」 (2度目 ~1785年)
1784年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>パケ汗国ハーン「ミルザ・ムハンマト・ハーン2世」 (1度目 ~1791年)
1784年-04:00|アルメニア| |||<即位>エリヴァン汗国ハーン「ムハンマト・ハーン・カーズィヤル」 (~1805年)
1784年-03:30|イラン| |||<就任>タブリーズ 汗国カーン「ナジャフキル・カーン2世」 (~1786年)
1784年-03:00|タンザニア/オスマン| |||<就任>オスマン・サンジャバル総督「ハルファン・ヒン・アフマト」、
「セイフ・ヒン・アーメド」 (対抗)
1784年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブザヤ統治者 (オムカマ) 「ムザヤ・ガリヤ」 (~1808年頃)

1790迄 (2181件)

1784年-02:00|シアアラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ワリス(総督)「Ohrili Ahmed Pasha」(~同年)
1784年-01:00|ドイツ| |||<死去>ロイス=シュライツ伯「Heinrich12世」
1784年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ライフ・イスマイル・パシャ」(~1785年)
1784年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Miguel Porcel y Manrique de Arana」(~1788年)
1784年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス=シュライツ伯「Heinrich42世」(~1806年ロイス=グライツ侯~1818年死去)
1784年 04:00|モントセラト/フランス| |||<死去>フランス占領下モントセラト副総督「Louis Joseph de Goullon」
1784年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「David Parry」(~1793年)
1784年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>コチャバンバ 総督補佐「マーティン・デ・メントーサ」⇒「フランシスコ・デ・ビエト・マイ・ナルバエス」(~1809年)
1784年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>コルトバ 総督補佐「ソフ・レモンテ侯爵ラファエル・デ・ソフ・レモンテ・ヌニェス・カステイジョ・アングロ・イ・ブロン・ラミレス・デ・アレリャノ」(~1797年)
1784年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| |||<就任>ネイビス大統領「ジョン・リチャード・ソン・ハーバート」(3度目~1793年1月)
1784年 05:00|ジャマイカ| |||ジャマイカをハリケーンが襲う。黒人奴隷15千人が死亡
1784年 05:00|ペルー/スペイン| |||ペルーにインテンデント制が施行
1784年1月 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト副総督代理「Michael ホワイト」(~1785年死去)
1784年1月 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<就任>フランス領サン・バルテルミー島司令官代理「Isnard」(~1785. 3)
1784年1月1日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督代行「エドモンド・リンカーン」(⇒2. 4. 総督~17861123)
1784年1月1日 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラパス総督補佐「セルセバステアン・デ・セグロ・マシチェン」(~1789年)
1784年1月3日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ラファエル男爵ジョン・セノン・アントレ・ド・ヴェロン・ド・ト・レブリエ・エ・エリ」(~17890414没)
1784年1月6日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督「エドワード・マシュー」(1回目~17850531)
1784年1月8日-04:00|ロシア/トルコ| ||ロシア暦1983年12月28日|フランスの外相ジャルル・ヴェルジエヌが仲裁でオスマン朝とロシアの間のクリミア争奪戦争が終結/ロシアはクリミアを併合
1784年1月10日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチウ司令官代行「ジョアン・ペレイラ・バレット + アンプ・ロジ・オ・ダ・コスタ・アルバレンガ」(1回目~1785年1月)
1784年1月10日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<再建>イギリス植民地ドミニカ
1784年1月10日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ジョン・オード」(1回目~17890717)
1784年1月11日 09:00|日本|大阪府大阪市|天明3年12月19日|<大坂天明3年の大火「上町焼」>暮れ六つ式分ごろ(18時ごろ)内平野町二丁目米屋平右衛門家尻より出火、神明社内軽業小屋へ移り、松屋町筋内、平野町二丁目、船越町へ掛かり、骨屋町御祓い筋、大沢町高倉筋、善安筋、亀山町、北革屋町一丁目、二丁目、谷町二丁目、御弓奉行屋敷、山村助五郎屋敷、御蔵奉行屋敷迄焼き、24日卯の下刻(午前7時ごろ)鎮火/被害は町数は9町、世帯数で1500軒、奉行屋敷2か所
1784年1月12日 09:00|日本|広島県広島市|天明3年12月20日|賀茂郡三津浦にて大火、百姓家115軒焼失
1784年1月15日-05:30|インド| |||W. ジョーンズ がベンガル・アジア協会を設立
1784年1月15日 00:00|イギリス| |||キャベンディッシュが密閉容器内に空気と水素を入れ放電し水を合成
1784年1月17日-09:00|日本|京都府京都市下京区|天明3年12月25日|<死去>与謝蕪村。心筋梗塞のため(68歳、享保1(1716)年生)俳人、画家
1784年1月18日 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王「Georges Manganon de la Perriere」(~1785年)
1784年1月21日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明3年12月29日|<死去>初代尾上菊五郎(67歳、享保2(1717)年生)歌舞伎役者/華やかな芸風で人気を集めた
1784年1月22日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天明4年|<交替>三河西大平藩1万石「大岡忠恒」隠居⇒婿養子「大岡忠興」が継ぐ(⇒天明6(1786)年10月17日、死去)
1784年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳7年|ゲン・フック・アイン(阮福映)は外国勢力の援助で西山ゲン氏を滅ぼし、フエで皇帝に即位しゲン王朝を開く
1784年1月22日-09:00|日本| ||天明4年1月|<完成>北尾政演、六枚続きの錦絵「吉原傾城新美人合自筆鑑」
1784年1月22日-09:00|日本| ||天明4年1月|<出版>志水燕十作・鳥山石燕画、絵本「通俗図画勢勇談」
1784年1月22日-09:00|日本| ||天明4年1月|<出版>鳥山石燕、妖怪画集「百鬼徒然袋」
1784年1月22日 09:00|日本|愛媛県松山市|天明4年1月1日|松山城天守閣、雷火のため焼失
1784年1月23日 04:00|トリニダード=トバゴ/スペイン| |||<就任>トリニダード 知事代行「アントニオ・バレット」(~10. 18)
1784年2月 00:00|セザル/フランス| |||<就任>フランス領セザル総督「レバンティニー領主ル・レガルジュール」(~1786年2月没)
1784年2月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サハ島副司令官「Thomas Dinzey」(2期目~1801年)
1784年2月3日-07:00|タイ| |||<即位>ナン王国第7代国王「モンクワロット(チャンパ・チョート)」ラーマ1世の指名(~1786年)
1784年2月6日-04:00|ジョージア/ロシア| |||カトリカヘティ王国はロシア帝国の家臣
1784年2月6日-09:00|日本| ||天明4年1月16日|米価の高騰で、素人の直売買が許可(前年の一石値段=76~98匁程度から111~5匁程度に)
1784年2月7日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユスティウス島知事代理「Olivier Oyen」(~17850203)
1784年2月16日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ヤ3世」(~17880424)
1784年2月16日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タウリアのロシア総督「Vasilii Vasilyevich Kakhovskiy」(~1788. 10)
1784年2月20日 04:00|ガイアナ/フランス/オランダ| |||フランスがヘルベスをオランダに返還
1784年2月20日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|天明4年1月30日|<死去>森忠興(33歳)前播磨赤穂藩主

1790迄 (2181件)

1784年2月22日-09:00|日本|青森県弘前市|天明4年閏1月2日|<死去>陸奥弘前藩46000石「津軽信寧」(46歳)⇒2月晦日、長男「津軽信明」が継ぐ(⇒寛政3年6月22日(17910722)死去)
1784年2月24日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「チャールズ・マナーズ」(~17871024没)
1784年3月4日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天明4年閏1月13日|<死去>加藤泰みち(57歳)前「伊予大洲藩主」
1784年3月6日 04:00|ガイアナ/フランス/オランダ| ||フランスがデメラ、エセキをオランダに返還(エセキはデメラに從属)
1784年3月7日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ副王「ロート侯爵ニコラス・フランシスコ・クリストバル・デル・カンポ」(~17891204)
1784年3月8日-09:00|日本|千葉県君津市|天明4年閏1月17日|<死去>上総国久留里藩3万石「黒田直亨」(56歳)⇒長男「黒田直英」が継ぐ(⇒天明6(1786)年7月18日、死去)
1784年3月9日-01:00|モンテネグロ| ||<就任>モンテネグロ司教公「ペタル1世」(~18301018死去)
1784年3月11日-05:30|インド/イギリス| ||マイソール王国首席大臣(サルヴァーデー・イカーリ)ティプー・スルターンはイギリスとマダガスカル条約を結んで第二次マイソール戦争を終わらせた
1784年3月15日 00:00|ガイアナ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールト=コスト大統領「シル・セルヴァース・ガレ」(1回目~17850214)
1784年3月20日-01:00|オランダ/イギリス| ||アメリカ独立戦争でのイギリスとオランダ両国の単独講和条約が成立/イギリスはネーデルラント(オランダ)のオランダ領を獲得
1784年3月23日-09:00|日本|長野県須坂市|天明4年2月3日|<死去>信濃須坂藩10053石「堀直郷」(27歳)⇒3月4日、従弟「堀直皓」が継ぐ(⇒文化10(1813)年5月24日、隠居)
1784年3月25日 00:00|イギリス| ||イギリス議会在野派が解散させられる
1784年3月26日-09:00|日本|福岡県福岡市|天明4年2月6日|<開館>福岡藩の東学問稽古所「藩校修猷館」(初代館長は竹田定良)
1784年3月27日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督「ジョン・ロバート・マクスウェル」(2回目~17850321)
1784年3月30日-09:00|日本|福岡県朝倉市|天明4年2月10日|<死去>筑前秋月藩5万石「黒田長堅」(15歳)⇒翌年3月17日、養子「黒田長舒」が継ぐ(⇒文化4(1807)年10月16日、43歳で死去)
1784年4月-05:30|インド| ||<就任>マドラス国支配者(ガバナー)「カーン・アタウ・カーン」(~18090814没)
1784年4月 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Miguel de la Grúa Talamaca y Branciforte」(~1789年)
1784年4月 05:00|ペルー/スペイン| ||カラバンパでアル・サハ・レタ、ルアルト・グティエレスにひきいられたインディオが武装蜂起。スペイン人民兵軍により鎮圧
1784年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスタ・ザンピエーニ」(アンジェロ・オルタニ)
1784年4月6日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王「クロウ伯テオドロ・フランシスコ・クロウ」(~17900325)
1784年4月6日-09:00|日本|茨城県下妻市|天明4年2月17日|<死去>常陸下妻藩1万石「井上正意」(26歳)⇒養子「井上正業」が継ぐ(⇒寛政元(1789)年3月14日、隠居)
1784年4月12日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|天明4年2月23日|志賀島の農民甚兵衛が、田から「漢委奴国王印」と刻まれた金印を発見
1784年4月14日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク摂政「皇太子フレデリック」(~18080313)
1784年4月17日-09:00|日本|東京都武蔵村山市|天明4年2月28日|多摩郡の農民が蜂起し名主宅を打ちこわし/武洲一揆
1784年4月19日 09:00|日本|大阪府大阪市|天明4年2月30日|<大坂天明4年の大火「曾根崎焼」>亥の中刻(22時ごろ)、蜷川筋の曾根崎新地二丁目の浜納屋(倉庫業)を営む杉田幸庵宅より出火、蜷川を越えて堂島新地に侵入、堂島川以北の堂島新地および曾根崎新地の13町を全焼。翌日の巳の下刻(午前11時ごろ)、渡辺橋と田蓑橋の中ほど堂島川筋の堂島新地四丁目まで延焼して鎮火/家数で152軒、世帯数で1247、蔵屋敷3か所、仮屋敷(被災時の一時的な藩邸として用意された屋敷)1か所、道場1か所、土蔵9か所が焼失
1784年4月23日-09:00|日本|東京都墨田区|天明4年3月4日|<大相撲>天明4年3月場所[江戸本所回向院](~10日間)優勝(西大関)谷風、6勝0敗2預2休
1784年4月27日-01:00|フランス| ||ピエール・ポール・マルシェの戯曲「フィガロの結婚」がパリのコメディ・フランセーズで上演され、熱狂的な人気を得る
1784年4月28日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天明4年3月9日|<交替>備中庭瀬藩2万石「板倉勝興」隠居⇒長男「板倉勝志」が継ぐ(⇒翌年2月29日、41歳で死去)
1784年5月4日-04:00|ジョージア| ||<即位>イメティ王「タビット2世」(~1789年)
1784年5月7日-09:00|日本|福井県坂井市|天明4年3月18日|三国湊で大火、町家693軒・寺社11焼失
1784年5月9日 14:00|日本|岐阜県高山市|天明4年3月20日|<飛騨高山天明4年の大火>夜亥の下刻(23時ごろ)一之町三丁目東側の今見屋藤左衛門宅の裏土蔵脇から出火、火元の一之町から二之町、三之町の三町すべてと片原町から寺内町、鉄砲町までが焼けた/類焼家数2342軒、勝久寺、照蓮寺など11か寺が残らず焼失
1784年5月13日 05:00|ペルー| ||ペルー、アレキパ沖で地震(M8.0)死者400人
1784年5月13日-09:00|日本|東京都千代田区|天明4年3月24日|新番士佐野善左衛門が、江戸城中で田沼意次の長男で若年寄の田沼意知(おきとも)を刃傷(4月2日死去、4月3日佐野善左衛門(28)切腹)
1784年5月15日-09:00|日本|群馬県館林市|天明4年3月26日|<死去>上野国館林藩61000石「松平武寛」(31歳)⇒長男「松平齊厚」が継ぐ(⇒天保7(1836)年3月12日、石見浜田藩に移封)
1784年5月17日 00:00|イギリス| ||<就任>初代アバ・ガウエー伯「ジョージ・ネイル」(~17850909死去)
1784年5月18日 00:00|イギリス| ||<就任>レスター伯「ジョージ・ケンゼント」(~18110727死去)
1784年5月18日 00:00|イギリス| ||イギリスで、新議会在野派が多数を占める

1790迄 (2181件)

1784年5月19日-09:00|日本| ||天明4年4月|平秩東作「東遊記」を著す
1784年5月19日-08:00|中国| ||清・乾隆49年4月|甘肅の新教ムスリム田五による反乱がおこる
1784年5月24日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ロズデーレン伯「ジェームズ・ラウザー」(~18020524死去断絶)
1784年5月24日 04:00|プロシヤ/スウェーデン| |||<創設>プロシヤ自治体
1784年5月27日 04:00|グアテマラ/フランス| |||<就任>グアテマラ知事「Charles Francois」(1期目~17860609)
1784年5月31日-09:00|日本|兵庫県たつの市|天明4年4月13日|<交替>播磨龍野藩51000石「脇坂安親」隠居⇒次男「脇坂安董」が継ぐ(⇒天保12(1841)年間1月23日、死去)
1784年6月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Keki Abdi Pasha」(1期目~同年)⇒「Muhammad Tah a Zadah」+「Genj Ahmad Hummusa」(~1785年)
1784年6月-02:00|エジプト| |||イブラヒム・ベイがムラト・ベイによって権力の座から追放
1784年6月13日-09:00|日本| ||天明4年4月26日|<死去>高芙蓉(63歳)儒学者、篆刻家、画家
1784年6月18日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明4年5月|<初演>「隅田川続俳」<法界坊>[作・奈河七五三助]角の芝居
1784年6月18日-08:00|中国| ||清・乾隆49年5月|甘肅の新教ムスリム田五による反乱が鎮圧される
1784年6月19日-09:00|日本|東京都|天明4年5月2日|<死去>国学者・歌人、萩原宗固/82
1784年6月22日-09:00|日本|岩手県盛岡市|天明4年5月5日|<死去>陸奥盛岡藩10万石「南部利正」(34歳)⇒7月17日、次男「南部利敬」が継ぐ(⇒文化5(1809)年12月18日、20万石に高直し)
1784年6月24日 04:00|米領グアージン諸島/デンマーク| |||<死去>セントクロア総督「Peter Clausen」
1784年6月25日 04:00|米領グアージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Henrik Ludvig Ernst von Schimmelmann」(2期目~17871231)
1784年6月26日-01:00|スペイン/アメリカ| |||スペイン、すべての外国人に対してミシシッピ川の航行禁止
1784年6月28日 04:00|フォークランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォークランド諸島司令官・総督「Agustin Figueroa」(~17850515)
1784年6月28日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明4年5月11日|<就任>大坂城代「阿部能登守正敏」(~天明7.4.2)
1784年6月28日-09:00|日本|京都府京都市|天明4年5月11日|<就任>京都所司代「戸田忠寛」(⇒1787(天明7年12月16日))
1784年6月28日-09:00|日本|東京都千代田区|天明4年5月11日|<就任>老中「牧野貞長」(~寛政2年2月2日)
1784年7月1日 04:00|サン・バルテルミー/フランス/スウェーデン| |||フランスは、セント・バーソロミュー島をスウェーデンに売却することに同意
1784年7月2日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーリッチ伯「アレクサンダー・ゴードン」4代ゴードン公・7代ハントリー侯(~18270617死去)
1784年7月2日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天明4年5月15日|<死去>島津忠雅(83歳)前日向佐土原藩主
1784年7月3日 00:00|イギリス| |||<就任>タルボット伯「ジョン・チェットウインド」=タルボット(~17930519死去)
1784年7月4日-01:00|オーストリア/ルーマニア| |||ヨゼフ2世が、トランシルバニアの農民反乱を鎮圧/ハンガリー憲法が廃棄される
1784年7月5日 00:00|イギリス| |||<就任>初代グロウナー伯「リチャード・グロウナー」(~18020805死去)
1784年7月7日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントヤゴ総督「アルレット・クラーク」(~17900317)
1784年7月8日-09:00|日本|埼玉県久喜市|天明4年5月21日|<死去>米津政崇(61歳)前武蔵久喜藩主
1784年7月13日-08:00|マレーシア/オランダ| |||<就任>セランゴール摂政「サイド・アリ・ヒン・ウスマン・アブドゥル・ジャリル・サイフディン」(~17850408)
1784年7月16日-09:00|日本|茨城県石岡市|天明4年5月29日|<死去>常陸府中藩2万石「松平頼濟」(65歳)⇒7月18日、長男「松平頼前」が継ぐ(⇒寛政7(1795)年9月10日、隠居)
1784年7月18日-02:00|トルコ| |||トルコ、エルズィンジャンで地震(M7.6)死者5000人
1784年7月21日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「セザール=コンスタン=フランソワ・ド・ホンスブルック」(~17920603死去)
1784年7月31日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの哲学者・文学者のドニ・デイドロ(1713-、70歳)「百科全書」全28巻の編纂の中心人物
1784年8月13日-08:00|マレーシア/オランダ| |||セランゴールをオランダが占領(~17860729)
1784年8月13日 00:00|イギリス| |||イギリスで、小ピットの提案したインド法が成立/東インド会社がイギリス政府の支配となる
1784年8月14日-09:00|日本|長野県飯田市|天明4年6月29日|<死去>信濃飯田藩2万石「堀親忠」(23歳)⇒弟「堀親民」が継ぐ(⇒寛政8年4月22日(17960528)、死去)
1784年8月15日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ大司教「ヘンズブローク伯爵夫人セザール=コンスタン=フランソワ」(1回目~17900913)
1784年8月16日-01:00|オランダ| |||<就任>ベルゲン・オブ・ズーム総督「ヴァルター・ゴットフリート・フォン・ノイキルヒン」⇒「ヤン・アトール・ハロン・ヴァン・ハーデンプブルック」(~1791年没)
1784年8月16日 06:00|カナダ| |||ケベック植民地からニューブランズウィック植民地が分離
1784年8月24日 00:00|イギリス| |||イギリスのジェームズ・タイラーが熱気球での飛行に成功
1784年8月30日-08:00|中国/アメリカ| |||米船、広東に到着、中国との貿易開始
1784年9月7日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「モサメス男爵セル・デ・アルメイダ・エ・ヴァスコネロス・ソウザ・カルヴァリョ・エ・アルベルガリア」(~1790年9月)
1784年9月8日 01:00|日本|長崎県長崎市|天明4年7月24日|巳刻(午前10時頃)、長崎唐人屋敷内の大工小屋より出火、唐人屋敷がほとんど全焼/東風が強く関帝堂を除き観音堂、土神祠、その外諸部屋を焼き、二の門まで焼失
1784年9月11日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天明4年7月27日|<交替>備中足守藩25000石「木下利忠」隠居⇒次男「木下利彪」が継ぐ(⇒寛政11(1799)年8月9日、隠居)
1784年9月19日-01:00|フランス| |||ロベール兄弟が乗った、ジャック・シャルとジャン=バティスト・ムニエの設計した気球「La Carol

1790迄(2181件)

ine"がパリからバーガーまでの6時間40分で186kmの飛行を行い、バーガーに着陸(史上初めて100kmを越える飛行)
1784年9月21日 06:00|アメリカ| |||ファイテ・ルフィアで日刊新聞「ハ・ケット・アンド・デーリー」紙が創刊
1784年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マネティ」「マリノ・フランチェスコニ」
1784年10月14日-09:00|日本| |||天明4年9月|幕府が、暦の発行を許可している11人の暦屋以外の暦類の売買、辻
売りを禁止
1784年10月14日-09:00|日本|大阪府|天明4年9月|<移封>河内国・播磨国77000石「戸田忠寛」⇒河内・摂津国内7700
0石(⇒天明7(1787)年12月、旧領下野宇都宮藩77000石に移封)
1784年10月18日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| |||<就任>トリニダード 知事「ホセ・マリア・チャコン・イ・サンチェス」(~17970218)
1784年10月20日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「アウグスティン・デ・センテ・デ・エレラ・イ・リベロ」(~1
7850617)
1784年10月22日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ウォルト・グレイヴ 伯「ジョン・ウォルト・グレイヴ」
1784年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ウォルト・グレイヴ 伯「ジョージ・ウォルト・グレイヴ」先代の息子(~17891022死去)
1784年10月22日 06:00|アメリカ| |||イロコ族とアメリカがフォート・スタンウィクス条約を締結、広大なネイティブ・アメリカン領地がアメリカ合
衆国連合会議に割譲される
1784年10月23日-09:00|日本| |||天明4年9月10日|<死去>2代豊竹若太夫(73歳)義太夫節太夫
1784年10月30日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ムタ・ベイ」(~1785年)
1784年11月2日-09:00|日本| |||天明4年9月20日|幕府が鉄座の制を改正
1784年11月10日-09:00|日本| |||天明4年9月28日|<死去>池玉瀾(58歳)画家
1784年11月13日-02:00|ルーマニア| |||トランシルヴァニアの農民が蜂起
1784年11月13日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天明4年10月|蓮池藩、文武学校成章館を設立
1784年11月13日-09:00|日本|兵庫県明石市|天明4年10月|<交替>播磨明石藩6万石「松平直泰」隠居⇒長男「松平直
之」(⇒天明6年4月14日(17860511)、死去)
1784年11月15日-09:00|日本|東京都墨田区|天明4年10月3日|<大相撲>天明4年11月場所[江戸本所回向院](~10日
間)優勝(東関脇)小野川、9勝0敗1無勝負
1784年11月16日 05:00|エアドール/スペイン| |||<就任>スペイン領ト総督・総司令官・大審問院長「ファン・ホセ・デ・ビリアルンガ・ア
イ・マルフィル」(~17900429)
1784年11月16日-09:00|日本| |||天明4年10月4日|<死去>田中道麿(61歳)国学者、歌人
1784年11月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「徐命善」(~17850417)
1784年11月28日-01:00|モナコ/フランス| |||<就任>モナコ総督代行「ピエール・アントワーヌ アレクサンドル・ダテ・マルド・ランタニャック」(~178
50524没)
1784年11月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヨーク＝オールバニ公・初代アルスター伯「フレデリック王子」(~18270105死去)
1784年11月30日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国連合会議議長「Richard Henry Lee」無所属(~17851106)
1784年12月4日-05:30|インド| |||グワーリヤル太守マハタージュ・シンデ・イアがムガル帝国の摂政(ヴァキル・ムタラク)と軍総司令官(ア
ミール・ウマラ)に命じられる
1784年12月4日 00:00|イギリス| |||<就任>初代バッキンガム侯「ジョージ・ニュージエント＝テンブル＝グレンヴィル」3代テンブル伯(⇒178
81013兼2代ニュージエント伯~18130211死去)
1784年12月6日 00:00|イギリス| |||<就任>ランス・ダウ侯「ウィリアム・ヘンリー」2代シェルバーン伯(~18050507死去)
1784年12月12日-09:00|日本| |||天明4年冬|この年、諸国大飢饉/津軽藩で102000余人餓死
1784年12月12日-09:00|日本|東京都中央区|天明4年11月1日|<初演>常磐津舞踊劇「積恋雪関扉」[作:宝田寿来,作
曲:鳥羽屋長]江戸桐座
1784年12月12日-09:00|日本|東京都中央区|天明4年11月1日|市村座は倒産閉場し控櫓の桐座に興行権を譲る
1784年12月13日 00:00|イギリス| |||<死去>サミュエル・ジョンソン/75歳(誕生:17090918)「英語辞典」を完成させた文学
者で詩人
1784年12月23日 06:00|アメリカ| |||ニューヨーク、臨時首都になる
1784年12月23日-09:00|日本|長野県長野市|天明4年11月12日|松代藩領山中地方の農民が、飢饉のため酒造家へ
借金強談におしかける(山中騒動)
1784年12月24日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督「ヤン・ゲルハルト・ヴァイヤース」(~179
00615)
1784年12月27日-09:00|日本|奈良県天理市|天明4年11月16日|<死去>織田秀賢(57歳)前大和柳本藩主
1784年12月31日-06:30|ミャンマー| |||アラカンがアワ(ビルマ)に併合(~18260224)
1785年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Adriaan de Bock」(~1788年)
1785年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ジョアン・バプティスタ・ビエイラ・ゴディニョ」(~1788年)
1785年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン副総督(ベンガル総督に従属)「ジョン・クリップ」(1期目~1786年)
1785年-08:00|マレーシア/タイ| |||タイのチャクリ朝がマレー半島のパタニ王国を支配下におく
1785年-07:00|タイ/ミャンマー| |||ソクラはビルマにより占領される(~1786年)
1785年-05:30|インド| |||<国名変更>チャヤ国⇒ポルバンダル国
1785年-05:30|インド| |||<就任>アフガニスタン統治者「クリシュナ」(~1805年)
1785年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「マダット・カーン」(~1786年)
1785年-05:30|インド| |||<就任>カシミール統治者(サルタール)「ジョト・シン」(~1818年没)
1785年-05:30|インド| |||<就任>ガウル王国ラジャ「フランド・ユマン・シャー」(~1804年1月没)
1785年-05:30|インド| |||<就任>ジャイントピア国ラジャ「ヒン・エイ・ナヤン・シム・ストゥンガ」(~1786年)
1785年-05:30|インド| |||<就任>チャタルプーラ国ラジャ「クンワル・ソーン・シャー」建国(~18160504没)

1790迄 (2181件)

1785年-05:30|インド| |||<就任>デーンカル国ラジヤ「ダヤニディ・マント・ラ・ハート・ウル」(~1796年)
1785年-05:30|インド| |||<就任>ハッシャル国統治者(ナ)「ウガ・ー・シン」(~1811年没)
1785年-05:30|インド| |||<就任>ハンナ国ラジヤ「ト・カル・シン」(~1798年)
1785年-05:30|インド| |||ナルグント国をマヒスル(マイソール)が占領(~1799年)
1785年-05:30|インド| |||ラムド・ウルグ国をマヒスル(マイソール)が占領(~1799年)
1785年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<死去>ブハラ・ハン国マンギト朝アタリク「ダニヤル・ビー」
1785年-05:00|パキスタン| |||<即位>バルティスタン国王「モハマト・ザ・ファル・カーン」(~1787年)
1785年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・アミール国マンギト朝アミール(マスーム)「シャー・ムラート」ダニヤルの子
(~17991213死去)
1785年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ガズジャ汗国ハン「ムハンマト・ラヒム・ハン」(~1786年)
1785年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフチヴァン汗国ハン「シュケール・アリー・ハン」(~1787年)
1785年-04:00|アゼルバイジャン| |||タリシュ・ムガンはカフ汗国に従属(~1789年)
1785年-04:00|ロシア| |||マンスルがロシア軍を破り、チェチンから北ダゲスタンを統一
1785年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・ムハンマト・フセイン・ファラニ」(~17940320)
1785年-03:30|イラン| |||アーガー・ガイラン中央高原地帯を制圧し、拠点をテヘランへ移す
1785年-03:00|スーダン| |||<就任>南コルト・ファン総督「ムハンマト・クラ」
1785年-03:00|スーダン| |||<就任>北コルト・ファン総督「イブラヒム・イブン・ラマト」
1785年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ユキ王国統治者(オムカマ)「キヒンブワ2世」(~1832年頃)
1785年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブコノ統治者(オムカマ)「ントウンバ」(~1818年頃)
1785年-03:00|スーダン| |||コルト・ファン・スルタン国がダフルに併合(1803年からキーラ・コルト・ファン~1821年)
1785年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イブラヒム・ペイ」(2度目~同年)
1785年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>ムベレ統治者(マンボ)「スガ・オスウェ・ニヤムハントワ2世」(~1790年頃)
1785年-02:00|南アフリカ| |||南アフリカで新種のシマウマとしてクワッカが記載される
1785年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニココ「ジヨセフ1世」
1785年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ウリス「セリム・パシャ」(~同年)⇒「イエーゲン・マフムド・パシャ」(~1786年)
1785年-01:00|フランス| |||<就任>モルティン伯「Louis Philippe2世」(~1786年)
1785年-01:00|チャド| |||<即位>バギルミ王国スルタン「Abd ar-Rahman Gawrang, Mbangi」(~1806年)
1785年-01:00|フランス| |||フランスの化学者アントワーヌ・ラヴואジエ(42)が、水素と酸素を燃焼させて水を合成することに成功し、水が酸素と水素の2つの気体が結合してできていることを実証
1785年-01:00|フランス| |||フランスの物理学者クーロンが電気力の逆二乗則を発見
1785年 00:00|トゴ| |||<就任>ヘンガラム統治者(オロヱツ)「アゴラ・オロ・ダム」(~1805年)
1785年 00:00|トゴ| |||<就任>ゲニガバ統治者(フィオ)「フォリ・デ・ク」(~1813年)
1785年 00:00|トゴ| |||<就任>コトリ統治者(オロヱツ)「アゴロ・ダム」(~1805年頃)
1785年 00:00|セネガル| |||<就任>シン統治者(フル・シン)「ビラム・パテ・ジラン・ンジエイ」
1785年 00:00|モリタニア| |||<就任>タガニット連邦エミール「ムハンマト・アル・ハクル・イブン・ムハンマト・シェイン」(~1820年)
1785年 00:00|イギリス| |||キャベンディッシュが硝酸の合成に成功
1785年 00:00|シエラレオネ/フランス| |||ロバナのテム人首長がフランスに商館として使用する土地をガンビア島内に提供
1785年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<死去>イギリス植民地モントセラト副総督代理「Michael 柯イト」
1785年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト副総督「ベンジャミン・Carpenter」(2期目~1788年)
1785年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Jean Sebastien」(~1793年)
1785年 04:00|グアドループ/イギリス| |||<就任>マリー・ガランテ特定知事「Jean Etienne」(~1790年)
1785年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ビセンテ・デ・ガルベス・イ・バレンシア」(~1790年)
1785年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ホセ・トマス・イ・バジェ」(~1793年)
1785年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「エステバン・ロドリゲス・ミロ」(~1791年)
1785年1月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「アントニオ・テレス・デ・メネズ」(~4月没)⇒「ジョアン・ペレイラ・バレット」(2回目~1786年5月)
1785年1月 06:00|アメリカ| |||デラウェア族等とアメリカ合衆国がマッキントッシュ条約を締結
1785年1月1日 00:00|イギリス| |||イギリスで、「ザ・タイムズ」の前身の「デーリー・ユニヴァーサル・レジスター」紙が創刊
1785年1月2日-06:30|ミャンマー| |||ビルマのポート・バーヤ王の攻撃でアラン王国が滅亡
1785年1月7日-01:00|フランス/イギリス/アメリカ| |||フランス人ジャン・ブランシャール(32)とアメリカ人医師ジョン・ジェフリーズが熱気球で初めてイギリス-フランス間のドーバー海峡を約2時間で横断
1785年1月8日-09:00|日本|東京都千代田区|天明4年11月28日|<就任>大老「井伊直幸」(~天明7年9月1日)
1785年1月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆49年12月|朝鮮、金弘道、「檀園図」を描く
1785年1月15日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・イオン・イブシランティ」(~17880408)
1785年1月19日 00:00|アイルランド| |||ダブリン近郊でアイルランドのリチャード・クロスビーが水素気球で飛行を行った
1785年1月21日 06:00|アメリカ| |||マッキントッシュ条約、ネイティヴ・アメリカ、オハイオをアメリカ合衆国連合会議に割譲
1785年1月23日-09:00|日本|愛媛県西条市|天明4年12月13日|<死去>一柳頼寿(52歳)前伊予小松藩主
1785年1月27日 06:00|アメリカ| |||<設立>ジョージア州立大学(ジョージア大学、米国初の公立大学)
1785年1月31日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ホセ・ペリエ・イ・バロス」(2回目~17890107)
1785年2月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・イオン・マウロルダット」(~17861214)
1785年2月1日-05:30|インド/イギリス| |||<辞任>イギリス領ベンガル臨時総督(イギリス東インド会社)「ウォレン・ヘスティンズ」

1790迄(2181件)

1785年2月1日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベンガル臨時総督(イギリス東インド会社)「ジョン・マクファーソン」(~17860912)

1785年2月1日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督代行「ニコラ・クタンソー・デ・アルグラン」(~5.21)

1785年2月1日-05:30|インド/フランス| |||ポンティシエリがフランスに復帰

1785年2月1日-09:00|日本|長野県小諸市|天明4年12月22日|<交替>信濃小諸藩15000石「牧野康満」隠居⇒長男「牧野康陸」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年11月16日、死去)

1785年2月3日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユスティウス島知事「Abraham Heyliger」(~11.20)

1785年2月5日-09:00|日本|東京都中央区|天明4年12月26日|<江戸鍛冶橋門内天明四年大名小路の大火>亥の下刻(23時ごろ)、鍛冶橋門内八代州河岸の大名小路にある遠州横須賀城主・西尾隠岐守屋敷から出火、またたく間に同屋敷を焼き尽くすと、近隣の大名屋敷に次々と延焼、炎は曲輪外へ出て鍛冶橋門外から数寄屋橋門外まで御堀端の家々を残らず焼失/さらに燃え広がり、三十間堀通り、山下門外通り、汐留橋から新橋までと幸橋通りを残らず灰にした/さらに木挽町から築地まで、本郷町、南飯田町は海岸端まで、明石町、柳原町と小田原町の片側まで焼き払い、芝口源助町の海岸際で焼け止まったが、近くの御浜御殿内に飛び火し水主同心・岩本安五郎宅を焼いている/焼失した範囲の北は京橋を境に南は新橋の仙台伊達陸奥守屋敷までの間、人家は一軒も残らず焼き払われ、東南にも焼け広がり築地鉄砲河岸に立ち並ぶ大、小名の浜屋敷も灰にしている

1785年2月7日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「ウィレム・ヤコブ・ファン・デ・グラーフ」(~17940715)

1785年2月9日-09:00|日本| ||天明5年1月|<刊行>山東京伝、黄表紙「江戸生艶気樺焼」

1785年2月9日-09:00|日本| ||天明5年1月|<刊行>山東京伝、洒落本の初作「令子洞房」

1785年2月9日-09:00|日本| ||天明5年1月|<出版>鳥居清長「絵本物見岡」(浮世絵)

1785年2月9日-09:00|日本| ||天明5年1月|<出版>北尾重政、絵本「源氏百人一首錦織」(浮世絵)

1785年2月9日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興46年1月|ゲン・フエ軍がミでゲン・フック・アイン軍とシャム軍を破る

1785年2月11日-03:30|イラン| |||<死去>ザンド王朝ワル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「アリ・モト・カン・ザント」

1785年2月12日-03:30|イラン| |||<即位>ザンド王朝ワル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「ハキル・カン・ホサニ」(~17日)

1785年2月13日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Hazineh Sahin Ali Pasha」(2期目~3.30)

1785年2月14日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地司令官(オランダ東インド会社)「コネルリス・ヤコブ・ファン・デ・グラーフ」(~17910624)

1785年2月14日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「ウルヘル・ヨセフ・ボルトス」(~17951208)

1785年2月14日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「アドルフ・ティレンス」(~17860526在任中死去)

1785年2月18日-03:30|イラン| |||<即位>ザンド王朝ワル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「ジャファール・カン・ザント」(~17890123部下に暗殺される)

1785年2月20日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イェン・セイド・メフメド・パシャ」(~1786年)

1785年2月26日-05:30|インド/フランス| |||カリカルがフランスに復帰

1785年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Ahmed Pasha al-Djazzar」(1期目~1786年)

1785年3月1日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天明5年1月21日|<加増>相良藩47000石「田沼意次」⇒57000石(⇒天明6(1786)年閏10月5日、2万石没収され37000石)

1785年3月4日-09:00|日本|千葉県野田市|天明5年1月24日|<死去>下総関宿藩58000石(老中)「久世広明」(55歳)⇒3月10日、長男「久世広誓」が継ぐ(⇒文化14(1817)年11月7日、隠居)

1785年3月6日 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領セント・バーソロミュー島知事「Salomon Mauritz von Rajalin」(~1787年)

1785年3月6日 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<設立>セント・バーソロミュー島スウェーデン植民地(サントバーソロミュー) (~18780316)

1785年3月7日-05:30|インド/フランス| |||ヤワンがフランスに復帰

1785年3月9日-09:00|日本|静岡県沼津市|天明5年1月29日|<加増>駿河沼津藩25000石「水野忠友」+5000石⇒3万石(⇒享和2(1802)年9月19日、死去)

1785年3月9日-09:00|日本|島根県浜田市|天明5年1月29日|<加増>石見浜田藩5万石「松平康福」+1万石⇒6万石(⇒寛政元(1789)年2月8日、死去)

1785年3月9日-09:00|日本|千葉県館山市|天明5年1月29日|<加増>安房館山藩1万石「稲葉正明」+3000石⇒13000石(⇒天明6(1786)年閏10月、3000石減知され1万石)

1785年3月10日-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインが王立フィリピン会社を設立

1785年3月17日-09:00|日本|山形県米沢市|天明5年2月7日|<交替>出羽米沢藩15万石「上杉治憲(鷹山)」隠居⇒養子「上杉治広」が継ぐ(⇒文化9(1812)年9月7日、隠居)

1785年3月22日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「ジェームズ・エドワード・パウエル」(~17860206)

1785年3月26日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天明5年2月16日|<死去>加藤泰広(76歳)前伊予新谷藩主

1785年3月27日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国ルマンデュー公「ルイ」フランス王ルイ16世の子(~1789年)

1785年3月29日-09:00|日本|京都府京都市|天明5年2月19日|<就任>関白「九条尚実」(~天明7年2月19日散官)

1785年3月30日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Abdulcelilzade Suleyman Pasha」(~同年)⇒「Haci Mustafa Pasha」(~同年)

1785年3月30日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「アントニオ・マチャド・デ・ファリア・エ・マイア」(~17890121)

1785年3月31日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「シャヒン・アリ・パシャ」(~17860124)

1785年4月-04:00|ロシア| |||ロシアが貴族と都市に特権許可状

1790迄(2181件)

1785年4月-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「アフォンソ5世」(~1787年没)

1785年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ジ・ヤンギ」 「ジ・ヨウ・アンニ・アントニオ・マルベリ」

1785年4月4日 00:00|イギリス| |||<就任>カートライトが力織機を發明

1785年4月5日-04:00|モリシャス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督代行「カミュー・シャルル・ルクレール・シュヴァリエ・ド・フレンヌ」(~6. 28)

1785年4月5日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ガルベス伯爵ペルナルト・ビセンテ・デ・ガルベス・イ・ガラルト」(~7日)

1785年4月7日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 暫定総督・総司令官「ペルナルト・トロコソ・イ・マルティネス・デル・リンコン」(~17851201)

1785年4月8日-08:00|マレーシア| |||<即位>セランゴール・スルタン「サイト・アブドゥル・ラーマン総督」(~1786年)

1785年4月8日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天明5年2月29日|<死去>備中庭瀬藩2万石「板倉勝志」(41歳)⇒「板倉勝喜」が継ぐ(⇒享和3(1803)年11月7日、隠居)

1785年4月9日-07:00|タイ/ベトナム| |||<就任>阮福映が西山軍の攻撃を逃れ、手勢とともにシャムにわたる

1785年4月9日-09:00|日本|岐阜県海津市|天明5年3月1日|<交替>美濃今尾藩3万石「竹腰勝紀」隠居⇒長男「竹腰睦群」が継ぐ(⇒文化元(1804)年10月26日、36歳で病死)

1785年4月14日-01:00|フランス| |||<就任>財務長官「シャルル・ド・カソグ」が、東インド 会社を再建

1785年4月18日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|天明5年3月10日|<交替>出羽本荘藩2万石「六郷政林」隠居⇒三男「六郷政速」が継ぐ(⇒文化9(1812)年10月26日、死去)

1785年4月18日-09:00|日本|滋賀県高島市|天明5年3月10日|<交替>近江大溝藩2万石「分部光庸」隠居⇒長男「分部光実」が継ぐ(⇒文化5(1808)年4月14日、死去)

1785年4月19日 13:00|日本|東京都青ヶ島村|天明5年3月11日|<青ヶ島「天明の大噴火」>夜中になると、農作物から野山の草木まですっかり砂土で覆い尽くされてしまい枯れた

1785年4月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「フリートリヒ2世敬虔公」

1785年4月21日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェリーン公「フリートリヒ・フランツ1世」フリートリヒの甥(⇒1815年大公~18370201死去)

1785年4月21日-09:00|日本| |||天明5年3月13日|<死去>2代藤間勘兵衛(不明) 振付師

1785年4月26日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||<就任>オランダ 領インド 総督「ウィレム・ブラウカマー」(~1789年)

1785年4月26日-09:00|日本|東京都|天明5年3月18日|<死去>英派の絵師、福王雪岑(御能役者福王茂右衛門) 白鳳軒と号し、英家の画を学び、宝暦の頃より能の図を画く

1785年4月28日-09:00|日本|京都府京都市|天明5年3月20日|<死去>近衛内前(58歳) 元閑白、太政大臣

1785年5月2日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Claude Elie Diore de Perigny」(~17880215)

1785年5月7日-09:00|日本|東京都青ヶ島村|天明5年3月29日|<青ヶ島「天明の大噴火」>島全体に熱気の強い煙が烈しく吹きかかり、草木は一物も残さず枯れ尽くし、穀物の足しになる物もなく、浜への道も途絶えて魚も海藻採りもできない状態となった

1785年5月11日-09:00|日本| |||天明5年4月3日|<死去>初代鳥居清満(51歳) 浮世絵師

1785年5月12日-05:30|インド| |||<就任>サアアンティ 国統治者(ラジヤ・バハードゥル)「ケム・サアアン3世」(~18031006)

1785年5月13日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「イスマイル・パシャ」(~7. 28)

1785年5月15日 04:00|フォークランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォークランド 諸島司令官・総督「Ramon de Clairac y Vilalonga」(1期目~17860525)

1785年5月15日-09:00|日本|三重県津市|天明5年4月7日|<死去>藤堂高朗(69歳) 前伊勢津藩主

1785年5月19日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天明5年4月11日|京都33間堂通矢の「五十間堂千射」で、伊藤松之助蒸(13歳)が899総矢数1,000中)を記録

1785年5月20日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、1785年公有地条例が制定され、西部開拓が困難になる

1785年5月21日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 総督「スイヤック子爵フランソワ」(~10月)

1785年5月24日-01:00|モナコ/フランス| |||<就任>モナコ総督「サンマルク男爵ジャン・ピエール・ド・メロ」(~1786年)

1785年6月-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿國務長官「イグナチオ・ガエターノ・ボンコンパーニ・イル・ヴァーゼ」(~1789年9月)

1785年6月1日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督代行「ウィリアム・ルカス」(~17871009没)

1785年6月4日-09:00|日本|東京都青ヶ島村|天明5年4月27日|<青ヶ島「天明の大噴火」>八丈島から3艘の船が救助に来た/人々はわれ先へと救助の船に乗ろうとするが船はすぐさまいっぱいになり、163人の人たちは首尾良く乗船できたが、乗り遅れて取り残された老人、幼児は取り残され、おおよそ130~40人死亡

1785年6月6日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジャン・ヴァルロ・パラヴィーニ」(~17870606)

1785年6月6日-09:00|日本|愛知県田原市|天明5年4月29日|<死去>大垣新田藩1万石「戸田氏養」(28歳)⇒長男「戸田氏興」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年1月27日、死去)

1785年6月15日-01:00|フランス/イギリス/アメリカ| |||初の気球による死亡事故/フランス、ピラートル・ロジェとジュール・ロマンは気球で飛行中、ブローニュ近郊で炎上して墜落死

1785年6月15日-09:00|日本| |||天明5年5月9日|<死去>初代宮園鸞鳳軒(不明) 浄瑠璃太夫

1785年6月15日-09:00|日本| |||天明5年5月9日|徳山藩、文武学校鳴鳳館を設立

1785年6月16日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官「Jean-Antoine Nicolas Dandasne dit Danseville」(~17930514)

1785年6月17日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「ペルナルト・ビセンテ・ホリナル・デ・ガルベス・イ・ガラルト」(

1790迄 (2181件)

~17861130没)

- 1785年6月24日 00:00|イギリス| |||<就任>初代メイヨ-伯「ジョン・ホーク」(~17901202死去)
- 1785年6月27日-05:30|イギリス/フランス| |||チェンバレンがフランスに復帰
- 1785年6月28日-04:00|モリスヤス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督代行「フルーリーの騎士フランソワ・ルイ・テト・ルド・フルーリー」(~11.7)
- 1785年6月29日-09:00|日本|大分県杵築市|天明5年5月23日|<交替>豊後杵築藩32000石「松平親貞」隠居⇒弟「松平親賢」が継ぐ(⇒享和2(1802)年9月28日、50歳で死去)
- 1785年6月29日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天明5年5月23日|<交替>日向国佐土原藩27000石「島津久柄」隠居⇒三男「島津忠持」が継ぐ(⇒文化13(1816)年、隠居)
- 1785年7月1日-09:00|日本|東京都|天明5年5月25日|<死去>石川豊信(75歳)浮世絵師/宿屋飯盛の父で、版画の木目刷りを創作した
- 1785年7月3日 05:00|ハチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミノ・総督代行「ギー・ピエール・デ・カスター」(~17860427)
- 1785年7月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>オルデンブルク公「フリートリヒ・アウグスト1世」
- 1785年7月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>オルデンブルク公「ヴィルヘルム(ペーター・フリートリヒ・ヴィルヘルム)」フリートリヒ・アウグスト1世の子(⇒1815年オルデンブルク大公~18230702死去)
- 1785年7月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国連合会議、新貨幣制度を採択
- 1785年7月6日-09:00|日本|秋田県秋田市|天明5年6月1日|<死去>出羽久保田藩205800石「佐竹義敦」(38歳)絵師⇒7月26日、長男「佐竹義和」が継ぐ(⇒文化12(1815)年7月8日、死去)
- 1785年7月13日-05:45|ネーデル| |||<就任>ネーデル摂政「バート・ウル・シャー」(2回目~17940606)
- 1785年7月13日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<死去>ギアナ知事「Alexandre Ferdinand」
- 1785年7月13日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ暫定知事「Louis Le Neuf de La Valliere」(~8.16)
- 1785年7月15日-09:00|日本|山形県米沢市|天明5年6月10日|<死去>米沢新田藩1万石「上杉勝承」(51歳)⇒養子「上杉勝定」が継ぐ(⇒文化12(1815)年11月9日、隠居)
- 1785年7月23日-01:00|ドイツ| |||プロシヤ王フリードリヒ2世が、ザクセン選帝侯やハノーヴァー選帝侯ジョージ3世とドイツ諸侯同盟を結成
- 1785年7月25日-09:00|日本|愛知県犬山市|天明5年6月20日|<死去>成瀬正泰(77歳)前尾張犬山藩主、尾張藩家老
- 1785年7月28日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「モリス・アフメト・パシャ」(~17860302)
- 1785年8月-04:00|モリスヤス/フランス| |||<就任>マリアナ島司令官「ルネ・シャルル・ル・フランソワ・フォルヴァルト・グランヴィル」(2回目~1786年7月)
- 1785年8月 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督「ハンス・クリストフ・デ・リヒ・ヴィクター・フォン・レヴァエツォフ」(~1790年8月)
- 1785年8月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆50年7月|朝鮮が議勇營を設置(~1802、国王親衛部隊)
- 1785年8月9日-09:00|日本|熊本県宇土市|天明5年7月5日|<死去>細川興文(63歳)前肥後宇土藩主
- 1785年8月12日-09:00|日本|長崎県対馬市|天明5年7月8日|<死去>対馬府中藩22800石「宗義功」(15歳)⇒弟「宗義功」が継ぐ(⇒文化9(1812)年10月2日、隠居)
- 1785年8月15日-05:30|イギリス/フランス| |||マヘがフランスに復帰
- 1785年8月16日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ暫定知事「Thomas de Fitz-Maurice」(~17870517)
- 1785年8月22日-01:00|オーストリア| |||オーストリアのヨーゼフ2世が永代農奴制を廃止
- 1785年8月22日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天明5年7月18日|<死去>丹波篠山藩5万石「青山忠講」(21歳)⇒弟「青山忠裕」が継ぐ(⇒文政10(1827)年5月7日、遠江国に1万石を加増され6万石)
- 1785年8月25日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天明5年7月21日|<死去>因幡鹿奴藩3万石「池田澄時」(17歳)⇒弟「池田仲雅」が継ぐ(⇒文政7(1824)年9月26日、隠居)
- 1785年8月31日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチアのバン「フェルツ・ゲロ・バラツ」(~17900512)
- 1785年9月1日-01:00|ルクセンブルク/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ルクセンブルク総督「ヨハン・ブラジウス・フライヘル・フォン・ベンダー」(~17950607)
- 1785年9月2日-09:00|日本|東京都|天明5年7月29日|<死去>九代目中村勘三郎
- 1785年9月4日-09:00|日本| ||天明5年8月|<完成>前野良沢「蘭和訳箋」
- 1785年9月4日-09:00|日本| ||天明5年8月|<出版>北尾政美「江都名所図絵」一巻
- 1785年9月9日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アバーガウェニー伯「ジョージ・ネイル」
- 1785年9月9日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アバーガウェニー伯「ヘンリー・ネイル」(~18430327死去)
- 1785年9月10日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「ヨアヒム・オットー・シャック＝ラスレー＝スノイムガート」(~17880603)
- 1785年9月10日-01:00|ドイツ/アメリカ| |||プロシヤとアメリカ合衆国の間に、修好通商条約が締結される
- 1785年9月13日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|天明5年8月10日|<死去>加藤明堯(46歳)前近江水口藩主
- 1785年9月13日-09:00|日本|東京都|天明5年8月10日|<死去>加藤枝直(94歳)町奉行吟味方、歌人
- 1785年9月23日-09:00|日本|福井県鯖江市|天明5年8月20日|<死去>間部詮方(77歳)前越前鯖江藩主
- 1785年9月24日-09:00|日本|静岡県磐田市|天明5年8月21日|浮田幸吉が滑空飛行に成功
- 1785年9月26日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミノ・総裁・総司令官代行「ホセ・ガラルシア・イ・モレノ」(1回目~17860417)
- 1785年9月27日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|天明5年8月24日|<死去>大和高取藩20500石「植村家利」(27歳)⇒兄「植村家長」が継ぐ(⇒文政8(1825)年4月18日、4500石加増され25000石)
- 1785年9月28日-09:00|日本|東京都|天明5年8月25日|<死去>9代市村羽左衛門(62歳)歌舞伎役者

1790迄 (2181件)

1785年9月30日-01:00|スเปน/パナマ| |||<死去>ペラガア公「ハコホ・フランシスコ・フィツ＝ハメス・スチュアルト・イ・コロネ・デ・ホルタガル」
1785年9月30日-01:00|スเปน/パナマ| |||<就任>ペラガア公「カルロス・ベルナルト・フィツ＝ハメス・スチュアルト・イ・シルバ」先代の子(～17870907没)
1785年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ビエール・アントニオ・レオナルデッリ」「ジローラモ・パオロニ」
1785年10月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆50年9月|朝鮮「大典通編」を編纂(1784～)
1785年10月3日-09:00|日本| ||天明5年9月|林子平「三国通覧図説」脱稿/地図はこの年、解説は翌年刊行(蝦夷地開拓防備の必要を力説)
1785年10月8日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「デヴィッド・シャルパンティエ・ド・コニー」(～1787年)
1785年10月9日-09:00|日本|島根県出雲市|天明5年9月7日|<死去>松平近貞(53歳)前出雲広瀬藩主
1785年10月14日-09:00|日本|愛知県田原市|天明5年9月12日|<死去>三河田原藩12000石「三宅康武」(23歳)⇒弟「三宅康邦」が継ぐ(⇒寛政4(1792)年2月29日、死去)
1785年10月19日-09:00|日本|東京都|天明5年9月17日|諸侯の納戸を専門に狙った盗賊稲葉小僧逮捕
1785年10月19日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天明5年9月17日|<死去>但馬出石藩58000石「仙石久行」(33歳)⇒長男「仙石久道」が継ぐ(⇒文化11(1814)年9月20日、隠居)
1785年10月28日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天明5年9月26日|伏見の町人が伏見奉行小堀政方の苛政を幕府へ越訴(伏見騒動)
1785年10月31日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝カッセル方伯「フリートリヒ2世」
1785年10月31日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝カッセル方伯「ヴィルヘルム9世」フリートリヒ2世の息子(⇒18030515ヘッセン選帝侯ヴィルヘルム1世)
1785年11月3日-09:00|日本|東京都荒川区|天明5年10月2日|稲葉小僧(34)、市中引き回しの上、小塚原で獄門
1785年11月7日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|天明5年10月6日|<死去>近江仁正寺藩17000石「市橋長璉」(53歳)⇒12月7日、長男「市橋長昭」が継ぐ(⇒文化11(1814)年9月27日、42歳で死去)
1785年11月18日-01:00|フランス| |||<死去>ヴァロア公・オルアン公・モンパシエ公・ヌール公・モルテン伯「ルイ・フィリップ1世」60歳
1785年11月18日-01:00|フランス| |||<就任>ヴァロア公・オルアン公・モンパシエ公・ヌール公・ルイ・フィリップ2世「ジョゼフ」(～17931106反逆罪で死刑/46歳)
1785年11月20日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユスティウス島知事代理「Johannes Runnels」(1期目～17890629)
1785年11月23日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国連合会議議長「John Hancock」無所属(～17860605)、代理「David Ramsay」無所属(～17860512)
1785年11月27日-09:00|日本|熊本県熊本市|天明5年10月26日|<死去>肥後熊本藩54万石「細川重賢」(66歳)⇒長男「細川治年」が継ぐ(⇒天明7(1787)年9月16日、死去)
1785年11月28日 06:00|アメリカ| |||ホープウェル条約締結、アメリカ合衆国連合会議、ネイティグ・アメリカから広大な土地を獲得
1785年11月30日-09:00|日本|新潟県五泉市|天明5年10月29日|<死去>越後村松藩3万石「堀直堯」(69歳)⇒六男「堀直教」が継ぐ(⇒寛政7(1795)年、隠居)
1785年12月1日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ホセ・マヌエル・イグナシオ・ティモテオ・デ・エスペレータ・ガルデアノ」(～17890418)
1785年12月15日-09:00|日本|兵庫県三田市|天明5年11月14日|<交替>摂津三田藩36000石「九鬼隆邑」隠居⇒長男「九鬼隆張」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年2月6日、隠居)
1785年12月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Karl Friedrich」
1785年12月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Anton Aloys」(～18311017死去)
1786年-08:00|マレーシア| |||<就任>ナنگ・統治者(オラン・カヤ・セリ・ラジャ・メラー)「ダト・アンジャック」(～1801年)
1786年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン副総督代理(ベンガル総督に從属)「トマス・Palmer」(～1787年)
1786年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンバス国スルタン「Achmad Taj ud-din2世」(～1793年)
1786年-08:00|インドネシア| |||<即位>チボーン・クスマン君主「Sultan Sepuh6世」(～1791年)
1786年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「トゥンク・ラミティン」(～1791年)
1786年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「アフマデ・イン・シャー」(～1806年没)、摂政「アフマデ・イン・シャー・イブン・ニール＝マルフム・スルタン・ムハンマド・シャー・アミヌッラー」(～1792年9月)
1786年-07:00|タイ| |||<就任>ナン公(チャオ)「アッタワラニョ」(～1810年)
1786年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王「テンク・ラミティン」(～1791年)
1786年-07:00|タイ| |||ナンは宗主国タイの下で復元
1786年-07:00|タイ| |||パタニはシャムが占領
1786年-05:30|インド| |||<死去>リムディ国統治者(タクル・サーヒブ)「ハルハルジ1世・ベリサルジ」
1786年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ミルザット・カーン」(～1788年)
1786年-05:30|インド| |||<就任>カッチ国統治者(ミルザ・マハラオ)「フリトゥ・イラージ・シンジ」(～1801年没)、摂政「ファト・ムハンマド」(～18131005)
1786年-05:30|インド| |||<就任>カシュマル国ラジャ「ミアン・クンダラン・シン」チャンバにより任命(～同年)⇒「スジヤン・シン」(～1787年没)
1786年-05:30|インド| |||<就任>ジャイプリア国ラジャ「ラクシュミー・シン・シエム・ストウガ」(～1790年)
1786年-05:30|インド| |||<就任>ジャッソ国統治者(デューワン)「ムラット・シン」(～1830年)
1786年-05:30|インド| |||<就任>ソネール国ラジャ「フリスヴィ・シン・デオ」(～1841年没)
1786年-05:30|インド| |||<就任>タラト国統治者(ターケル)「ハルハルジ・ハンジ」(～1823年没)
1786年-05:30|インド| |||<就任>パソダ国支配者(サワブ)「ハクア・アッラー・カーン」(～1800年)

1790迄 (2181件)

1786年-05:30|インド| |||<就任>ハンズワラ国統治者(マハラ)「ヒンジャイ・シン」(~1816年没)

1786年-05:30|インド| |||<就任>ヒンドル国ラジャ「キヤン・チャント・ラ・マルト・ラジ・シヤガ・デブ」(~1829年)

1786年-05:30|インド| |||<就任>ラジピプ国統治者(ラジャ・マハラ)「アジヤフ・シンジ」(~18030115没)

1786年-05:30|インド| |||<就任>リムデイ国統治者(タル・サーヒブ)「ハリシンジ・ハルバ・ンジ」(~1825年没)

1786年-05:30|インド| |||<就任>ルナバダ国統治者(ラ)「シヤガ・ット・シン」(~同年)⇒「ハルカタ・シン」(~1817年)

1786年-05:30|インド| |||カシュワール国をチャンバが占領(~1786年)

1786年-05:00|ガザフスタン| |||<就任>小ジユス・ハン「カイフ」バトウルの子(~1791年)

1786年-05:00|パキスタン| |||<就任>カイルプール国ミール「ソーラフ・カーン」シント国を統治するタルプール氏族の分家によって建国(~1811年)

1786年-05:00|パキスタン/アフガニスタン| |||カイルプール国はアフガニスタン宗主権下(~1813年)

1786年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ガングヤ汗国ハン「ジャワト・ハン」(~18040103)

1786年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャマ汗国ハン「ファト・アリー・ハン」(2度目~1789年)

1786年-04:00|セイシェル/フランス| |||<就任>フランス領セイシェル司令官「オーギュスタン・モタイス・ト・ナルボンス」(~1789年)

1786年-04:00|ロシア| |||タルキはロシアの宗主権下(1797年に確認)

1786年-03:30|イラン| |||<就任>サラブ汗国カン「サディク・カーン・シヤキ」(~1797年)

1786年-03:30|イラン| |||<就任>タブリーズ汗国カン「ドンボリ」(~1797年)

1786年-03:30|イラン| |||<就任>ドンボリ汗国カン「ジャファル・コリ・カーン・ドンボリ」(~1797年)

1786年-03:00|ウガンダ| |||<死去>ブニョロキタ王「Olimi4世 Kasoma」

1786年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムッサリフ「イブラヒム・ベイ」(~1788年)

1786年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ブニョロキタ王「Kyebambe3世 Nyamutukura」(~1835年死去)

1786年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Huseyin Battal Pasha」(~同年)

1786年-02:00|ラトビア| |||<就任>クルラントとゼムガレのリヴォニア公国政府議長代行「エルスト・ヨハン・フォン・タム」(1回目~12.21)

1786年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>タマカス・ワリス(総督)「Huseyin Pasha Battal」(~1787年)

1786年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<就任>ヨアニナ・ワリス(総督)「クルト・アフマト・パシャ・オブ・デ・ルヴェン」(~1787年)

1786年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリスカ・アリ・パシャ」(2度目~1788年)

1786年-01:00|ドイツ| |||<就任>フーデイン王国首相「Friedrich Wilhelm von Arnim-Boitzenburg」(~1798年)

1786年-01:00|モコ/フランス| |||<就任>モコ総督「エドワール・ガストン・フランソワ・ド・ブリュイ」(~1787年)

1786年-01:00|フランス| |||オルアン公がパリに大砲時計を設置

1786年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督代理「Joao Antonio Teixeira de Braganca」(~1788年)

1786年 00:00|モリタニア| |||<就任>トラルザ 連邦エミール「アディ2世」(~1795年)

1786年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島首席大臣「Johan Michael Lund」(~1806年)

1786年 00:00|セネガル| |||<就任>ブントウ統治者(アルマミ)「ムサ・ゲイ・シ」(~1790年)

1786年 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||イギリスで奴隷貿易廃止促進協会がケラング・イル・シャーフ、トマス・クレークソン、ヘンリー・ソートン、ウィリアム・ウィルバフォースらによって創設される

1786年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド 検査官「Jens Clausen Wille」(~1790年)

1786年 04:00|アンティグア・バブーター| |||<就任>アンティグア大統領「エドワード・バウム」(~1817年没)

1786年 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス| |||<就任>トバゴ 知事「ティロン伯爵アサー」(~1789年)

1786年 06:00|カタ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタ 総督「トーマス・男爵ガイ・カールトン」(~1796年)

1786年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者「ホセ・オルティス・デ・ラ・ペーニャ」(~1789年)

1786年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ベルナルド・ボナビリア・イ・サバタ」(~同年)⇒「ラファエル・マルティネス・パチコ」(~1790年)

1786年1月-05:30|インド| |||<即位>フターダート 国統治者(パト・シャー)「ティープー・スルタン」ムガル帝国から独立(~17990504戦死)

1786年1月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>モーゼス・メンデルズゾーン/56歳(誕生:17290906)ドイツのソクラテスと称せられた哲学者で作曲家のフェリクス・メンデルズゾーンの祖父

1786年1月16日 06:00|アメリカ| |||ヴァージニアで信教自由法が制定される

1786年1月16日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天明5年12月17日|宇和島藩領川之石浦で大火、170軒が焼ける

1786年1月17日-01:00|フランス| |||ピエール・メヤンによりエンク彗星が発見される

1786年1月19日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|天明5年12月20日|<死去>米倉昌晴(58歳)武蔵六浦藩主、若年寄⇒次男・昌賢が継いだ

1786年1月25日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コ・ユスフ・パシャ」(1期目~17890528)

1786年1月30日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳9年|<即位>パントウラン王「Po Chongchan(Nguyen Van Tong)」(1期目)⇒「Po Tisuntiraidapuran」(2期目~1793年)parang」(~1793年)

1786年1月30日-09:00|日本| ||天明6年1月|<出版>喜多川歌麿「絵本江戸爵」(浮世絵)

1786年1月30日-09:00|日本| ||天明6年1月|<出版>大槻玄沢(司馬江漢の挿画)「六物新志」

1786年1月30日-09:00|日本| ||天明6年1月|<出版>田宮橋庵(桂宗信・耳鳥斎・瀬川慶子の挿画), 浮世読本「つべこべ草」

1786年1月30日-09:00|日本| ||天明6年1月|<出版>北尾重政・勝川春章「画本実のいとすぢ」

1786年1月30日-09:00|日本|京都府京都市|天明6年1月1日|京都で大火発生。死者1500人。市中の75%が焼失

1786年1月30日 03:00|日本| ||天明6年1月1日|正午ごろ、皆既日食がおきる

1790迄 (2181件)

1786年2月 00:00|セガール/フランス| |||<就任>フランス領セガール総督「スタニスラス・ジャン・ブーラー・シュヴァリエ・ド・ブーラー」(~1787年12月)

1786年2月1日 00:00|イギリス| |||<死去>3代セント・オールバンス公「ジョージ・ホークラー」

1786年2月1日 00:00|イギリス| |||<就任>4代セント・オールバンス公「ジョージ・ホークラー」(~17870210死去)

1786年2月6日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャ、ケララ島で地震(M6.6) 死者126人

1786年2月7日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「ジョン・ブラウン」(~17871026)

1786年2月7日-09:00|日本|東京都千代田区|天明6年1月9日|1772年に焼失した多紀安元の医学館が再建され、毎年2月中旬から100日間医学教育を行うこととなる

1786年2月10日-09:00|日本| |||天明6年1月12日|<死去>初代土屋善四郎(不明) 陶工

1786年2月14日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Juan Jose de Guillelmi y Andrada-Vanderwilde」(~17921001死去)

1786年2月20日-08:00|中国/韓国/朝鮮| |||朝鮮・乾隆51年1月22日|朝鮮が北京における漢訳洋書の輸入を禁止

1786年2月20日 02:00|日本|東京都|天明6年1月22日|<江戸天明6年二日続きの大火>巳半刻(午前11時ごろ)、湯島天神表門前の町家、牡丹長屋裏の家(久次郎店又右衛門宅)より出火、炎は神田筋から通町筋、日本橋まで進み、大火となって浜町あたりからやすやすと大川(隅田川)を越えて深川に飛び火し、八幡宮前の浜辺まで焼け、申の刻(16時ごろ)鎮火/大名家12軒、旗本屋敷300軒余、町家6万軒焼失

1786年2月21日 04:00|日本|東京都|天明6年1月23日|<江戸天明6年二日続きの大火>昼九時半ごろ(13時ごろ)西久保神谷町の大養寺門前の家から出火、新下谷町通りから飯倉4,5,6丁目と延焼、また風に乗って飛び火し、森本町の町家を残らず灰にし中の橋で焼け止まった/もう一口の炎は、天徳寺裏門前から吹手丁の牧野屋敷まで、さらに一口の炎は光明寺門前町の町家を全焼し、近所の旗本屋敷や大名家屋敷まで残らず焼いて富山丁まで焼けぬき、芝田町の海辺でようやく止まった

1786年3月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代スタッフォード侯「ケラング・イル・ルソンゴア」2代ゴア伯(~18031026死去)

1786年3月1日-09:00|日本| |||天明6年2月2日|<死去>荷田蒼生子(65歳) 歌人

1786年3月1日 04:00|日本|高知県高知市|天明6年2月2日|<高知天明6年の大火「会所焼」>夜中の子の刻(午前0時ごろ)過ぎ、追手筋の北会所西脇から出火、家老屋敷を始め近隣の侍屋敷をなめ尽くした後、城下へと炎は進み、帯屋町、本町、中島町の大半を焼失、南町に至っては浦戸町納屋堀の東側の一部を残すだけで灰となった。卯の下刻(午前7時ごろ)雑喉場まで焼き払って鎮火/被害は9人死亡、御用屋敷2か所、家老屋敷6軒、侍屋敷51軒、町家811軒、土蔵135軒、橋1か所焼失

1786年3月2日-01:00|ボスニアヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「セルム・シリ・パシャ」(~17871221)

1786年3月2日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天明6年2月3日|宇和島藩領穴井浦で大火、226軒焼失

1786年3月3日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国でニューカサ会社が発立される/西部の土地購入が目的

1786年3月7日 00:00|イギリス| |||<死去>2代スタンホープ伯「フィリップ・スタンホープ」

1786年3月7日 00:00|イギリス| |||<就任>3代スタンホープ伯「チャールズ・スタンホープ」(~18161215死去)

1786年3月8日-09:00|日本|京都府京都市|天明6年2月9日|<死去>手島堵庵(69歳) 心学者/石田梅岩の跡を継ぎ、講義所を設置して心学を普及させた

1786年3月11日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「アントニオ・マヌエル・デ・メロ・エ・カストロ」(~17930319)

1786年3月12日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭存謙」(~12.11)

1786年3月12日-03:30|イラン| |||<即位>カジャール朝シャー「アガ・モハンマド・カジャール」(17960514まで摂政~17970617没)

1786年3月20日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|天明5年3月10日|箱根山で大地震。二子の山崩れ、温泉破れて人畜死傷

1786年3月29日 00:00|イギリス| |||イギリスの小ピット首相が減債基金制度を議会で可決させる

1786年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジャン・バティスト・ボネリ」 「マッテオ・マルテリ」

1786年4月9日-09:00|日本| |||天明6年3月11日|<死去>宋紫石(72歳) 画家

1786年4月14日-09:00|日本| |||天明6年3月16日|<死去>丹羽嘉言(45歳) 画家

1786年4月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天明6年3月17日|<死去>大岡忠恒(36歳) 前三河西大平藩主

1786年4月17日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「マヌエル・ゴンザレス・デ・アギラール・トレス・デ・パライ・モンテヤ」(~17880602没)

1786年4月18日-09:00|日本|静岡県浜松市|天明6年3月20日|<死去>遠江国浜松藩6万石「井上正定」(33歳)⇒長男「井上正甫」が継ぐ(⇒文化14(1817)年9月14日、陸奥棚倉藩に移封)

1786年4月19日-09:00|日本|大分県中津市|天明6年3月21日|<死去>豊前中津藩10万石「奥平昌男」(24歳)⇒9月20日、婿養子「奥平昌高」が継ぐ(⇒文政8(1825)年5月6日、隠居)

1786年4月20日-09:00|日本| |||天明6年3月22日|<死去>初代鶴賀若狭掾(70歳) 浄瑠璃太夫

1786年4月25日-09:00|日本|東京都台東区|天明6年3月27日|<大相撲>天明6年3月場所[江戸浅草八幡宮](~10日間)優勝(西大関)谷風、10戦全勝

1786年4月27日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンゴ 総督「ラ・ルツェルン伯爵ザール・アンリ」(~1787年11月)

1786年5月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「ルイス・ペドロ・デ・アラウホ・エ・シルバ」(~1788年10月頃)

1786年5月1日-01:00|オーストリア| |||モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」がブルク劇場で初演される

1786年5月5日-09:00|日本|香川県高松市|天明6年4月8日|高松城下二番丁出火、侍屋敷10軒焼失

1786年5月9日-09:00|日本|香川県高松市|天明6年4月12日|高松城下福田町出火、塩谷町、築地(深妙寺前)まで34軒焼失

1786年5月11日-09:00|日本|兵庫県明石市|天明6年4月14日|<死去>播磨明石藩6万石「松平直之」(20歳)⇒6月7日、

1790迄 (2181件)

弟「松平直周」が継ぐ(⇒文化13(1816)年9月14日、隠居)

1786年5月15日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国連合会議議長「Nathaniel Gorham」無所属(6.5まで代理~11.5)

1786年5月17日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキ7総督・領主「ニコラ・ペトル・マウロゲニ」(~17891104)

1786年5月17日-09:00|日本| ||天明6年4月20日|<死去>趙陶斎(74歳)書家

1786年5月18日-09:00|日本|福井県勝山市|天明6年4月21日|越前国勝山藩で打ち壊しが起こる

1786年5月21日-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデンの化学者ヴ・イルヘルム・シェレ/43歳(17421209~)/酸素、塩素など多くの元素を発見した

1786年5月25日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王・ペーージャ公「ペドロ3世」

1786年5月25日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ペーージャ公「ジョアン6世」(~18160320)ポルトガル女王マリア1世とペドロ3世の息子

1786年5月25日 04:00|フォーランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォーランド 諸島司令官・総督「Pedro de Mesa y Castro」(1期目~17870515)

1786年5月26日 00:00|カナ/オランダ| |||<死去>オランダ 領ゴールト=コースト総裁「アドルフ・ティーレンス」

1786年5月28日-09:00|日本| ||天明6年5月|<刊行>林子平の地誌「三国通覧図説」/日本を中心に朝鮮、琉球、蝦夷を描いた(寛政4年幕命により絶版となる)

1786年6月-05:30|インド| |||マラーター王国軍がカシエント・ラゴの戦いでマイソール軍に大勝

1786年6月-02:00|エジプト/トルコ| |||オスマン朝の海軍総督ハサン・パシャがエジプトに遠征

1786年6月1日-08:00|中国| ||清・乾隆51年5月6日|四川、康定・瀘定地震/M7.8、死者446人、河道閉塞が起こる

1786年6月2日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールト=コースト総督「ゾル・セルヴァース・ガレ」(2回目~17870824在任中死去)

1786年6月6日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ノサンバ=ラント 公・初代パーシー伯「ヒュー・パーシー」

1786年6月6日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ノサンバ=ラント 公・2代パーシー伯「ヒュー・パーシー」先代の長男(~18170710死去)

1786年6月9日 04:00|グアテマラ/フランス| |||<就任>グアテマラ 知事代理「comte de Micoud」(~12.4)

1786年6月10日-08:00|中国| ||清・乾隆51年5月15日|中国四川省大渡河で地震でできた天然ダムが崩壊、10万人が死亡

1786年6月15日-09:00|日本|東京都|天明6年5月19日|江戸の窮民が蜂起し、米商を襲撃

1786年6月18日-01:00|フランス| |||フランスのピエール=テステューブリスが最初の夜間の気球飛行

1786年6月19日-09:00|日本|京都府綾部市|天明6年5月23日|<死去>九鬼隆寛(87歳)前丹波綾部藩主

1786年6月21日-09:00|日本| ||天明6年5月25日|<死去>石田幽汀(66歳)絵師

1786年6月26日-01:00|オーストリア| |||<初演>グオルファンク・アマデウス・モーツァルト《林の協奏曲第4番変ホ長調》

1786年6月26日-09:00|日本| ||天明6年6月|岡藩で、経武館を設立

1786年6月26日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興47年;大越・泰徳9年6月|グエン=フエ(阮文恵)軍が黎朝内部の不和に乗ずる形で北伐、フクアン(宮春=現在のフエ)を占領、鄭氏の鄭楷を自害させ、鄭氏滅亡

1786年7月-04:00|モリシャス/フランス| |||<就任>マリアンヌ島代理市民「ジャン=アントワヌ=ストフェルト・ド・ヴァルニー」(~1791年4月没)

1786年7月2日-09:00|日本|福井県鯖江市|天明6年6月7日|<死去>越前鯖江藩5万石「間部詮茂」(48歳)⇒7月晦日、長男「間部詮熙」が継ぐ(⇒文化8(1812)年12月21日、死去)

1786年7月5日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ノティントン伯「ロバート=ヘンリー」廃絶

1786年7月7日-09:00|日本|石川県|天明6年6月12日|<死去>前田重教(46歳)前加賀藩主

1786年7月14日 06:00|ニカラガ/イギリス/スペイン| |||イギリスはモスキート条約によりモスキート海岸に対するスペインの主権を認める(17860901批准)

1786年7月16日-09:00|日本|長野県松本市|天明6年6月21日|<死去>信濃松本藩6万石「松平光悌」(33歳)⇒8月14日、婿養子「松平光行」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年2月23日、隠居)

1786年7月19日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天明6年6月24日|<死去>小笠原長興(75歳)前播磨安志藩主

1786年7月23日-09:00|日本|大阪府豊中市|天明6年6月28日|<死去>摂津麻田藩1万石「青木一貫」(53歳)⇒8月21日、四男「青木一貞」が継ぐ(⇒文政4(1821)年7月21日、隠居)

1786年7月25日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興47年7月|阮文恵は黎朝昭統帝を擁立

1786年8月 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ西部農民を主体にシェイズの反乱がおこる(~1987.2)

1786年8月5日 04:00|日本| ||天明6年7月12日|<天明6年関東大洪水>10日から11日にかけて利根川をはじめ各河川が氾濫し、いたるところで堤防が決壊、関東平野一面が泥海となり、中山道や日光街道などは、9月末まで一部区間が通行止めになった/江戸でも11日に隅田川や江戸川、神田川などが氾濫し小石川、下谷、浅草、本所、深川等で被害、その他市中各所の出水及び土地石壁の崩壊するもの数多かった

1786年8月7日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国連合会議、連合インディアン法制定

1786年8月8日-02:00|エジプト/トルコ| |||オスマン帝国の艦隊がカイロに到着し、エジプト地元勢力を制圧

1786年8月8日-01:00|フランス/イタリア| |||フランス・イタリアの国境モンブランの初登頂に、「サヴォワ公国」のジャック=バルマ、ミシェル=ガブリエル=パカルが成功

1786年8月9日 04:00|日本|群馬県沼田市|天明6年7月16日|大雨で大水が出て、田畑が損失し戸鹿野橋が落ちる

1786年8月10日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興47年7月17日|<死去>後黎朝(大越)後期第16代皇帝「顕宗」

1786年8月10日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興47年7月17日|<即位>後黎朝(大越)後期第17代皇帝「愍帝黎維祁」(~17890130滅亡)

1786年8月11日-08:00|マレーシア/イギリス| |||イギリス東インド 会社海兵隊長のフアン=ライトが、マレー半島北西岸の小島のペナン島を占領

1790迄 (2181件)

1786年8月11日-09:00|日本|千葉県君津市|天明6年7月18日|<死去>上総国久留里藩3万石「黒田直英」(29歳)⇒次男「黒田直温」が継ぐ(⇒享和元(1801)年7月24日、死去)
1786年8月17日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督代行「チェザイリ・ガジ・ハサン・パシャ」(~1787年)
1786年8月17日-01:00|トイボ・ラント| |||<死去>プロシヤ王・フランクフルク選帝侯・マルク伯・ラウエンシュタット伯「フリートリヒ2世大王」74歳(誕生17120124)
1786年8月17日-01:00|トイボ・ラント| |||<即位>プロシヤ王・フランクフルク選帝侯・マルク伯・ラウエンシュタット伯「フリートリヒ・ヴィルヘルム2世」フリートリヒ4世の甥(~17971116死去53歳)
1786年8月18日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ストレンジ伯「ジョン・マレー」4代アソル公・4代ティルバーテン侯・7代トリバーテン伯・4代ストラステ=ストラエデル伯(~18300929死去)
1786年8月20日-01:00|フランス| |||フランス財務総監加ソヌ、王家の財政破綻を宣言
1786年8月21日-10:00|グアム/北マリア諸島/スペイン| |||<就任>マリア諸島知事「Jose Arlegui y Leoz」(~17940902)
1786年8月24日-08:00|中国| ||清・乾隆51年閏7月|清で軍機大臣の和申が内閣大学士を兼務し専制
1786年8月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明6年8月3日|<死去>初代中村富十郎(68歳)歌舞伎役者
1786年8月31日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯「チャールズ・ハワード」
1786年8月31日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯「チャールズ・ハワード」先代の子(~18151216死去)
1786年9月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国ラ・コメラ及びエル・ヒロ総支配人「Francisco del Castillo Santelices」
1786年9月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国ラ・コメラ及びエル・ヒロ総支配人「Francisco Espejo + Matias Fernandez」(~1794年)
1786年9月 06:00|アメリカ| |||独立戦争の元大尉のダニエル・シェーズらが、負債に悩むマサチューセッツの農民を率いて蜂起
1786年9月8日-09:00|日本|山形県新庄市|天明6年8月16日|<死去>出羽新庄藩68200石「戸沢正良」(26歳)⇒10年17日、従弟「戸沢正親」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年9月21日、死去)
1786年9月12日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)「チャールズ・マン・コンウォリス伯爵」(1回目~17931028)
1786年9月16日-09:00|日本|三重県四日市市|天明6年8月24日|<死去>伊勢東阿倉川1万石「加納久堅」(76歳)⇒養子「加納久周」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年、3000石加増され13000石)
1786年9月17日-09:00|日本|東京都千代田区|天明6年8月25日|<死去>江戸幕府第10代将軍「徳川家治」(50歳、元文2(1737)0522生)病死
1786年9月19日-09:00|日本| ||天明6年8月27日|<死去>本多正珍(77歳)前駿河田中藩主、元寺社奉行・老中
1786年9月19日-09:00|日本|千葉県館山市|天明6年8月27日|<減封>安房館山藩13000石「稲葉正明」田沼意次に連座⇒1万石(⇒寛政元(1789)年7月8日、隠居)
1786年9月19日-09:00|日本|東京都千代田区|天明6年8月27日|<解任>老中「田沼意次」
1786年9月22日-01:00|フランス| |||フランスの愛国派が総督を罷免
1786年9月26日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリスとフランス間に通商条約(イデーン条約)が締結される
1786年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジュリアノ・ゴジ」
1786年10月8日 00:00|イギリス| |||<死去>9代ヒュム伯「アレクサンダー・ヒュム」
1786年10月8日 00:00|イギリス| |||<就任>10代ヒュム伯「アレクサンダー・ヒュム」(~18411021死去)
1786年10月8日-09:00|日本|群馬県富岡市|天明6年9月17日|<死去>上野七日市藩1万石「前田利見」(23歳)⇒養子「前田利以」が継ぐ(⇒文化5(1808)年11月8日、隠居)
1786年10月11日-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>エストニア総督「ハインリッヒ・ヨハン・フライヘル・フォン・ランゲル」(~17970120)
1786年10月11日-09:00|日本|群馬県沼田市|天明6年9月20日|<死去>上野沼田藩35000石「土岐定吉」(21歳)⇒弟「土岐定富」が継ぐ(10月2日襲封⇒寛政2(1790)年6月20日、17歳で死去)
1786年10月14日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|天明6年9月23日|<死去>武蔵岩槻藩2万石「大岡忠要」(21歳)⇒弟「大岡忠烈」が継ぐ(⇒寛政9(1797)年3月29日、隠居)
1786年10月22日-09:00|日本| ||天明6年10月|<出版>下河辺拾水「源頼光昔物語」(浮世経)
1786年10月28日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Jose Naranjo」(~1788年)
1786年10月29日-05:30|インド| |||サハール国をマヒル(マイソール)が占領(~17911217)
1786年10月31日-09:00|日本|京都府亀岡市|天明6年10月10日|<死去>松平信直(55歳)前丹波亀山藩主
1786年11月1日-02:00|ウクライナ| |||プロウイはプロウイ・クライ(フェルツィ・クライも半公式使用)としてガリシアと合併(~18490308)
1786年11月3日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「フランシスコ・ダ・ケニャ・エ・メネズ」(~17940522)
1786年11月7日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天明6年10月17日|<死去>三河西大平藩1万石「大岡忠興」(29歳)⇒次男「大岡忠移」が継ぐ(⇒文政11(1828)年、隠居)
1786年11月7日-09:00|日本|東京都台東区|天明6年10月17日|<大相撲>天明6年11月場所[江戸浅草八幡宮](~10日間)優勝(東関脇)小野川、7勝0敗3休
1786年11月21日-09:00|日本| ||天明6年閏10月|佐藤玄六郎「蝦夷拾遺」を著す(蝦夷地調査の結果)
1786年11月21日-09:00|日本|東京都千代田区|天明6年閏10月1日|<就任>老中「鳥居忠意」(~1793年2月29日)
1786年11月23日 04:00|セント・ピント/イギリス| |||<就任>イギリス領セント・ピント総督代行「ロバート・ウィン」(~17870716)
1786年11月25日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天明6年閏10月5日|<減封>相良藩57000石「田沼意次」2万石没収され37000石(⇒天明7(1787)年10月2日、蟄居)
1786年11月26日-09:00|日本|新潟県新発田市|天明6年閏10月6日|<交替>越後新発田藩5万石「溝口直養」隠居⇒甥「溝口直侯」が継ぐ(⇒享和2年8月29日(18020925)、25歳で死去)

1790迄 (2181件)

1786年11月30日 00:00|ヨーロッパ/東ヨーロッパ| |||神聖ローマ皇帝レオポルト2世が欧州初の死刑廃止宣言(シイス・フォーライの日)

1786年11月30日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「アウグスティン・デ・ソト・マヨラン」(17870508)

1786年12月4日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Charles Francois, baron de Clugny de Thénisy」(2期目~17920725)

1786年12月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金致仁」(~17890831)

1786年12月11日 00:00|イギリス| |||<死去>初代クレントン伯「トマス・ウェリアーズ」

1786年12月11日 00:00|イギリス| |||<就任>2代クレントン伯「トマス・ウェリアーズ」(~18240307死去)

1786年12月21日-02:00|ラトヴィア| |||<就任>クールラントとゼムガレのリガ公国政府議長「クリスティアン・エルスト・フォン・オエルセン」(~1787年)

1786年12月21日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー政府評議会議長「クリストフ・グロフ・ニッキー・ニチュキ」(~17871226没)

1786年12月21日-09:00|日本|東京都港区|天明6年11月|大槻玄沢が江戸の私邸で蘭学塾芝蘭堂を開塾

1786年12月21日-08:00|中国/台湾| |||清・乾隆51年11月|<即位>台湾皇帝「林爽文」(~17880210) 清帝国に反乱を起こした軍による支配/順天(~1788年)と建元

1786年12月23日 06:00|カラガア/コスタリカ/スペイン| |||<就任>レオン総督・代官「ファン・デ・アイサ・ブランコ・アルエ・イ・パラシ」(~1798年)

1786年12月23日 06:00|カラガア/コスタリカ/スペイン| |||<設立>レオン・インデペンシア(コスタリカを含む)

1786年12月30日-09:00|日本|広島県|天明6年11月10日|天明2年以来の連続的な凶作飢饉により、恵蘇郡伊予組5か村をはじめ、備北の農民5000人余が一揆を起こす/21日以降、広島藩の武装兵と対峙し、27日に村単位に作成した願書を藩に提出

1787年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン副総督(ベンガル総督に従属)「ジョージ・Salmon」(~1789年)

1787年-05:30|インド| |||<就任>ヴァンカナル国統治者(ラーゼ・サヒブ)「チャンドランジ 2世カランジ」(~1839年没)

1787年-05:30|インド| |||<就任>カシュワール国ラジャ「プリティ・シン」(~1788年没)

1787年-05:30|インド| |||<就任>キルチール国統治者(デューン)「ディップ・シン」(~1795年)

1787年-05:30|インド| |||<就任>ジャムナ国ラジャ「サンブ・ラン・シン」(~1797年6月没)、摂政「ミアン・モハ・シン」(~1797年6月)

1787年-05:30|インド| |||<就任>タタ国統治者(ラ)「ラチュ・シン」(~1803年)

1787年-05:30|インド| |||<就任>ターコティ国統治者(ターケル)「ハル・ラム」(~不明)⇒「ジャトゥー・ラム」(~1815年)

1787年-05:30|インド| |||<就任>パガット国統治者(ラ)「ラガナート・ハル」(~1810年没)

1787年-05:30|インド| |||<就任>ホーノル国統治者(ハント・サフ)「ラガナート・ラオ・ハル・サヒブ」(~1791年没)

1787年-05:30|インド| |||<就任>ホンチ国ラジャ「ジャハズ・カーン」(~1792年没)

1787年-05:30|インド| |||<就任>ラナプル国支配者(ナフ)「ムハンマド・ガーズィ・アト・ディン・カーン」(~18130511没)

1787年-05:00|パキスタン| |||<即位>パルティスタン国王「アリ・シル・カーン2世」(~1800年没)

1787年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフグアン汗国ハーン「カルブ・アリ・ハーン」(1回目~1796年)

1787年-03:00|スーダン| |||<死去>ダフル・スルタン国スルタン「ムハンマド 2世タイラフ」

1787年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝)対立皇帝「イヤス」(~1788年)、「ハエデマリアム」(~1788年)

1787年-03:00|スーダン| |||<即位>ダフル・スルタン国スルタン「アブド・アルラフマン・アルラート」(~1801年没)

1787年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国摂政「ナシル・ワラト・ムハンマド」(~1788年)

1787年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国スルタン「アウカル」(~1788年)

1787年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メリナ王国君主「アンヂ・アナンブ・イメリナ」(~18100706死去)

1787年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Mikdad Ahmed Pasha」(~1789年)

1787年-02:00|ラトヴィア| |||<就任>クールラントとゼムガレのリガ公国政府議長「エルスト・ヨハン・フォン・タウベ」(2回目、1788年まで首相兼議長代理~1794年)

1787年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Keki Abdi Pasha」(~1788年)

1787年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフ総督「Knyaz' Grigoriy Aleksandrovich Potyomkin-Tavricheskiy」(~1791年死去)

1787年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<就任>ヨアニナ・ワリス(総督)「アリソット・パシヤ」(~1788年)

1787年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハーン「Shahbaz Geray」(~1789年)

1787年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<死去>イシュコラのワリス「アフメット・クルト・パシヤ」

1787年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「アフォンソ5世」

1787年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「カラ・マフムド・パシヤ・ブシヤティ」(~17960922没)

1787年-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウムブルク=リッペ伯「ゲオルク・グィルヘルム」(⇒1807年シャウムブルク=リッペ侯~18601121死去)

1787年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマラム国統治者(サルキン・ダマラム)「マハン・タン・タニム・ハブ・ツアハ」(~1790年)

1787年-01:00|モザンビーク/フランス| |||<就任>モザンビーク総督「オノレ・ジョゼフ・モンロン」(~1789年)

1787年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「アルバロ12世」(~1791年)

1787年-01:00|ハンガリー| |||ハンガリーで初の国勢調査を実施

1787年 00:00|セザール| |||<就任>サルム統治者(フル・サルム)「ヒラム・ニエ・ニヤサ・ンジエ」(~1803年)

1787年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領「アレクサンダー・Gordon」(~1790.6死去)

1787年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領セント・バーツロム島知事「Pehr Herman Rosen von Rosens tein」(~1790年)

1787年 05:00|ハイチ| |||カプ・フランソワとポルト・フランスを結ぶ道路が開通

1787年 06:00|ベリーズ/イギリス| |||<就任>ベリーズ居留地管理者(ジャマカの知事に従属)「エドワード・マーガス・デ・スパート」(

1790迄 (2181件)

~1790年6月)

1787年1月11日 00:00|イギリス| |||イギリスのW・ハーシェルが天王星に衛星を発見
1787年1月11日-09:00|日本|高知県宿毛市|天明6年11月22日|<宿毛一揆>土佐宿毛の領民が徒党をくんで強訴、領主は一揆側の要求をいれ、一人の犠牲者も出なかった
1787年1月11日-01:00|フランス/ロシア| ||ロシア暦1786年12月31日|フランスとロシアが通商条約を結ぶ
1787年1月12日-09:00|日本|東京都|天明6年11月23日|町々に大きな費用負担がかかるため、奉行付町火消が廃止される
1787年1月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明6年12月4日|<死去>月岡雪鼎(77歳)浮世絵師/初め高田敬輔に学び、後一家を成し月岡流の一派を立てた
1787年1月23日-05:30|インド| |||<就任>タンジール国ラジャ「サホジ」2世(1回目~1793年)、摂政「アマル・シン」(~1793年)
1787年1月28日-09:00|日本|三重県桑名市|天明6年12月10日|<死去>伊勢桑名藩10万石「松平忠啓」(41歳)⇒翌年1月21日、婿養子「松平忠功」が継ぐ(⇒寛政5(1793)年11月28日、隠居)
1787年2月2日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国連合会議議長「Arthur St. Clair」無所属(~17871104)
1787年2月5日-09:00|日本| ||天明6年12月18日|<死去>一宮長常(66歳)金工
1787年2月7日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|天明6年12月20日|<死去>武蔵六浦藩12000石「米倉昌晴」⇒翌年、次男「米倉昌賢」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年6月23日、死去)
1787年2月10日 00:00|イギリス| |||<死去>4代セント・オールバンス公「ジョージ・ホークーク」
1787年2月10日 00:00|イギリス| |||<就任>5代セント・オールバンス公「オーブリー・ホークーク」(~18020209死去)
1787年2月13日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王国首席大臣「ジャック・ネー」
1787年2月14日-05:30|インド| |||マイソール・スルターン朝(マイソール王)ティプー・スルターンとマラーター王国ナーナー・ファトナガイスとの間で和睦が成立し、ガジエントラッド条約が結ばれた
1787年2月18日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・昭統1年|大越後黎朝・昭統と改元(-1789)
1787年2月18日-09:00|日本| ||天明7年1月|<刊行>森島中良、洒落本「田舎芝居」
1787年2月18日-09:00|日本| ||天明7年1月|<出版>喜多川歌麿「絵本詞の花」(浮世絵)
1787年2月18日-09:00|日本| ||天明7年1月|<出版>鳥居清長「彩色美津朝」(浮世絵)
1787年2月18日-09:00|日本| ||天明7年1月|<出版>北尾重政の「絵本武者鞋」「絵本錦衣鳥」(浮世絵)
1787年2月18日-09:00|日本| ||天明7年1月|<出版>北尾政美の「絵本吾嬬鏡」「絵本都の錦」(浮世絵)
1787年2月22日-01:00|フランス| |||ヴェルサイユで国王の諮問機関「名士会」が召集される
1787年3月-01:00|ポーランド| |||スターツが「ヤン・ザモイスキ」の生涯に関する考察を刊
1787年3月 00:00|イギリス| |||トマス・クラークがロンドンで奴隷貿易廃止委員会を設立
1787年3月10日 06:00|ベリーズ/スペイン| |||スペイン人がブラック川を占領し、入植者がベリーズに移住(イギリス人入植者の避難は6月に終了し、その直後に海岸にスペイン人入植地が形成された)
1787年3月14日 11:00|日本|長崎県長崎市|天明7年1月25日|夜、長崎恵美須町の忠右衛門宅の手燭の火先が落散し出火。大黒町、西中町に延焼し島原、平戸屋敷その他118戸が焼失
1787年3月18日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天明7年1月29日|<交替>薩摩藩72万8700石「島津重豪」隠居⇒長男「島津斉宣」が継ぐ(⇒文化6(1809)年6月17日、隠居)
1787年3月19日-09:00|日本|京都府綾部市|天明7年1月30日|<死去>丹波綾部藩19500石「九鬼隆祺」(23歳)⇒義弟「九鬼隆郷」が継ぐ(⇒文化5(1808)年5月30日、29歳で死去)
1787年3月20日-09:00|日本| ||天明7年春|<刊行>山東京伝、洒落本「通言総籙」
1787年3月25日-05:30|インド| |||<死去>ヒンダール国マハラジャ「ガイ・シン」
1787年3月25日-05:30|インド| |||<即位>ヒンダール国マハラジャ「ラージ・シン2世」(~4.25没)
1787年3月28日 07:00|メキシコ| |||メキシコ西岸で地震(マグニチュード8.5)死者11人
1787年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジュリアン・ゴジ」「フランチェスコ・ファエーニ」
1787年4月1日 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島首長(コペンハーゲン)「Gregers Kristian」(~17900526)
1787年4月12日-09:00|日本|広島県広島市|天明7年2月24日|広島竹屋町出火、119竈焼失
1787年4月18日 00:00|イギリス| |||<死去>6代フェーズ伯「ロバート・シャーリー」
1787年4月18日 00:00|イギリス| |||<就任>7代フェーズ伯「ロバート・シャーリー」(~18270502死去)
1787年4月18日-09:00|日本|京都府京都市|天明7年3月1日|<就任>関白「鷹司輔平」(~寛政3年8月20日)
1787年4月24日-09:00|日本|京都府京都市|天明7年3月7日|<就任>老中「阿部正倫」(~天明8年2月29日)
1787年4月25日-05:30|インド| |||<死去>ヒンダール国マハラジャ「ラージ・シン2世」
1787年4月25日-05:30|インド| |||<即位>ヒンダール国マハラジャ「プラタップ・シン」(~10.9没)、摂政「スラト・シン」(~10.9)
1787年4月26日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天明7年3月9日|<交替>上野伊勢崎藩2万石「酒井忠温」隠居⇒次男「酒井忠哲」が継ぐ(⇒文化2(1805)年7月5日、隠居)
1787年4月27日 04:00|チリ/スペイン| |||<死去>チリ総督・司令官「アンソロジオ・デ・ベネディクト・メイヤ・リヤン・イトーレス」
1787年4月27日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官代行「トマス アルバレス・デ・アセベド・オルガス」(2回目~1788年5月)
1787年4月29日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ウィムズ伯「デヴィッド・ウィムズ」
1787年4月29日 00:00|イギリス| |||<就任>7代ウィムズ伯「フランス・ウィムズ=チャタリス」(~18080824死去)
1787年4月30日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ケ・アビデ・イ・パシャ」(1回目~1788年12月)
1787年5月1日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣「エティエンヌ大司教ジャック・ド・ロメニエ・ド・フリエンヌ」(~17880825)
1787年5月1日-01:00|オーストリア| |||モーツァルトの『フィガロの結婚』がウィーンで初演
1787年5月8日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「メキシコ大司教代行アロンソ・ヌニェス・デ・ハロ・イ・ペラルタ」(~8

1790迄 (2181件)

. 18)

1787年5月9日 00:00|シエラレネ/イギリス| |||<就任>グランビルタウン行政官「トマス・B. トンプソン」(~9. 16)
1787年5月12日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督代理「ロバート・ブルック」(⇒28日総督~18020310)
1787年5月13日-09:00|日本| ||天明7年3月26日|<死去>岡崎廬門(54歳)漢詩人
1787年5月14日 00:00|シエラレネ/イギリス| |||<就任>グランビル・タウン開拓地総督「トマス・ボールデン・トンプソン」(~9. 16)
1787年5月14日 00:00|シエラレネ| |||イギリスの慈善家が、黒人解放奴隷のためにシエラレネ川の河口付近への入植を行う/入植地はグラウンヴィル・タウンと名付けられる
1787年5月15日 04:00|フォーランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォーランド 諸島司令官・総督「Ramon de Clairac y Villalonga」(2期目~17880410)
1787年5月16日-01:00|オーストリア| |||<初演>グオルファン・アマデウス・モーツァルト《弦楽五重奏曲第4番(第3番)ト短調》
1787年5月17日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Pierre Francois de Mareuil」(~17881022死去)
1787年5月17日-07:00|ベトナム| ||大越・泰徳10年4月|大越・グエン・ヴァン・ニャック(阮文岳)は皇帝を名乗りクイニョンに、弟のグエン・フエ(阮文恵)は北平王としてフエに、グエン・ヴァン・ルウ(阮文呂)は南定王としてジャティンに分かれて支配を確立
1787年5月18日-09:00|日本|埼玉県行田市|天明7年4月2日|<死去>武蔵忍藩10万石「阿部正敏」(58歳)大坂城代⇒5月26日、嫡孫「阿部正識」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年2月21日、33歳で隠居)
1787年5月21日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ジェルジ・グロフ・ハンフィ・ロソツィ」(~18220705没)
1787年5月25日 06:00|アメリカ| |||フィデリティアでアメリカ合衆国憲法の制定会議が開会
1787年5月25日-01:00|フランス| |||名士会解散、高等法院は三部会召集を要求
1787年5月28日-01:00|オーストリア| |||<死去>レオポルト・モーツァルト/67歳(誕生:17191104)作曲家.「モーツァルの交響曲」を作曲した
1787年5月28日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「Charles O' Hara」(~17910110)
1787年5月31日-09:00|日本|東京都千代田区|天明7年4月15日|<補任>第11代征夷大将軍「徳川家斉」(一橋徳川治済の長男)/直轄江戸800万石(~天保8年)
1787年6月-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||<死去>タリシュ汗国ハン「ミール・サイード・ジャマラジン・ハン(ガウ・ハン)」
1787年6月-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||<就任>タリシュ汗国ハン「ミール・ムスタファ・ハン」(~18140807、死去)
1787年6月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー総督代行「ヨゼフ・ゲラフ・マレー」(~11月)
1787年6月2日-01:00|イタリア| |||ベネチアで「カゼット・ウルバナー・ディ・グエネチア」紙刊行
1787年6月3日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天明7年4月18日|<死去>出羽松山藩25000石「酒井忠休」(74歳)⇒7月3日、次男「酒井忠崇」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年11月26日、隠居)
1787年6月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明7年4月19日|<就任>大坂城代「堀田相模守正順」(~寛政4. 8. 27)
1787年6月7日-09:00|日本|高知県高知市|天明7年4月22日|土佐国高知城下で一揆が起こる
1787年6月14日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル総督「ヒースフィールド卿」(~1790. 7)
1787年6月16日-09:00|日本|香川県仲多度郡琴平町|天明7年夏|円山応挙、金刀比羅宮表書院の襖に遊虎図を描く
1787年6月16日-09:00|日本| ||天明7年5月|<出版>東湖山人(歌麿画)洒落本「不仁野夫鑑」
1787年6月16日-09:00|日本|東京都台東区|天明7年5月|屠竜翁高嵩谷、浅草寺観音堂へ頼政猪早太鶴退治の図を画きたる額を納める
1787年6月21日-09:00|日本|京都府京都市|天明7年5月6日|<伏見米一揆>京都で大規模な打毀し、松平定信の寛政の改革、飢饉による米価高騰などによる
1787年6月26日 06:00|ホジユラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督補佐「ファン・ホセ・メネンデ・ケサダ・イ・バルヌエボ」(~1789年)
1787年6月27日-09:00|日本|大阪府大阪市|天明7年5月12日|天明の打ち壊し事件。天明大飢饉で大坂の庶民が米屋を襲撃
1787年6月30日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天明7年5月15日|吉田藩、陣屋町で米仲買人200人が魚棚町の米屋を襲う
1787年7月1日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天明7年5月16日|<死去>森川俊令(70歳)前下総生実藩主
1787年7月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「エファエロ デ・フェーリ」(~17890704)
1787年7月13日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国連邦議会が北西部領地条例を発する/領土内の人口が6万を超えた場合、合衆国内でひとつの州となることのできるというもの
1787年7月16日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督「ジェームズ・シートン」(~17980302)
1787年7月22日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルズベリー伯・ウォーターウード伯「ジョージ・タルボット」
1787年7月22日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリー伯・ウォーターウード伯「チャールズ・タルボット」先代の甥(~18270406死去)
1787年7月25日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天明7年6月11日|宇和島藩領、城下町で米仲買人宅が打ちこわされる
1787年7月27日-09:00|日本|東京都千代田区|天明7年6月13日|<再興>田安德川家「徳川斉匡」(一橋徳川家2代当主「徳川治済」の五男⇒天保7(1836)年8月21日、隠居)
1787年8月2日-09:00|日本|東京都千代田区|天明7年6月19日|<就任>老中首座「松平定信」(~寛政5年7月23日)
1787年8月13日-09:00|日本| ||天明7年7月|幕府が文学・軍学・天文学・武芸などに長じる者の姓名、年齢、居所を届け出るように令する
1787年8月13日-09:00|日本|東京都|天明7年7月1日|<死去>浮世絵師、勝川春常(春章の門人にして、俗称安田岩蔵)
1787年8月13日-04:00|ロシア/トルコ| ||ロシア暦8月2日|クリミア半島の保護領化で対立したオスマン帝国がロシアに宣戦布告し、

1790迄 (2181件)

第2次ロシア・トルコ戦争が始まる

- 1787年8月14日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア総督「アロイス・ライヒスグラーフ・フォン・ウント・ウガル」(~18020826)
- 1787年8月16日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天明7年7月4日|<死去>伊予大洲藩5万石「加藤泰侯」(28歳)⇒長男「加藤泰濟」が継ぐ(⇒文政9(1826)年9月20日、死去)
- 1787年8月17日-09:00|日本| ||天明7年7月5日|<死去>初代荻江露友(不明)荻江節唄方
- 1787年8月18日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「マヌエル・アントニオ・フロレス・マルトナド・マルティネス・デ・アングロ・イ・ボトキン」(~17891017)
- 1787年8月22日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国の発明家ジョン・フィッチ(44)が、蒸気機関でオールを動かす蒸気船を作り、テラウア川で進水させる
- 1787年8月24日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<死去>オランダ領ゴールドコースト総督「ジル・セルヴァース・ガレ」
- 1787年8月24日-09:00|日本| ||天明7年7月12日|<死去>2代尾上菊五郎、興行移動中の船中で病死(19歳)歌舞伎役者
- 1787年9月-01:00|ドイツ/オランダ| |||プロシヤ軍がオランダ愛国派の志願兵部隊を撃破、オランダの革命騒ぎを鎮圧
- 1787年9月7日-01:00|スペイン/パナマ| |||<死去>ペラガア公「カルロス・ベルナルト・フィツ＝ハメス・ストュアルト・イ・シルバ」
- 1787年9月7日-01:00|スペイン/パナマ| |||<就任>ペラガア公「マリアーノ・ゴンザレス・ラレタケイ・イ・ヒメネス・デ・エンボン」先代の八従兄弟の祖父(~1821年没)
- 1787年9月15日-09:00|日本| ||天明7年8月4日|幕府ふたたび3か年の倭約令を下す
- 1787年9月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国憲法制定会議で、合衆国憲法草案が成立
- 1787年9月18日-09:00|日本|富山県富山市|天明7年8月7日|<死去>越中富山藩10万石「前田利久」(26歳)⇒従弟「前田利謙」が継ぐ(⇒享和元(1801)年8月26日、死去)
- 1787年9月20日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「コンウェイ伯爵トマス」(~1789年)
- 1787年9月22日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督代理「ペドロ・デ・サリ」(2期目~17880701)
- 1787年9月26日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督「ダンモア伯爵ジョン・マレー」(~1796年4月)
- 1787年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・オフリ」「フランチェスコ・ティニ」
- 1787年10月9日-05:30|インド| |||<死去>ヒンダール国マハラジャ「プーラタプ・シン」
- 1787年10月9日-05:30|インド| |||<即位>ヒンダール国マハラジャ「スーラト・シン」(~18280325没)
- 1787年10月9日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督代行「サミュエル・ウィリアムズ」(1回目~1788年)
- 1787年10月10日-09:00|日本| ||天明7年8月29日|<死去>初代浜野矩随(52歳)装剣金工
- 1787年10月11日-09:00|日本| ||天明7年9月|<刊行>森島中良、西洋知識書「紅毛雑誌」
- 1787年10月17日-09:00|日本|東京都|天明7年9月7日|<死去>大島蓼太(70歳)蕉風の代表的俳人
- 1787年10月21日-09:00|日本|東京都千代田区|天明7年9月11日|<解任>大老「井伊直幸」
- 1787年10月23日-09:00|日本|福島県いわき市|天明7年9月13日|<死去>陸奥湯長谷藩15000石「内藤政広」(18歳)⇒弟「内藤政偏」が継ぐ(⇒寛政11(1799)年10月7日、27歳で死去)
- 1787年10月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ラトラント公「チャールズ・マナズ」
- 1787年10月24日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ロビン・男爵、アーマ大司教ロート・ジャクスリ・チャード・ロビンソン/リフォート子爵ジェームズ・ヒュイット/ジョン・フォスター」(~12.16)
- 1787年10月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ラトラント公「ジョン・ハンリー・マナズ」先代の長男(~18570120死去)
- 1787年10月26日-09:00|日本|熊本県熊本市|天明7年9月16日|<死去>肥後熊本藩54万石「細川治年」(30歳)⇒養子「細川齊茲」が継ぐ(⇒文化7(1810)年11月10日、隠居)
- 1787年10月26日-09:00|日本|滋賀県大津市|天明7年9月16日|<交替>近江堅田藩1万石「堀田正富」隠居⇒婿養子「堀田正敦」が継ぐ(⇒文化3(1806)年、3000石加増され13000石)
- 1787年10月27日 06:00|アメリカ| |||アメリカで「ザ・ファイナリスト」の刊行が開始
- 1787年10月29日-01:00|チェコ| |||モーツァルトのオペラ「ドン・ジョヴァンニ」がプラハ国民劇場で初演される
- 1787年10月29日-09:00|日本|京都府福知山市|天明7年9月19日|<死去>丹波福知山藩32000石「朽木舗綱」(58歳)⇒11月22日、養子「朽木昌綱」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年4月9日、隠居)
- 1787年10月29日-09:00|日本|熊本県宇土市|天明7年9月19日|<交替>肥後宇土藩3万石「細川立禮」宗家の熊本藩を継ぐ⇒長男「細川立之」が継ぐ(⇒文政元(1818)年6月18日、死去)
- 1787年10月31日 00:00|イギリス| |||<就任>タウゼント侯「ジョージ・タウゼント」(~18070914死去)
- 1787年10月31日-09:00|日本| ||天明7年9月21日|武家法度を頒つ
- 1787年11月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー軍事総督「リヒャルト・ゲラフ・アルトン」(~17891212)
- 1787年11月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンゴ総督代行「アレクサンドル・ド・ヴァンセント・ド・マザード」(1回目~17881222)
- 1787年11月1日-09:00|日本|京都府京都市|天明7年9月22日|<死去>九条尚実(71歳)元関白、左大臣
- 1787年11月3日-09:00|日本|秋田県秋田市|天明7年9月24日|<死去>佐竹義忠(58歳)前出羽岩崎藩主
- 1787年11月4日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|天明7年9月25日|<死去>秋月種美(70歳)前日向高鍋藩主
- 1787年11月5日-04:00|モリスシャ/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督「アントルカストーの騎士ジョセフ・アントワヌ・ライエント・ド・ブルニ」(~17891114)
- 1787年11月6日-09:00|日本| ||天明7年9月27日|幕府が、田沼政権設置の鉄座・真鍮座を廃止
- 1787年11月11日-09:00|日本|福島県福島市|天明7年10月2日|<交替>相良藩37000石「田沼意次」蟄居⇒孫「田沼意明」が継ぎ陸奥下村藩1万石へ減移封(⇒寛政8(1796)年9月22日、死去)
- 1787年11月15日 00:00|イギリス| |||<死去>8代ダラムン伯「ジョージ・ラムゼイ」
- 1787年11月15日 00:00|イギリス| |||<就任>9代ダラムン伯「ジョージ・ラムゼイ」(~18380321死去)

1790迄 (2181件)

1787年11月16日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ツィート・デール侯「ジョージ・ヘイ」
1787年11月16日 00:00|イギリス| |||<就任>7代ツィート・デール侯「ジョージ・ヘイ」(~18040809死去)
1787年11月27日-01:00|フランス/ベトナム| ||大越黎朝・昭統1年10月18日|ベトナムの阮福映が、ルイ16世とヴェルサイユ条約を結び、ダナン、プロコンドールをフランスに譲渡
1787年11月29日-01:00|フランス| |||ルイ16世が寛容令を発して、戸籍を剥奪されていたプロテスタントに戸籍を与える
1787年11月29日-09:00|日本|茨城県牛久市|天明7年10月20日|<死去>常陸牛久藩1万石|山口弘務(31歳)⇒12月13日、養子「山口弘致」が継ぐ(⇒文政12(1829)年8月12日、死去)
1787年12月 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「フランソワ・ブランショ・ド・ウエリ」(1回目~1801年1月)
1787年12月7日 06:00|アメリカ| |||<加盟>デラウェア植民地⇒アメリカ合衆国デラウェア州(1番目)
1787年12月12日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ペンシルベニア植民地⇒アメリカ合衆国ペンシルベニア州(2番目)
1787年12月16日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「バッキンガム侯爵ジョージ・ニュージエントテンポルー・グレンビル」(2回目~17900105)
1787年12月18日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ニュージャージー植民地⇒アメリカ合衆国ニュージャージー州(3番目)
1787年12月18日-09:00|日本| ||天明7年11月9日|江戸吉原角町仲之町より出火、遊郭全焼、花川戸迄類焼
1787年12月21日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ベクル・パシャ」(~17890429)
1787年12月26日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー政府評議会議長「クリストフ・グロフ・ニツキ・ニチュキ」(~17871226没)
1787年12月31日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Ernst Frederik von Walterstorff」(1期目~17940725)
1788年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Johan Adam Schilling」(~1794年)
1788年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「フェリシアノ・アントニオ・ノゲイラ・リスボン」(~1790年)
1788年-08:00|インドネシア| |||<即位>バカン・スルタン「Muhammad Badaruddin」(~1797年)
1788年-08:00|インドネシア| |||<即位>マタラム王国スルタン「Pakubuwono4世」(~18201001死去)
1788年-07:00|ラオス/タイ| |||ルアンパバーン(ランサン)はタイが占領(~1792年)
1788年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「トウルク・テンジン2世」(~1792年)
1788年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ムラ・ガファル・カーン」(~同年)⇒「ジューマ・カーン・アロザイ」(~1792年)
1788年-05:30|インド| |||<就任>カシュミール国ラジャ「イヤタラ・シン」(~1789年)
1788年-05:30|インド| |||<就任>サリウ国ラジャ「テジ・シン」(~1818年)
1788年-05:30|インド| |||<就任>ジャスタン国統治者(ハチャール)「ヴァイスル・オター・ハチャール」(~1809年没)
1788年-05:30|インド| |||<就任>ナガール国ラジャ「ラム・サラン・シン」(1回目~1803年)
1788年-05:30|インド| |||<就任>パランプル国統治者(デイクン)「ムバリズ・ハーン2世」(~1793年)
1788年-05:30|インド| |||<就任>マイハル国統治者(ターケル)「ラジタール・シン」(~1790年没)
1788年-05:30|インド| |||<就任>マンデイ国ラジャ「イシュワリ・セン」(~1826年没)、摂政「バイヤキ・ラム」(~1792年)
1788年-05:30|インド| |||マイハル国をバンダが占領(~1790年)
1788年-05:00|パキスタン| |||<就任>チトラル国統治者(ミフタル)「シャー・ナワズ・カーン」(1回目~1798年)
1788年-05:00|パキスタン| |||<即位>カトール朝国王「Shah Muhtarrah Shah Kator2世」
1788年-04:00|ジョージア| |||<就任>ゲリア公「シモン2世」(~1792年没)
1788年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラのムタッリフ「ムスタファ・アガ」(~1789年)
1788年-03:00|スーダン| |||<即位>フン・スルタン国スルタン「タブル(タイフ)」(~1789年)
1788年-03:00|エジプト| |||<即位>ソス・ワニ・スルタン国スルタン「ハリマ」(~1792年)
1788年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>コペラ統治者(マンボ)「チムハンゾ・イ・メボ」建国
1788年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Ibrahim Pasha al-Dalati」(~1790年)
1788年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<就任>ヨアニナ・パシャ「アリ・パシャ・ヒン・ウリ・テペ・デレンリ」(1回目~1802年)
1788年-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ランツ・マリア・フライヘル・フォン・トゥグート」(モルダヴィアとワキアのオーストリア行政長官)(~1790年)
1788年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||タタール地域のロシアによる占領
1788年-02:00|フィンランド| |||フィンランドでアンヤラ連盟が結成
1788年-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「フェルナンド」カルロス4世の長男、後のスペイン王フェルナンド7世(~1808年~18330929死去)
1788年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Jose de Sotomayor y Echevarria」(~1792年)
1788年 00:00|シエラレオネ| |||<死去>コ・フランス首長「トム1世」
1788年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Sir Robert Brooke」(~1800年)
1788年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>コ・フランス首長「ジミー」(~1796年5月没)
1788年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「Joao Rosendo Tavares Leotte」(~17970107)
1788年 00:00|イギリス| |||自然史の研究を目的としロンドン・リンネ協会が設立
1788年1月1日 00:00|イギリス| |||イギリスのデーリー・ユニヴァーサル・レジャー紙が、紙名を「タイムズ」に変更
1788年1月1日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督代行「ジェームス・キャンベル」(~1789年)
1788年1月2日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ジョージア植民地⇒アメリカ合衆国ジョージア州(4番目)
1788年1月2日-09:00|日本|広島県広島市|天明7年11月24日|<死去>浅野宗恒(71歳)前安芸広島藩主
1788年1月3日-09:00|日本|東京都台東区|天明7年11月25日|<大相撲>天明7年11月場所[江戸浅草八幡宮](~10日間)優勝(東大関)鷲ヶ濱,7勝0敗1分2休

1790迄 (2181件)

1788年1月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天明7年11月26日|幕府が、朝鮮種人参販売について、田沼政権による極印制と人参座を廃止し元飯田町に人参製法所を設置
1788年1月8日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天明7年12月|<移封>河内・摂津国内77000石「戸田忠寛」⇒旧領・下野宇都宮藩77000石(⇒寛政10(1798)年6月21日、隠居)
1788年1月9日 06:00|アメリカ| ||<加盟>コネカット植民地⇒アメリカ合衆国コネカット州(5番目)
1788年1月15日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天明7年12月8日|<交替>大和小泉藩11129石「片桐貞芳」隠居⇒長男「片桐貞彰」が継ぐ(⇒文化12(1815)年9月21日、隠居)
1788年1月21日-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「アブドゥル・ムイン・ブン・マサド」(1回目~31日)
1788年1月22日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ合衆国連合会議議長「Cyrus Griffin」無所属(~17890302)
1788年1月23日-09:00|日本|愛知県刈谷市|天明7年12月16日|<交替>三河刈谷藩23000石「土井利徳」隠居⇒長男「土井利制」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年3月13日、死去)
1788年1月23日-09:00|日本|京都府京都市|天明7年12月16日|<就任>京都所司代「松平乗完」(⇒1789(寛政1年4月1日))
1788年1月24日-09:00|日本| ||天明7年12月17日|<死去>越谷吾山(71歳)俳人、方言研究者
1788年1月26日-09:30|オーストラリア/イギリス| ||イギリスがオーストラリア植民を開始/ポート・ジャクソン(現シドニー)完成、英国領を宣言
1788年1月26日 00:00|イギリス| ||ロンドンでアフリカ協会(アフリカ内陸部発見促進協会)が発足
1788年1月29日-09:00|日本|神奈川県相模原市|天明7年12月22日|相模津久井県の農民が酒屋・質屋などを打ちこわす(土平治騒動)
1788年1月31日-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「ガーリーブ・ブン・マサド」(1回目~18030430)
1788年1月31日 00:00|イギリス| ||<死去>チャールズ・エドワード がロマで/67歳(誕生:17201231)イギリス王位要求者2位
1788年2月-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝)対立皇帝「テクル・ヘイマノット」(~1789年)
1788年2月1日-07:00|タイ| ||チアン王国アッタワパンヨーをシャムが承認
1788年2月6日 06:00|アメリカ| ||<加盟>マサチューセッツ湾直轄植民地⇒アメリカ合衆国マサチューセッツ州(6番目)
1788年2月7日-09:30|オーストラリア/イギリス| ||<就任>ニューサウスウェールズ植民地総督「アーサー・フィリップ」(~17921210)
1788年2月7日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|天明8年|<交替>播磨山崎藩1万石「本多忠可」隠居⇒長男「本多忠居」が継ぐ(⇒文化9(1812)年10月18日、隠居)
1788年2月7日-09:00|日本| ||天明8年1月|<出版>喜多川歌麿、狂歌本「画本虫ゑらみ」(浮世絵)
1788年2月7日-09:00|日本| ||天明8年1月|<出版>北尾重政「絵本花異葉」「絵本琵琶湖」(浮世絵)
1788年2月7日-08:00|中国/台湾| ||清・乾隆53年1月|台湾の林爽文らが清軍に捕らえられ、反乱が鎮圧される
1788年2月9日-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「コチャ・アンチルコヴィッチ」(~9.7)
1788年2月9日-01:00|オーストリア| ||オーストリアのヨーゼフ2世が、第2次ロシア・トルコ戦争に参戦
1788年2月18日-09:00|日本| ||天明8年1月12日|幕府が賭博を禁止
1788年2月19日-01:00|フランス| ||「黒人の友協会」創立/フランスで初めての反奴隷貿易運動が起こる
1788年2月20日-04:00|日本|広島県広島市安芸区|天明8年1月14日|安芸郡矢野村大火、197軒(212竈)焼失
1788年2月21日-04:00|リュネオ/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「David Charpentier de Cossigny」(~17900815)
1788年2月22日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天明8年1月16日|(~2.5)遠州相良城取り壊し
1788年3月6日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| ||<就任>ノーフォーク島副知事「Philip Gidley King」(1期目~17900324)
1788年3月6日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| ||ノーフォーク島はニューサウスウェールズの一部として管理(~18440928)
1788年3月7日 06:00|アメリカ/イギリス| ||クックがハワイ島発見
1788年3月7日-04:00|日本|京都府京都市|天明8年1月30日|<京都天明の大火「どんぐり焼け」>午前5時頃、鴨川四条大橋南、宮川町団栗辻子の空き家から出火、鴨川を越え寺町通の永養寺に飛び火し、8時ごろまでには四条あたりまで焼きつくし、16時には二条城本丸御殿などが焼け落ちた/永養寺から北へ向かった火は、誓願寺の手前でいったん収まったように見えたので多くの人々が境内に逃げ込んだが、河原町通伝いに燃え移ってきた火が同寺を襲い、多数の犠牲者を出した/夜になると公家屋敷街にも火が延び御所も炎上/火の勢いは2日後の明け方ようやく衰えたが、北は鞍馬口通、南は七条通、東は鴨川の東、西は千本通までと京都の中心部をすべて焦土と化した/被害は1424町、家屋3万6797軒、世帯数6万5340軒、寺院201か所、神社37か所/死者1800人
1788年3月8日-09:00|日本| ||天明8年2月|<刊行>大槻玄沢、オランダ語の入門書「蘭学階梯」
1788年3月9日-09:00|日本| ||天明8年2月2日|<死去>江村北海(76歳)儒学者、漢詩人
1788年3月21日 06:00|アメリカ| ||(ニュー・オーリンズ 大火)セントルイス大聖堂焼失
1788年3月22日 04:00|モントセロ/イギリス| ||<就任>イギリス植民地モントセロ副総督「Henry Charles Selwyn」(~1807年死去)
1788年3月29日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| ||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官代理「Julien Gausse du Mesnil-Ambert」(~17901015)
1788年4月-09:30|オーストラリア| ||総督フィリップの率いる探検隊、山脈を見つけ、ブルー・マウンテンズと名づける
1788年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バッティスタ・ボネリ」「ジョヴァンニ・フィリッピ」
1788年4月5日-09:00|日本|東京都千代田区|天明8年2月28日|<解任>老中「阿部正倫」
1788年4月6日-04:00|日本| ||天明8年3月|<刊行>大槻玄沢「蘭学階梯」(3年9月著)
1788年4月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天明8年3月4日|<就任>將軍補佐「松平定信」
1788年4月10日 04:00|フォーランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォーランド諸島司令官・総督「Pedro de Mesa y Castro」(2期目~17890516)
1788年4月15日-01:00|オランダ/イギリス| ||イギリス・オランダ 同盟条約が成立

1790迄 (2181件)

1788年4月16日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの博物学者「ビュフォン伯」ジョルジュ・ユレイ・ルクレール(1707-)「博物誌」を著した
1788年4月21日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「ヨハン・フリートリッヒ・キプナセ」(~17891023)
1788年4月24日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「テケレ・ギヨルギス1世ヨハネス」(2回目~17890726)
1788年4月27日-01:00|フランス| |||歴史学者ギボン「ローマ帝国衰亡史」が完結
1788年4月28日 06:00|アメリカ| |||<加盟>メリーランド植民地⇒アメリカ合衆国メリーランド州(7番目)
1788年5月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督・司令官「オルノ伯爵アンブロージオ・オギンス・イ・パレナリ」(~17960516)
1788年5月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天明8年3月28日|<解任>老中「水野忠友」
1788年5月6日-09:00|日本|東京都中央区|天明8年4月|<初演>「傾城吾妻鏡」[作・櫻田治助]中村座
1788年5月9日-01:00|フランス| |||(~10日)フランス西部のレスで政府の暴政に対する騒擾が起こる
1788年5月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天明8年4月3日|<解任>老中「松平康福」
1788年5月10日-09:00|日本|東京都千代田区|天明8年4月4日|<就任>老中「松平信明」(~享和3年12月22日)
1788年5月15日-09:00|日本|東京都墨田区|天明8年4月10日|<大相撲>天明8年4月場所[江戸本所回向院](~10日間)優勝(西関脇)谷風,7勝0敗1分1預1休
1788年5月17日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>東インド諸島(トランケバル)デンマーク領総督「キューバーン」「ヒーター・アンカー」(~18060207)
1788年5月19日-05:30|インド| |||<死去>ナグフル太守「マドージー1世」
1788年5月19日-05:30|インド| |||<就任>ナグフル太守「ラギー・ホーンスレー2世」(~18160322死去)
1788年5月23日 06:00|アメリカ| |||<加盟>サウスカロライナ植民地⇒アメリカ合衆国サウスカロライナ州(8番目)
1788年6月 00:00|シラレネ/イギリス| |||イギリスからの入植者5人がバンス島で略奪
1788年6月2日 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総裁・総司令官代行「ペドロ・カニ」(~9.15)
1788年6月3日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「ヘルストル伯爵アント・レアス・ペーター」(~17970621没)
1788年6月3日-09:00|日本| |天明8年4月29日|幕府が定額貨幣の南鐐二朱銀の発行を停止し、従来通りの秤量貨幣丁銀を新鑄
1788年6月7日-01:00|フランス| |||フランス南東部のグルノーブルでは、市民は軍隊の出動に反発して「城門」を閉め、家の屋根から手当たり次第石や瓦を軍隊に投げつけ、勢いに押された軍隊が撤退「屋根瓦の日」
1788年6月9日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天明8年5月6日|<改易>近江小室藩12460石「小堀政方」在職中の専権不正ありとして所領没収/相模小田原に幽閉
1788年6月11日-01:00|フランス| |||フランス中部のデヴィジョンで騒擾が起こる
1788年6月16日 04:00|アンティガ・ババーダ| |||<就任>リーワード・カリブ諸島総司令官・総督代行「ジョン・ニュージント」(1回目~1790年)
1788年6月19日-01:00|フランス| |||フランス南西部のトゥールーズで騒擾が起こる
1788年6月20日-01:00|デンマーク| |||デンマークで土地緊縛制が廃止される
1788年6月21日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ニューハンプシャー植民地⇒アメリカ合衆国ニューハンプシャー州(9番目)
1788年6月25日 06:00|アメリカ| |||<加盟>バージニア植民地⇒アメリカ合衆国バージニア州(10番目)
1788年6月30日-12:00|マージナル諸島/イギリス| |||イギリス軍ジョン・マージナル大佐によって再発見され、後に彼の名前にちなんでマージナル諸島と名付けられた
1788年7月-08:00|中国/ネーデル| |||ネーデルのケル王朝がチベットを攻略
1788年7月1日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「フェリクス・ベレンゲル・デ・フォルゲラス」(~17930901)
1788年7月2日-09:00|日本| |天明8年5月29日|<死去>呉陵軒可有(不明)川柳作者
1788年7月3日-09:00|日本|京都府福知山市|天明8年5月30日|<死去>朽木綱貞(76歳)前丹波福知山藩主
1788年7月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆53年6月|朝鮮・禹禎圭(1718~)「経済野言」著述(民弊の救済など経世と利財に関する40条余の方策記述本)
1788年7月4日-09:00|日本|京都府亀岡市|天明8年6月|<完成>円山応挙の金剛寺襖絵(波濤図・山水図・群仙図)
1788年7月7日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「エミエル・マノレ・ジヤニル」(⇒10月よりロシア・オーストリア占領下~1789年3月)
1788年7月15日-09:00|日本|東京都|天明8年6月12日|<死去>2代中村十蔵(49歳)歌舞伎役者
1788年7月15日-09:00|日本|東京都|天明8年6月12日|<死去>二代目英一蝶(始め一艇と号す)
1788年7月17日-01:00|スウェーデン/ロシア| ||ロシア暦7月6日|ロシアがスウェーデンの艦隊を撃破
1788年7月22日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Jose Rivera」(~1798年)
1788年7月26日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ニューヨーク植民地(一部)⇒アメリカ合衆国ニューヨーク州(11番目)
1788年7月27日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天明8年6月24日|<死去>田沼意次(70歳)元遠江相良藩主、老中
1788年7月27日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天明8年6月24日|<死去>本多忠央(81歳)元遠江相良藩主
1788年7月31日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国対立皇帝「ジャハーン・シャー」(~10.16)
1788年7月31日-05:30|インド| |||<廃位>ムガル帝国皇帝「シャー・アーラム2世」
1788年7月31日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天明8年6月28日|<死去>下総生実藩1万石「森川俊孝」(45歳)⇒養子「森川俊知」が継ぐ(⇒天保9(1838)年8月9日、死去)
1788年8月8日 10:00|クック諸島/イギリス| |||レディ・ペンリンに乗ってイギリス大尉ウィリアム・クロフトン・サーバーが訪れたトンガレバはペンリン島と名付けられた
1788年8月10日-01:00|オーストリア| |||<完成>モーツァルト最後の交響曲、交響曲第41番「ジュピター」
1788年8月13日-01:00|ドイツ/オランダ/イギリス| |||ハーグで、プロシヤ、オランダ、イギリスの三国同盟が成立

1790迄 (2181件)

1788年8月16日-01:00|フランス| |||財務総監ブリエヌが、フランスの破産を宣言する
1788年8月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハウ伯「リチャード・ハウ」(~17990805死去廃絶)
1788年8月22日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>グランビル・タウン開拓地監督官「ジョン・テイラー」(~1789年12月)
1788年8月22日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||ナインボナ王が沿岸部を提供
1788年8月25日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣「ジャック・ネッケル」(~17890711)
1788年9月2日 00:00|イギリス| |||<死去>4代マンチェスター公「ジョージ・モンタギュー」
1788年9月2日 00:00|イギリス| |||<就任>5代マンチェスター公「ウィリアム・モンタギュー」(~18430318死去)
1788年9月2日-09:00|日本|東京都|天明8年8月3日|<死去>烏山石燕(77) 画家、浮世絵師。妖怪画を多く描いた
1788年9月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆53年8月6日|朝鮮、漢訳洋書の焚書
1788年9月7日-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「オスマン・パシャ」(~1789年)
1788年9月8日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト大統領「リッポ・ファン・ベルゲン・ファン・デル・グーリフ」(1回目~17900319)
1788年9月11日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ブラガンサ公・ブラジル公・ペイラ公・バルセロス公・ウイラ・ウイソザ侯・バルセロス伯・オウラム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「ホセ」
1788年9月11日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラガンサ公・ブラジル公・ウイラ・ウイソザ侯・バルセロス伯・オウラム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「ジョアン」マリア1世女王の末息子(~18160320ポルトガル・アルガルヴェ王~18260310死去)
1788年9月15日 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官代行「ホセ・アントニオ・デ・ウリサル・イ・ホセ・リバル」(~同年)
1788年9月19日-09:00|日本|福井県敦賀市|天明8年8月20日|<交替>若狭敦賀藩1万石「酒井忠香」隠居⇒四男「酒井忠言」が継ぐ(⇒寛政9(1797)年11月25日、隠居)
1788年9月22日-09:00|日本| ||天明8年8月23日|<死去>烏山石燕(77歳) 浮世絵師
1788年9月22日-09:00|日本|東京都|天明8年8月23日|幕府が関東産菜種の買問屋・仲買を廃止
1788年9月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆53年9月|朝鮮、「同文彙考書」刊行(外交書)
1788年9月30日-09:00|日本| ||天明8年9月|<出版>長谷川光信「鳥羽絵扇的」
1788年10月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タウリアのロシア総督「Semyon Semyonovich Zhelugin」(~17961223)
1788年10月-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>モルダヴィア(南部地域) 総督「フリートリヒ・ヨシアス・フリンツ・フォン・ザ・ケルン＝ザールフェルト」(オーストリア軍事行政官~17901014)
1788年10月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>モルダヴィア(北部地域) 総督「ゲラフ・アレクサンドル・ヴァシリウ・イチ・スヴ・オーロフ」(ロシア軍司令官~1789年)
1788年10月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||モルダヴィアをロシアが占領(1790年まで、オーストリアと共同~1792年5月)
1788年10月-01:00|ポーランド| |||ポーランドで4年議会
1788年10月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「ホセ・デ・アルメイダ・ベンリクス」
1788年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ベニ」
1788年10月13日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ニュー・ジエント伯「ジョージ・ニュー・ジエント・テンブル＝グレンヴィル」初代バッキンガム侯・3代テンブル伯(~18130211死去)
1788年10月14日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴォン伯「ウィリアム・コートニー」
1788年10月14日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴォン伯「ウィリアム・コートニー」(~18350526死去)
1788年10月16日-05:30|インド| |||復位>ムガル帝国皇帝「シャー・アフマド2世」(2回目~18061119死去)
1788年10月22日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<死去>ギニア知事「Pierre Francois de Mareuil」
1788年10月22日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア暫定知事「Charles Guillaume Vial d'Alais」(1期目~17890619)
1788年10月26日-09:00|日本|石川県加賀市|天明8年9月27日|<死去>加賀大聖寺藩7万石「前田利物」(29歳)⇒養子「前田利考」が継ぐ(⇒文化2年12月25日(18060213)、27歳で死去)
1788年10月26日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天明8年9月27日|宇和島藩領宇和郡遊子谷村農民70~80人、庄屋・組頭宅を破壊し、大洲藩領喜多郡宇和川村まで出る
1788年10月28日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ハリー・ハミルトン中佐」(⇒17900111総督~17941030)
1788年10月29日-09:00|日本|静岡県富士市|天明8年10月|富士妙蓮寺客殿・庫裡再建
1788年10月29日-08:00|中国/ベトナム| ||清・乾隆53年;大越黎朝・昭統2年10月|孫士毅率いる清朝軍1万3千がベトナム内争に軍事介入し、ベトナムへ侵攻
1788年11月6日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||スウェーデンとデンマークの間にウッデヴァー条約が結ばれ、デンマーク軍がスウェーデンから撤退
1788年11月22日-05:30|インド| |||<死去>キャンガール国マハラジャ「ヒラト・シン」
1788年11月22日-05:30|インド| |||<即位>キャンガール国マハラジャ「フタップ・シン」(~17980305没)
1788年11月22日-09:00|日本|香川県善通寺市|天明8年10月25日|善通寺五重塔完成
1788年11月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク侯「Charles Christian」
1788年11月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク侯「Frederick William」(~18160109死去)
1788年11月28日-09:00|日本|東京都中央区|天明8年11月|<初演>「唐相撲花江戸方」<戻鶯色相肩>[作・初代櫻田治助、曲・鳥羽屋里長、振・市山七十郎]初代中村仲蔵、四代目松本幸四郎、中村座
1788年11月28日-09:00|日本|東京都中央区|天明8年11月1日|桐座が櫓変わって元の市村座が、芝居興行を再開
1788年12月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イスマイル・パシャ」(1回目~17890103)
1788年12月1日 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「ホセ・キン・ガリア・イ・モレノ」(2

1790迄 (2181件)

回目~18010126)

1788年12月3日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|天明8年11月6日|<交替>日向高鍋藩27000石「秋月種茂」隠居⇒長男「秋月種徳」が継ぐ(⇒文化4年12月21日(18080118)死去)
1788年12月5日-09:00|日本| ||天明8年11月8日|<大相撲>天明8年11月場所[江戸本所回向院](~10日間)優勝(西小結) 柏戸, 8勝0敗1分1無勝負
1788年12月14日-01:00|スペイン| ||<死去>スペイン国王「カルロス3世」72歳(誕生17160120)
1788年12月14日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「アラント・伯」(~17920228)
1788年12月14日-01:00|スペイン| ||<即位>スペイン国王(ボルボン朝)「カルロス4世」カルロス3世の息子(~18080319. 18190120 死去70歳)
1788年12月15日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル首相「セ・シーブ・ラ・ダ・シルバ」(~18010106)
1788年12月17日-04:00|ジョージア| ||<就任>ミグレリア公「グリコル」(1回目~1791年)
1788年12月17日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー政府評議会議長「カリー・ジ・シー・ジ・チ・エ・ウ・アソニー・ケイ・パ・ラティ・ノス」(~17901112)
1788年12月17日-09:00|日本| ||天明8年11月20日|<死去>鵜殿余野子(60歳) 歌人
1788年12月22日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミンゴ 総督「ジョー・侯爵マリー・シャル」(~1789年)
1788年12月22日-07:00|ベトナム| ||大越・光中1年11月25日|<即位>西山朝(大越) 富春朝廷国王「太祖光中帝阮恵」(~17920916死去)光中と改元(~1792年)
1788年12月27日-09:00|日本| ||天明8年12月|<出版>(橋石峯の挿画)「唐詩選画本」(五言絶句の部) 五巻
1788年12月31日-09:00|日本|茨城県つくば市|天明8年12月5日|<交替>常陸谷田部藩16300石「細川興晴」隠居⇒長男「細川興徳」が継ぐ(⇒天保8(1837)年9月16日、死去)
1789年-13:00|トンガ| ||<死去>トンガ 主長(トウイ・カノク・オ)「トホ・ウ・レヒ」
1789年-13:00|トンガ| ||<即位>トンガ 主長(トウイ・カノク・オ)「マリアウキ」(3期目~1793年)
1789年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>ベンクーレン副総督(ベンガル総督に従属)「ジョン・Crisp」(2期目~1793年)
1789年-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「ムハンマド・Sharafuddin bin Sultan ムハンマド・Azimuddin」(~1805年 死去)
1789年-08:00|インドネシア| ||<即位>パガラン王国マハラジャ「Sultan Tangkal Alam」(~1833年)
1789年-05:30|インド| ||<死去>ジャアラバード・タタール兼ジャンジラ・ワジール「Jauhar Khan」
1789年-05:30|インド| ||<就任>アールコト国ラジャ「ファッテン・ラオ2世シャバ・ラオ・ボンスル・アバ・サハブ・ラジエ」(~1822年没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>カシュワール国ラジャ「ケラフ・シン」(~40日間)⇒「ムハンマド・テグ・シン・サイフラ・カン」(~1820年)
1789年-05:30|インド| ||<就任>カンベイ国支配者(ナワブ)「ファス・アリ・カン」(~18231028没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>クムハルサイン国統治者(タナ・サハブ)「コダ・アルタン・シン」(~1803年没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>サンジエリ国統治者(ターケル)「ハ・ハート・カルシンジ」(~1814年没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>シルム国ラジャ「ターム・プ・ラカシュ」(~1793年没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>ジャアラバード 国タタール兼ジャンジラ・ワジール「イブラヒム・カン2世」(~1794年)
1789年-05:30|インド| ||<就任>タンガルフル国統治者(マハラル)「ファテ・シン」(~1808年没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>トル国統治者(タクル・サーヒブ)「ナト・ジ・シュノジ」(~不明)⇒「モジ・ナト・ジ」(~1803年)
1789年-05:30|インド| ||<就任>ナヤガル国ラジャ「ヒ・ナヤク・シン・マンタッタ」(~1823年)
1789年-05:30|インド| ||<就任>ハンスタ 国統治者(ラジャ・サーヒブ)「ナハルムシ」(~1793年没)
1789年-05:30|インド| ||<就任>ランブル国ラジャ「ブルジュタ・ハン・バジラタル・ナレントラ」(~1821年)
1789年-05:30|インド| ||<即位>ジャアラバード・タタール兼ジャンジラ・ワジール「Ibrahim Khan2世」(~1794年~1826年死去)
1789年-04:00|アゼルバイジャン| ||<就任>カフ汗国ハン「アフマド・ハン1世」(~1791年)
1789年-04:00|アゼルバイジャン| ||<就任>シャマク汗国ハン「アスカル・ハン」(~6ヶ月)⇒「カシム・ハン」(~1792年)
1789年-04:00|オマーン| ||<即位>アルサイト 王朝イマム「ハマド・ビン・サイト」(~17920313没)
1789年-04:00|ジョージア| ||<即位>イメレティ王「ソロモン2世」(~18100523)
1789年-03:00|スーダン| ||<死去>フンジ・スルタン国スルタン「アトラン2世イブン・イスマイル」
1789年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バスラのムテッサリフ「マルティン・イ・サ・ベイ」(~1793年)
1789年-03:00|スーダン| ||<即位>フンジ・スルタン国スルタン「バティ5世イブン・タフル」(~1790年)
1789年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレク・ワリス(総督)「Keki Abdi Pasha」(2期目~3月)
1789年-01:00|スペイン| ||<就任>アンブリアス伯「Luis Maria Fernandez de Cordoba y Gonzaga」(~1806年)
1789年-01:00|モスコ/フランス| ||<就任>モスコ総督「ホレス・ミシェル・アンジュ・ニコラ・マリ」プレティ・ド・サンタンブ・ロワーズ」(1回目~17930224)
1789年-01:00|ドイツ| ||<昇格>リッペ=テートモルト伯「レオポルト1世」⇒リッペ 侯(~18021105死去)
1789年-01:00|ロシア| ||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「シャリフ・ムハンマド5世イブン・アル・マンズール・アル・ハキム」(~1804年没)
1789年-01:00|ナジエリア| ||<即位>ヨ王国アラフィン「アレ・アラガン・ガン」(~1796年)
1789年-01:00|クロアチア| ||<即位>ポルビツァ大公「イワン・シッチ」
1789年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Jose de Avellaneda」(~1791年)
1789年 02:00|グリーンランド/デンマーク| ||<就任>南グリーンランド 検査官「Andreas Molbech Lund」(~1795年)
1789年 04:00|グレタ/イギリス| ||<就任>グレタ 総督「エドワード・マシュー」(2回目~17920624)
1789年 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス| ||<就任>トバゴ 知事「アントワーヌ・ド・ジョハルト・ポワニ」(~1792年)
1789年 04:00|ポルビツァ/スペイン| ||<就任>ポト総督補佐「フランシスコ・デ・パウラ・サンス」(~1810年没)
1789年 04:00|ポルビツァ/スペイン| ||<就任>ラパス総督補佐「セ・パ・プロ・コンティ」(~1790年)
1789年 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミンゴ 総督代行「アレクサンドル・ド・ベント・ド・マザード」(2回目~同年)

1790迄 (2181件)

1789年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者カロンデレット男爵「フランシスコ・ルイス・ヘクター・デ・カロンデレ・デ・ノア・エリス」(~1791年)

1789年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューレオン総督「Fernando de la Concha」(~1794年)

1789年1月-01:00|フランス| |||聖職者出身のパリ選出議員エミューエル・ジョゼフ・シェイス、貴族・聖職者の身分的特権を攻撃するパンフレット「第三身分とは何か」を発行/「第三身分とはすべてである」(第三身分は特権身分を排除して単独で「国民議会」を構成すべき)と主張す/ベステセーとなる

1789年1月3日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ケ・アビ・デ・イ・ハ・シャ」(2度目~30日)

1789年1月7日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ホセ・アントニオ・デ・オレアム・イ・ガルス・デ・エストラーダ」⇒暫定総督「フアン・エステバン・グレゴリオ・マルティネス・デ・ベニート・ジョス」(~1790年)

1789年1月8日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバグラナダ副王「フランシスコ・ヒル・デ・タボアダ・イ・レモス」(~8. 1)

1789年1月20日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン王室廷吏「フランツ・クサーヴァー・メンツンガー」(~1808年11月)

1789年1月21日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「フランシスコ・ホセ・テイセイラ・カルネイロ」(~17950624)

1789年1月23日-03:30|イラン| |||<死去>ザンド王朝ワキル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「ジャファル・カーン・ザンド」部下に暗殺される

1789年1月23日-03:30|イラン| |||<即位>ザンド王朝ワキル・アル＝ラヤ(民衆保護者)「サイード・モラド・カーン・ザンド」(~5. 10没)

1789年1月26日-09:00|日本|愛媛県|天明9年|<建立>八幡神社(伊予国久万町直瀬)

1789年1月26日-08:00|中国| ||清・乾隆54年|<就任>チベット摂政「イェシェ・ロブサン・テンパ・イ・ゴンポ」(~1790年)

1789年1月26日-09:00|日本| ||天明9年1月|<出版>喜多川歌麿、狂歌絵本「潮干のつと」(浮世絵)

1789年1月26日-09:00|日本| ||天明9年1月|<出版>勝川春章「三十六歌仙」(浮世絵)

1789年1月26日-09:00|日本| ||天明9年1月|<出版>北尾重政「歴代武将通鑑」(浮世絵)

1789年1月30日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イスマイル・ハシャ」(2度目~1791年)

1789年1月30日-07:00|ベトナム| ||大越・光中2年;大越黎朝・昭統3年1月5日|<廃位>後黎朝(大越)後期第17代皇帝「愍帝黎維祁」清国へ逃れ後黎朝滅亡

1789年2月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「Bakht Geray」(~1792. 6)

1789年2月4日 06:00|アメリカ| |||ジョージ・ワシントンが初代大統領に選出される

1789年2月13日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「パオロ・レニエル」

1789年2月19日-09:00|日本| ||寛政1年1月25日|「寛政」に改元

1789年2月20日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデン国王グスタフ3世が、統一保障条令を発/絶対王政をしくことが目的

1789年2月25日-09:00|日本|東京都|寛政1年2月|火事装束・能装束・破魔弓・菖蒲甲・雛などに金銀の金物ならびに箔の類の使用禁止(町触)

1789年3月-01:00|フランス| |||ラヴォアジエが「化学原論」で元素を定義

1789年3月2日-01:00|フランス| |||フランスで同業者組合(ギルド)禁止

1789年3月4日 06:00|アメリカ| |||<発効>アメリカ合衆国憲法. 13の元の州のうちの11はその時までに批准

1789年3月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、第1回連邦議会が開催される

1789年3月4日-09:00|日本|島根県浜田市|寛政1年2月8日|<死去>石見浜田藩6万石「松平康福」(71歳)元寺社奉行・大坂城代・老中首座⇒「松平康定」が継ぐ(⇒文化4(1807)年3月23日、死去)

1789年3月5日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛政1年2月9日|高台寺方大火

1789年3月10日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「ルドヴィーコ・マニ」(~17970512, フランスに占領される国家消滅)

1789年3月22日-09:00|日本|滋賀県彦根市|寛政1年2月26日|<死去>近江彦根藩30万石「井伊直幸」(61歳)元大老⇒六男「井伊直中」が継ぐ(⇒文化9(1812)年2月3日、隠居)

1789年3月23日 00:00|イギリス| |||<死去>4代リズ公「トマス・オズボーン」

1789年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>5代リズ公「フランシス・ゴドルフィン・オズボーン」4代公の唯一の男子(~17990131死去)

1789年3月24日-05:30|インド| |||<就任>デウス国ジャ「トゥガジ・ラ2世・プアル」(~18270928没)、摂政「ラニ・ガンガバイ」(~17941004)

1789年3月25日-01:00|フランス| |||フランス南部のエクス＝アン＝プロヴァンスで飢饉暴動が起こる

1789年3月27日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督代理「Francisco Torralbo Robles」(1期目~7. 8)

1789年3月27日-09:00|日本| ||寛政1年3月|<出版>中村惕斎編(下河辺拾水の図)「訓蒙図彙大成」

1789年3月27日-09:00|日本| ||寛政1年3月|<出版>如棗亭栗洞選(蔀関月の挿画)「狂歌つのみ草」

1789年3月27日-09:00|日本| ||寛政1年3月|<出版>北尾政美「来禽図彙」(浮世絵)

1789年3月29日-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>ジャワト汗国ハン「タラ・ハサン・ハーン」

1789年3月29日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ジャワト汗国ハン「イブラヒム・ハーン」(~1794年)

1789年4月-04:00|セイシェル/フランス| |||<就任>フランス領セイシェル司令官「ルイ・ジャン・バティスト・フィロジェ＝ヌスト・マラウオリ」(~1792年9月)

1789年4月-01:00|フランス| |||文筆家で革命政治家のブリ、新聞「フランスの愛国者」を発刊

1789年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」(シルベスター・マシ)

1789年4月1日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国下院議長「Frederick Augustus Muhlenberg」(~30日)Fed

1789年4月1日 06:00|アメリカ| |||アメリカ下院、正式に発足

1789年4月3日-09:00|日本|東京都|寛政1年3月8日|<死去>平秩東作(64歳)戯作者、狂歌師、漢詩人

1789年4月6日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第27代スルタン「アフメド・ウルハミト1世」

1790迄(2181件)

1789年4月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカ上院、正式に発足
1789年4月7日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第28代スルタン「セリム3世」先代の甥。26代ムスタファ3世の子(〜18070529廃位
〜18080728ムスタファ4世により暗殺)
1789年4月9日-09:00|日本|茨城県下妻市|寛政1年3月14日|<交替>常陸下妻藩1万石「井上正棠」隠居⇒長男「井上
正広」が継ぐ(⇒文化11(1814)年8月8日、死去)
1789年4月10日-09:00|日本| ||寛政1年3月15日|幕府が、あらためて奢侈とみなす品目を定めその製造・販売を
禁止
1789年4月11日 10:00|クック諸島/イギリス| |||イギリスのウィリアム・ブライ大尉によってアイツタキが発見され、Whytootackeeと
して記録
1789年4月14日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「エティエンヌ・ド・マニエ」(〜6月)
1789年4月17日-01:00|ベナン| |||<死去>ダホメ王国国王「ケングラ・グ・アンサ」
1789年4月17日-01:00|ベナン| |||<即位>ダホメ王国国王「アゴンロ・シンドザン」(〜17970501没)
1789年4月18日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「トミンゴ・カペロ・イ・ロブレス」(〜1790
0708)
1789年4月21日-09:00|日本|東京都台東区|寛政1年3月26日|<大相撲>寛政1年3月場所[江戸浅草八幡宮](〜10日間
)優勝(東関脇)小野川、10戦全勝
1789年4月23日 05:00|ケイマン諸島/イギリス| |||<死去>イギリス領ケイマン諸島主任判事「ウィリアム・Bodden1世」
1789年4月23日 05:00|ケイマン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ケイマン諸島主任判事「ウィリアム・Bodden2世」(〜1823年死去)
1789年4月28日-13:00|トンガ/イギリス| |||<バウンティ号の反乱>トンガのフレドリック諸島で英国軍艦長に対する反乱事件
1789年4月28日-01:00|フランス| ||| (27日〜)フランスでレヴェイオン事件、労働者が工場主宅を襲撃
1789年4月29日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「アルスラン・パシャ」(〜10.15)
1789年4月30日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国初代大統領「ジョージ・ワシントン」無党派(〜17970303)
1789年5月-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>モルダヴィア総督「フランツ・レオポルト・フライヘル・フォン・メッツブルク」(オーストリアの市民行
政官〜10.6没)
1789年5月3日-01:00|ポーランド| |||ポーランドで「五月三日憲法」成立
1789年5月5日-01:00|フランス| |||フランスで175年ぶりに三部会が開会。聖職者・貴族への課税審議
1789年5月5日-09:00|日本|京都府京都市|寛政1年4月11日|<就任>京都所司代「太田資愛」(⇒1792(寛政4年8月7日
))
1789年5月5日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政1年4月11日|<就任>老中「松平乗完」(〜寛政5年8月15日)
1789年5月7日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督補佐「アレホ・ガルシア・コンデ」(〜1796年)
1789年5月10日-03:30|イラン| |||<死去>ザンド王朝7代アル＝ラーヤ(民衆保護者)「サイード・モラド・カーン・ザンド」
1789年5月10日-03:30|イラン| |||<即位>ザンド王朝7代アル＝ラーヤ(民衆保護者)「ロフ・アリ・カーン・ザンド」(⇒17940320シャー
17941030死去、ガジャール朝によって滅亡)
1789年5月11日 11:00|日本|福井県大野市|寛政1年4月17日|<越前大野寛政元年連光寺の大火>夜五つ時ごろ(20
時ごろ)寺町の連光寺から出火/焼失した町々は、柳町、代官町、郡町、城代、鳩尾、鷹匠町、町組が全焼し、一番町、
二番町、三番町、六間町、七間町、比丘尼町、正膳町も全焼。四番町は上之方2、3軒、五番町は上之方両側の10軒ほ
どが残ったがあとは灰となった。そのほか中野村まで延焼し22、3軒を焼失させた。翌日明け七つ時ごろ(午前4
時ごろ)焼け止まる/被害は、本家580軒、地名子の家66軒、借家380軒、奉公人の家7軒、寺院11か所、土蔵77棟
1789年5月16日 04:00|フォークランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォークランド諸島司令官・総督「Ramon de Clairac y Vil
lalonga」(3期目〜17900630)
1789年5月17日-01:00|フランス| |||アッシニヤ紙幣、価格切り下げ
1789年5月20日 00:00|イギリス| |||<就任>初代クレンス=セント・アンドルーズ公・初代マンスター伯「ウィリアム王子」ジョージ3世の三男
(〜18300626、ウィリアム4世として連合王国国王に即位、爵位は王領に統合)
1789年5月21日-09:00|日本|広島県広島市|寛政1年4月27日|広島稲荷町出火、179軒(337竈)焼失
1789年5月26日-01:00|オーストリア| |||<初演>ゲオルグ・フリードリッヒ・ヘンツェ「リットル・イーゼ」が不実な恋人の手紙を焼いた
時」
1789年5月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「シナ・ハサン・パシャ(またはメイット・ハサン・パシャ)」(〜17891203)
1789年5月29日-02:00|トルコ| |||トルコ東部で地震(M7)死者5万人
1789年5月31日-01:00|スペイン| |||スペイン、奴隷管理令を公布/国政改革の一環として領内における奴隷貿易を自
由化
1789年5月31日-09:00|日本|北海道|寛政1年5月7日|<クナシ・マチの戦い>国後の惣長人サツチ、ウェンツからきた支配人
勘兵衛のふるまい酒を飲んだ直後に急死、長人のマキリの妻は運上屋でもらった飯を食べた後まもなく死亡/二
人が和人に毒殺されたと見たマキリは、アイの蜂起を呼びかけサツチの息子ホシア、フルカマの首長ツノエの子ツハヤもこ
れに呼応
1789年6月3日 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<死去>グリーンランド管理者「Paul Hansen Egede」
1789年6月3日-09:00|日本|新潟県上越市|寛政1年5月10日|<交替>越後高田藩15万石「榊原政永」隠居⇒次男「榊原
政敦」が継ぐ(⇒文化7(1810)年、隠居)
1789年6月3日-09:00|日本|北海道|寛政1年5月10日|<クナシ・マチの戦い>武装したアイヌ41名が、国後トマリの運上屋や番
屋を襲撃、竹田勘平(松前藩の足軽)、飛騨屋の支配人、通辞、番人など22名を殺害/クナシ組41人の構成は、マキリを
先頭にホシア、ノクトカ、サツチ、イヌマの5人が指導部を形成、ほか9人が殺害に直接加わり、さらに27人が襲撃に参加
/その後、反乱部隊は200人以上に膨れ上がり、国後全島の騒乱に発展、殺された和人は泊で10人、トップライで6人、
古釜布で5人

1790迄 (2181件)

1789年6月4日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王太子「ルイ・ジョゼフ・ゲザヴイエ・フランスワ」(1781-1789)第2王子「ルイ・シャル」王太子となる

1789年6月6日-09:00|日本|北海道|寛政1年5月13日|<カシリ・マシの戦い>早朝、弓と槍で武装した忠類のの首長和エツキに指導されたアイヌ部隊が反乱/部隊は忠類河口沖に停泊していた飛騨屋の交易船大通丸を、40艘ほどの小船で襲撃、船子13名を殺害/大通丸襲撃を機に、根室のマシ地方のアイヌも蜂起/国後の反乱者を加え総勢200名あまりとなった反徒は、標津で6名、忠類で8名、古多糠(コヌカ)で5名、崎無異(サキムイ)で5名、ほか薫津、植別、訓根別、和マツの各地で計36名を殺害、和人側の死者は総勢71名となる

1789年6月7日-08:00|中国| |||雲南、華寧で地震/M7、死者300人~1,000人

1789年6月14日-01:00|フランス| |||フランスで労働者団結禁止法(ルジャブ・リエ法)可決

1789年6月14日 06:00|アメリカ| |||「バーボン・ウィスキー」米国ケンタッキー州の牧師エライジャ・クレイグによって初めて作られる

1789年6月17日-01:00|フランス| |||フランス三部会議から第三身分が「国民議会」を設立

1789年6月19日-01:00|フランス| |||フランス貴族制度の廃止/第一身分の一部が国民議会に合流

1789年6月19日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Jacques Martin de Bourgon」(~17910105)

1789年6月20日-01:00|フランス| |||フランス第三身分(平民)議員は「国民議会議場」閉鎖に反対の意志を示し、近くの「室内球戯場」(ヴェルサイユ)に集まり、「憲法制定まで国民議会議場を解散しない」と誓う「テニスコート(球戯場)の誓い」が行われる

1789年6月21日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジャン=ジョゼフ・スパデル・ト・ギマ」(~17920603)

1789年6月29日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースティウス島知事「Pieter Anthony Godin」(~17920603)

1789年6月30日-01:00|フランス| |||パリの「アベイ監獄」(6区「サン=ジエルマン=デ=ブレ教会」の東隣にあった)が襲撃され、捕らわれていた兵士が解放される

1789年6月30日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ロバート・男爵、アーサー大司教リチャード・ロビンソン/フィッツギボン男爵ジョン・フィッツギボン・コネロ/ジョン・フォスター」(~17900105)

1789年7月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事代理「Charles Joseph Hyacinthe du Houx」(~1790.4)

1789年7月4日 00:00|イギリス/インド| |||イギリス東インド会社がマラーター、ニザームと攻守同盟を締結

1789年7月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連邦議会、保護関税法案を制定

1789年7月8日-01:00|フランス| |||フランスで2万人の失業労働者による暴動が起こる

1789年7月8日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Miguel Antonio de Ustariz」(~17920519 死去)

1789年7月9日-01:00|フランス| |||フランス国民議会が「憲法制定国民議会」と改称

1789年7月11日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣「ルイ・オーギュスト・ラ・トリエ・ド・ブルケイユ」(~16日)

1789年7月12日-01:00|フランス| |||フランスで聖職者民事基本法制定

1789年7月12日 22:00|フランス| |||夜半、パリで「入市税門」が焼き討ちされるなど、民衆蜂起が拡大

1789年7月13日-01:00|フランス| |||パリの暴動が激化/「ラ・フォルス監獄」(4区にあった)に民衆が押しかけ、囚人を解放/「パリ市庁舎」(4区)が占領される

1789年7月14日 04:00|フランス| |||早朝、市民が「アンヴァリット」(国立廃兵院)「(7区)地下の「武器庫」に侵入し、2万8,000丁の銃を略奪/さらに、弾薬を求めて「バステュー牢獄(要塞)」(4区)を襲撃し「フランス革命」勃発/監獄司令官ベルナルド・ローネーとパリ市長フレッセルが惨殺される

1789年7月16日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣「ジャック・ネッケル」(~17900903)

1789年7月16日-01:00|フランス| |||凶作に苦しむフランス東部ペルフォル地方(現「テリワール・ド・ペルフォル県」)に「農民反乱」が起こる

1789年7月18日-01:00|フランス| |||フランス北部のアミアンなどで農民が蜂起

1789年7月19日-01:00|フランス| |||フランス東部のフランス=コンテ(スイスと国境を接する、中世の「ブルゴーニュ伯領」にほぼ対応する地域)で農民の暴動が起こる

1789年7月19日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「トマス・ブルース」(1回目~17901223)

1789年7月20日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、船舶入港税成立

1789年7月22日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛政1年6月30日|<死去>西尾忠需(74歳)前遠江横須賀藩主

1789年7月26日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ヒス・ケス・イヤス」(~1794年1月)

1789年7月27日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国で、最初の行政官庁の国務省が設置され、トマス・ジェファソン(46)が長官となる

1789年7月30日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国「ジョゼ・アレマ・マリア・パウ・イニニ」(~17910730)

1789年7月31日-01:00|オーストリア/ルーマニア/ロシア/トルコ| |||ロシア暦7月20日|オーストリア-ロシア連合軍が、フォクシャニ(ワラキア)の戦いでトルコ軍を撃破

1789年8月-01:00|セルビア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍セルビア総督「エルンスト・ギテオン・フライヘル・フォン・ラウドン」(~17910824)

1789年8月-01:00|セルビア/オーストリア| |||セルビアをオーストリアが占領(~1791年9月)

1789年8月 04:00|マルティニーク| |||マルティニークで黒人奴隷の反乱

1789年8月1日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 副王「ホセ・マヌエル・イグナシオ・ティモテオ・デ・エスペレータ・ガルデアノ・デ・イカスティージョ・イ・デル・プラド」(~17970102)

1789年8月4日-01:00|フランス| |||フランス南部のカストル地方(ミティエ=ピレネ地域圏)で暴動が起こる

1789年8月4日 19:00|フランス| |||夜、農民反乱の広がりに脅威を感じた「憲法制定国民議会」は、貴族ルイ・マルク・アントワーヌ・ド・ノアイ子爵の提案で、全国に拡大した暴動を沈静化するため「封建的特権の廃止宣言」を出す/年貢・裁判・狩猟・臨時課税を課す権限を持つ領主権の廃止/生産物の1割を教会に納める「10分の1税」の廃止/「社団」、「ギルド」

1790迄 (2181件)

の廃止/生まれながらの特権、地方特権、売官制、などの廃止

- 1789年8月6日-01:00|フランス| |||食糧の途絶を恐れたパリの民衆、セヌ川を運行する「小麦粉運搬船」を止め、積み荷を勝手に奪う
- 1789年8月7日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国で陸軍省、発足
- 1789年8月11日-01:00|フランス| |||フランスで封建制廃止決議が成分化され、布告される
- 1789年8月18日 00:00|イギリス| |||<就任>初代バース侯「トマス・シン」(~17961119死去)
- 1789年8月18日 00:00|イギリス| |||<昇格>6代アントリム伯「ランダル・ウィリアム・マクトネル」⇒アントリム侯(~17910725死去)
- 1789年8月18日 00:00|イギリス| |||<昇格>7代ソールズベリー伯「ジェームズ・セシル」⇒初代ソールズベリー侯(~18230613死去)
- 1789年8月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アーン伯「ジョン・クライトン」(~18280915死去)
- 1789年8月19日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミッシェル 総督「ペニエ伯ルイ・アントワヌ・トマサン」(~1790年11月)
- 1789年8月20日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ダウシャー侯「ウィルヘルム」(~17931007死去)
- 1789年8月21日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・乾隆54年7月|朝鮮、水原城が完成
- 1789年8月22日-01:00|フランス| |||フランス国内商業の制限を撤廃
- 1789年8月26日-01:00|フランス| |||フランス「人権宣言」を採択し身分制を廃止
- 1789年8月27日-09:00|日本| |||寛政1年7月7日|<死去>恋川春町(46歳)戯作者、浮世絵師、駿河小島藩士
- 1789年8月27日-09:00|日本|東京都|寛政1年7月7日|<死去>狂歌・浮世絵師、恋川春町(通称倉橋寿平)/46歳
- 1789年8月28日-01:00|ドイツ| |||ドイツの天文学者ウィリアム・ハーシェルが土星の衛星「エンケトラス」を発見
- 1789年8月28日-09:00|日本|千葉県館山市|寛政1年7月8日|<交替>安房館山藩1万石「稲葉正明」隠居⇒四男「稲葉正武」が継ぐ(⇒文化9(1812)年3月9日、隠居)
- 1789年8月28日-09:00|日本|北海道|寛政1年7月8日|<クナシリ・マシの戦い>新井田隊、根室の野釜布に到着、反乱軍を武装解除
- 1789年8月29日-01:00|フランス| |||フランスで穀物取引の規制が撤廃され、穀物取引の自由が定められる
- 1789年8月31日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金瑛」(~11. 14)
- 1789年9月-05:30|インド/イギリス| |||イギリスがアンダマン諸島に植民を開始
- 1789年9月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>モルダヴィア総督「イワン・ラヴレンティエヴィチ・セルンスキー」(モルダヴィアのデヴィアン人のロシア大統領~1790年)
- 1789年9月-02:00|レバノン| |||<即位>レバノン・アミール「(シャーフ家)バシル2世」(~1840. 10)
- 1789年9月2日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国で財務省、発足
- 1789年9月4日-09:00|日本|北海道|寛政1年7月15日|<クナシリ・マシの戦い>反乱参加者131人がノッカマツに出頭、直接加害者とされた37人が牢に入れられる
- 1789年9月10日-09:00|日本|北海道|寛政1年7月21日|<クナシリ・マシの戦い>蜂起の指導者マシリら7人をノッカマツの丘で死刑に処す/これを知り騒ぎ始めた捕囚30名は、全員が鉄砲などで撃ち殺される/マシの民衆は反撃せずそのまま解散
- 1789年9月12日-01:00|フランス| |||ジャン・ポール・マラーが「人民の友」を刊行
- 1789年9月12日-01:00|フランス| |||フランス、教皇領アヴィニョンの併合
- 1789年9月17日 00:00|イギリス| |||イギリスの天文学者ウィリアム・ハーシェルが土星の衛星「ミマス」を発見
- 1789年9月19日-09:00|日本| |||寛政1年8月|<出版>喜多川歌麿、狂歌絵本「狂月坊」
- 1789年9月22日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国で郵政長官職、設置される
- 1789年9月22日-01:00|セルビア/ロシア/トルコ| |||ロシア暦9月11日|第2次ロシア・トルコ戦争で、オスマン軍がロシア・オーストリア連合軍にワラキアのリムニクで敗れる
- 1789年9月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカで裁判所構成法が発令され最高裁判事職、司法長官職、設置される
- 1789年9月29日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ジャストス公・3代カーナヴァン侯「ジェームズ・ブリッジス」断絶
- 1789年9月30日-01:00|イタリア| |||イタリア中部で地震(M5. 8)死者500人
- 1789年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ジャンギ」「フランチェスコ・ベルグッピ」
- 1789年10月2日 00:00|イギリス| |||<死去>ハントントン伯「フランシス・ヘイスティングス」
- 1789年10月2日 00:00|イギリス| |||<就任>ハントントン伯「テオフィロス・ヘンリー・ヘイスティングス」(~18040402死去)
- 1789年10月4日-01:00|フランス| |||<十月事件>政情不安で穀物がパリに十分搬入されず、食糧の高騰に苦しむパリ市民数千人が、パンを要求して雨中20kmの「ヴェルサイユ行進」を行う
- 1789年10月5日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 総督「カミユ・シャルル・クレール・ド・フレズヌ・ド・ラ・ヴェルベリエール」(~1793年1月)
- 1789年10月5日 06:00|フランス| |||<十月事件>朝、パリ市民、「ヴェルサイユ宮殿」に乱入して「国王よパリへ」と叫ぶ/フランス王ルイ16世、「議会」に対してそれまで裁可しなかった「特権廃止の法令」と「人権宣言」をやむなく承認
- 1789年10月6日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>モルダヴィア総督「ヨゼフ・グラーフ・フォン・B・リグト」(オーストリアの市民行政官~1790年)
- 1789年10月6日 21:00|フランス| |||<十月事件>フランス国王ルイ16世と王妃マリ・アントワネット、王太子ルイ・シャルル(ルイ17世)が、100年前から宮廷となっていた「ヴェルサイユ宮殿」を後にして馬車でパリに連れ戻され、22時に「テュイルリ宮殿」(1区)に着く/「憲法制定国民議会」もパリに移される
- 1789年10月7日-09:00|日本|岐阜県海津市|寛政1年8月19日|<死去>竹腰勝起(52歳)前美濃今尾藩主、尾張藩家老
- 1789年10月8日-01:00|フランス| |||フランスで刑事訴訟手続の改正が行われる
- 1789年10月9日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||オーストリア軍がブカレスト(ワキア)を占領
- 1789年10月9日 00:00|イギリス| |||<死去>8代ハートフォード伯「ジェームズ・ハミルトン」
- 1789年10月9日 00:00|イギリス| |||<就任>9代ハートフォード伯「ジョン・ジェームズ・ハミルトン」先代の甥(⇒17901015初代ハートフォード侯)

1790迄(2181件)

~18180127死去)

1789年10月12日-01:00|フランス| |||フランス「利付き債権に関する法律」が制定される
1789年10月12日-09:00|日本|高知県高知市|寛政1年8月24日|<死去>土佐藩20万2600石「山内豊雍」(40歳)⇒嫡男「山内豊策」が継ぐ(文化5(1808)年2月5日、隠居)
1789年10月14日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿国務長官「フランチェスコ・サヴェリオ・デ・ゼラタ」(~17960210)
1789年10月15日-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナニ総督「メフメト・ハッシャ・ミラム」(~12.18)
1789年10月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Karl George Lebrecht」
1789年10月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Augustus Christian Frederick」(⇒1806年アンハルト・ケーテン公に昇格~18120505死去)
1789年10月17日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「レリヤビート・伯ファン・ビセンテ・デ・グエメス・パチエコ・デ・パティージャ・イ・オルカシタス」(~17940711)
1789年10月19日-01:00|フランス| |||フランス北西部ブルターニュ出身議員で結成されていた「フルトン・クラブ」が「憲法友の会」と改称し、パリのドミニコ会の「ジャコバン修道院」(1区)を本拠とする/政治結社「ジャコバン派(ジャコバン・クラブ)」設立
1789年10月19日-09:00|日本| ||寛政1年9月|幕府が、年貢米の蔵納め手続きを請け負う納宿を廃
1789年10月19日-07:00|ベトナム| ||大越・光中2年9月|グエン・フック・アイン(阮福暎)はサイゴンを奪回
1789年10月22日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ウォルト・グレイヴ・伯「ジョージ・ウォルト・グレイヴ」
1789年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ウォルト・グレイヴ・伯「ジョージ・ウォルト・グレイヴ」先代の息子(~17940629死去)
1789年10月23日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト総督「アントニアス・リーゼン・ビョルン」(~1792年7月)
1789年10月24日-01:00|ベルギー| |||<就任>フランド全権公使「ヘンドリック・カレル・ニコラス・ファン・デル・ヌート」(~17900111)
1789年10月24日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー愛国軍司令官「ヤン・フランス・ファンク」(~17900111)
1789年11月2日-01:00|フランス| |||フランスの国民議会が、教会財産を没収し、国有化することを定めた法令を布告/教会の土地は競売方式により一般に売却し、財政再建にあてる
1789年11月2日-09:00|日本| ||寛政1年9月15日|<死去>2代三保木儀左衛門(59歳)歌舞伎役者
1789年11月3日-09:00|日本| ||寛政1年9月16日|棄捐令公布/浅草に貸金会所を設置/旗本御家人が負っている6ヶ月以前の債務を棒引きして破棄させ、さらにそれ以後の借金も利子を値下げさせた
1789年11月4日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>ワラキア総督・領主「フリードリヒ・ヨシアス・フリッツ・フォン・ザクセン＝コーブルグ＝ザールフェルト」(オーストリア軍行政官)(~17910904)
1789年11月4日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||ワラキアはオーストリアに占領される(~17910904)
1789年11月7日-01:00|フランス| |||フランス「憲法制定議会」、議員が大臣になることを禁止
1789年11月9日-01:00|フランス| |||フランス、亡命者処罰法を制定
1789年11月11日-05:30|インド| |||<就任>ジャント・国ラジャ「ハグ・シン」(~18190616没)
1789年11月14日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李在協」(~17900102)
1789年11月14日-04:00|モリシャス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督「コンウェイ伯爵トマス」(~17900729)
1789年11月21日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ノースカロライナ植民地⇒アメリカ合衆国ノースカロライナ州(12番目)
1789年11月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆54年10月7日|朝鮮、顯隆園を水原に移す(正祖の父・壮献世子の墓)
1789年11月23日-09:00|日本|山口県|寛政1年10月7日|<死去>毛利重就(毛利匡敬)(65歳)前長州藩主
1789年11月27日-09:00|日本|香川県高松市|寛政1年10月11日|高松城下、田町裏合子池より失火、53軒焼失
1789年11月30日-01:00|ベルギー/ドイツ| |||リージュがプロシヤに占領される(~17900416)
1789年12月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<退任>グランビル・タウン開拓地監督官「ジョン・テイラー」テム族に攻撃され完全に破壊され放棄(~1791年1月)
1789年12月 00:00|ガンビア/イギリス| |||イギリスがガンビア全土を植民地化
1789年12月2日-01:00|ポーランド| |||ワルシャワ市民による「黒衣の行進」
1789年12月3日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「セザイリ・ガジ・ハサン・ハッシャ」(~17900330)
1789年12月4日 03:00|アルゼンチン/ポルトガル/パラグアイ/ウルグアイ| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ニコラス・アントニオ・デ・アルトント」(~17950316)
1789年12月9日-09:00|日本| ||寛政1年10月23日|<死去>高井几董(49歳)俳人
1789年12月11日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ノース・カロライナ大学、最初の州立大学として創設
1789年12月12日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|寛政1年10月26日|<死去>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川治貞」(62歳)⇒12月2日、養子「徳川治宝」が継ぐ(⇒文政7(1824)年6月6日、隠居)
1789年12月13日-01:00|オーストリア/オランダ| |||オーストリア領ネーデルラントが独立を宣言
1789年12月14日-01:00|フランス| |||フランスがアッシニア紙幣を発行
1789年12月17日-09:00|日本| ||寛政1年11月|本多利明「蝦夷私考」を著す
1789年12月17日-09:00|日本|愛媛県上浮穴郡久万高原町|寛政1年11月|八幡神社(久万町直瀬)建立
1789年12月18日-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナニ総督「ハチ・サリフ・ハッシャ」(1回目~17910105)
1789年12月22日-01:00|フランス| |||フランス「選挙法」が可決され、「選挙制度」の骨子が定められる;「地方自治体法」が制定され、旧来の特権と結びついた「州」や「地域」が廃止され、全国が83の県(下に郡・小郡・市町村を置く)に分割される
1789年12月22日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ケーパー・伯「ジョージ・ナッソー・クレイヴ・アーリング＝ケーパー」
1789年12月22日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ケーパー・伯「ジョージ・オーガスタス・クレイヴ・アーリング＝ケーパー」(~17990212死去)
1789年12月24日-01:00|フランス| |||フランス在住のプロテスタントに市民権が与えられる

1790迄 (2181件)

1789年12月26日-05:30|インド| |||<就任>ガト・ダラ太守「マナー・ラー・オ・ガ・イクワート」(~17930727死去)
1789年12月26日-09:00|日本| ||寛政1年11月10日|幕府が関東産綿実買受問屋・仲買を廃止
1789年12月26日-09:00|日本|東京都港区|寛政1年11月10日|麻布永坂町に、布屋太兵衛が蕎麦屋を開く(永坂更科の開祖)
1789年12月27日-09:00|日本|東京都江東区|寛政1年11月11日|<大相撲>寛政1年11月場所[江戸深川八幡宮](~10日間)(東関脇⇒横綱)小野川, 8勝0敗1分1預/7日目に谷風とともに横綱免許
1789年12月30日-05:30|インド| |||<就任>ブトウツコタイ国ラジャ「ウ・イ・ジャ・ラ・ナ・トン・ダ・マン」(~18070201没)
1789年12月31日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「バーナード・トロンコソ・マルティネス」(~17940525)
1790年-11:00|ミクロネシア| |||<死去>モル国王「ライタック」
1790年-11:00|ミクロネシア| |||<即位>モル国王「ラジャ・ウア」(~1809年没)
1790年-08:00|マレーシア| |||<就任>ジョホール統治者(ウダ・ング・ル・ア・ク・シ・ヨホル)「ダ・トゥ・ク・ラン・タン・ジャンタン」(~1810年頃)
1790年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ホアキン・ザ・ビエル・デ・モライス・サルメント」(~1794年)
1790年-08:00|マレーシア| |||<就任>レバウ統治者(ウダ・ン・ル・ク・レン・バウ)「ダ・トゥ・ク・セ・イ・ラ・ジャ・ベ・カ」(~1795年頃)
1790年-05:30|インド| |||<建国>チャン・バ・カール国
1790年-05:30|インド| |||<就任>アリプ・ラ国統治者(ラオ)「フ・ラ・タッ・シン」(~1835年)
1790年-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||<就任>オランダ領インド総督「ジョセフ・アイルブ・ラハ」(~17951020)
1790年-05:30|インド| |||<就任>キューラ国ラジャ「フ・ブ・シン」(~1813年)
1790年-05:30|インド| |||<就任>ゴンダル国統治者(タル・サ・ヒブ)「ムル・サ・ラムジ」(~1792年没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>サントール国統治者(ヒンド・ウ・ラオ・マリカ・マタル)「シト・ジ・ラオ2世」(~1796年没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>シヴァンガ国ラジャ「ヘ・ラ・キ・ナヤル」(~1793年没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>ジャインティア国ラジャ「ラム・シン・シム・ストウナ」2世(~1832年没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>シヨス国統治者(デ・シュムク)「カンジ・ラオ」(~1810年)
1790年-05:30|インド| |||<就任>ジグニ国統治者(ラオ)「ラクシュマン・シン1世」(~1806年)
1790年-05:30|インド| |||<就任>ダフラール国統治者(デ・シュムク)「カンジ・ラオ」(~1810年)
1790年-05:30|インド| |||<就任>チョタ・ナグプール国支配者(ラジャ)「デ・オ・ナス・シャー」(~1806年)
1790年-05:30|インド| |||<就任>パトラウ国ラジャ「ダ・ヤ・ハル」(1回目~1794年)
1790年-05:30|インド| |||<就任>パランダ・ハタル・ガタル国統治者(ターケル)「モハン・シン」(~18270104没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>パンガ・ナール国統治者(ナワブ)「モザファル・アル・モルク・アサド・アリ・カン」(~1814年)、
「カラム・アリ・カン1世」(2回目~18220908)
1790年-05:30|インド| |||<就任>パンダ国支配者(ナワブ)「アリ・ハ・ハート・ウル1世」建国(~18020828没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>マイハル国統治者(ターケル)「ト・ウル・ジャン・シン」(~1825年没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>モルガイ国統治者(タル・サ・ヒブ)「シ・ヤジ・ワジ」(~1828年没)
1790年-05:30|インド| |||<就任>ラージガル国支配者(ラワット)「フ・ラ・タッ・シン」(~1803年)
1790年-05:30|インド| |||ベジヤ国がヒラズールから独立(18150904に確認)
1790年-05:00|パキスタン| |||<就任>フンザ国ミル・タム「サリム・カン2世」(~1825年没)
1790年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第51代ハン「アブル・ガースィー4世」アブドゥッラーの子(~1802.9)
1790年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アンクイ・ハン「ラフマトゥッラー・カン」(~1812年)
1790年-03:00|ウガンダ| |||<就任>キグル統治者(オムカ)「イジンバ」(~1806年)
1790年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国スルタン「ハッサン・ラヒト」(~1791年)
1790年-03:00|マヨット| |||<即位>マロ・スルタン国スルタン「サリム」(~1807年没)
1790年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Apci Ibrahim Pasha」(~同年)⇒「Bayrakli Kusa Mustafa Pasha」(~1791年)
1790年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>ムベレ統治者(マンボ)「スガ・オスベ・チヨ」(~1810年頃)
1790年-02:00|ウクライナ| |||<退位>クリミア・ハン国ハン「バ・ハティル2世ギレイ」ロシア帝国に併合
1790年-01:00|ベナン| |||<就任>クワンテのバリバ国支配者「ウル・ワリ1世ダラ・ワ」建国(~1804年没)
1790年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマラム国統治者(サルキン・ダマラム)「ダ・ウ・タ・ン・タニム」(~1799年)
1790年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「レオポルト1世」(~1792年)
1790年-01:00|ドイツ| |||<昇格>ロイス=ローベンスシュタイン伯「Heinrich35世」⇒ロイス=ローベンスシュタイン侯(~1805年)
1790年-01:00|ガボン| |||<即位>オルング王国国王「エントンベ」⇒「レオンベ」「ムル」(~1810年)
1790年-01:00|イタリア| |||<即位>ケラ・イ・ナ公「Domenico3世Orsini」(~1874年)
1790年 00:00|セカール| |||<就任>ケール統治者(タンメル)「アマリ・ゴネンデラ・クンバ・ファル」(~1809年)
1790年 00:00|セカール| |||<就任>バウル統治者(ティン)「アマリ・ゴネンデラ・コンバ・ファル」(2回目~1809年)
1790年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「アレクサンドル・マヌエル」(~1792年)
1790年 00:00|セカール| |||<就任>ブントウ統治者(アルマミ)「シーガ・ケイ・シ」(~1797年)
1790年 00:00|コートジボワール| |||<即位>サス・のバウル王国国王「ナン・コウアメ・ツツ」(~1840年)
1790年 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||奴隷制廃止主義者らがセント・ジョージズ・ベイ会社創設
1790年 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||「自由の土地」の首都グランヴィル・タウがジミー王によって破壊される
1790年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド検査官「Borge Johan Schultz」(~1797年)
1790年 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督「Antonio Olague y Feliu Heredia Lopez y Donce」(~17970211)、代理「Miguel de Tejada」
1790年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領セント・バーツロム島知事「Carl Fredrik Bagge af Soderb

1790迄 (2181件)

y) (~1795年)

- 1790年 04:00|グアテマラ/イギリス| |||<就任>マリー・ガランテ特定知事「Emmanuel Joseph Desnoyers」(~17921101)
- 1790年 04:00|ポリス/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ホセ・デル・ピノ・サンチェス・デ・ロサ・ロメロ・イ・ネグレ」(~1797年)
- 1790年 04:00|ポリス/スペイン| |||<就任>ラパス総督補佐代行「アウグスティン・デ・ゴヨナ」(~1791年7月)
- 1790年 04:00|アンティグア・バプーダ| |||<就任>リーワード・カリブ諸島総司令官・総督「トマス・シャリー」(2回目~1791年)
- 1790年 05:00|キューバ| |||サンタマリア・デル・ロサで黒人奴隷の反乱。領主は首謀者12名を処刑し晒し首に処す
- 1790年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「マヌエル・ムニョス」(~1798年)
- 1790年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ビセンテ・マヌエル・デ・セスペデス・イ・ベラスコ」(~17840712)
- 1790年 10:00|ポリス/ア| |||<死去>アヒネ統治者「Te ha'a papa I Te 'i'oa tua Teri'i tari'a」
- 1790年 10:00|ポリス/ア| |||<就任>アヒネ統治者「Teri'i tari'a」(~1793年死去)
- 1790年1月4日-09:00|日本|東京都|寛政1年11月19日|<襲名>4代横綱「谷風梶之助」(~現役中没)
- 1790年1月4日-09:00|日本|東京都|寛政1年11月19日|<襲名>5代横綱「小野川喜三郎」(~寛政9年10月)
- 1790年1月5日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ウェストモランド伯爵ジョン・フェイン」(~17950104)
- 1790年1月11日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「フランソワ・コルネユト・ネリス」(~3月)
- 1790年1月11日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国首相「アントニク・カル・ニコラス・ファン・デル・ヌート」(~12. 2)
- 1790年1月11日-01:00|ベルギー| |||ブリュッセルでベルギー合衆国宣言
- 1790年1月11日-01:00|ベルギー| |||リンブルフはベルギー合衆国の一部(~12. 2)
- 1790年1月11日-09:00|日本|広島県廿日市市|寛政1年11月26日|厳島への渡船、草津沖で沈没、溺死者60余人
- 1790年1月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆54年12月|朝鮮、舟橋司を設置(漢江の舟橋を管掌)/詮郎通清法を再びやめる
- 1790年1月23日 08:00|ヒトクアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ヒトクアン諸島指導者「Fletcher Christian」(~17931003死去)
- 1790年1月24日-09:00|日本|栃木県さくら市|寛政1年12月10日|<交替>喜連川藩4500石(10万石格)「喜連川恵氏」
隠居→長男「喜連川彰氏」が継ぐ(500石加増され5000石⇒文政13(1830)年11月28日、隠居)
- 1790年1月28日-01:00|オーストリア| |||オーストリアのヨーゼフ2世が改革勅令の多くを撤回
- 1790年2月2日-01:00|フランス| |||フランス、ジャコバン・クラブが「憲法友の会」を正式名称とする
- 1790年2月2日 06:00|アメリカ| |||アメリカ最高裁、ニューヨークのロイヤル・イクステンジ・ビルで開廷式
- 1790年2月5日-03:00|日本|大阪府大阪市|寛政1年12月22日|<大坂寛政元年「上町大火:東横堀焼」>卯の刻(午前6時ごろ)南本町二丁目堺筋東へ入る北側にある辰巳屋久左衛門の家守(管理人)浅田屋源七が支配する貸家、姫路屋平八(呉服商)の居宅から出火、本町一丁目南側に延焼し東に焼け抜けた/南本町浜より内本町橋詰町曲がりへ飛び火し、そこから炎は東北へと延び、松屋町から骨屋町、御祓筋、善庵筋、谷町、大手筋まで焼け抜け、城代屋敷をはじめ近辺の武家屋敷を総なめにし、南は上本町三丁目まで焼け抜けた/申の下刻(16時ごろ)南久宝寺町一丁目の穂積屋正三郎宅の二階から出火、東へと延焼、内久宝寺町から安堂寺町東へ焼け抜けようやく翌日寅の中刻(午前4時ごろ)鎮火/その被害、町数52町、町家、家数にして1110軒、世帯数5468。道場13か所、蔵屋敷1か所、町の惣会所1か所、空き貸家464軒、油屋69軒、土蔵36か所、穴蔵12か所。そのほか大坂城代中屋敷、御城番中屋敷、地方役人衆屋敷11軒、代官屋敷2軒ほか
- 1790年2月6日-01:00|フランス| |||パリの「パステイユ牢獄」(4, 11, 12区)の解体工事が終了/この石材で作られたパステイユの模型の1つが、3区の「カルナヴァル美術館」(パリ歴史博物館)にある
- 1790年2月12日-03:00|日本|香川県高松市|寛政1年12月29日|高松城下今新町同心屋敷より失火、民家31軒焼失
- 1790年2月13日-01:00|フランス| |||フランス聖職者の封建的終身誓約制度、「修道宗団」の廃止が決議される
- 1790年2月14日-09:00|日本|秋田県秋田市|寛政2年|出羽久保田藩藩校「明德館」(名付は1811年)を設置
- 1790年2月14日-08:00|中国| ||清・乾隆55年|この年、徽州劇劇団が北京入り(京劇の母体)
- 1790年2月14日-08:00|中国| ||清・乾隆55年|清朝が人口調査、3億人を突破
- 1790年2月14日-09:00|日本| ||寛政2年1月|<出版>喜多川歌麿「絵本駿河舞」(浮世絵)
- 1790年2月14日-09:00|日本| ||寛政2年1月|<出版>寺沢昌次「絵本武勇大功記」(浮世絵)
- 1790年2月14日-09:00|日本| ||寛政2年1月|<出版>勝川春章「絵本接穂の花」(浮世絵)
- 1790年2月14日-09:00|日本| ||寛政2年1月|<出版>勝川春潮「絵本栄家種」(浮世絵)
- 1790年2月14日-09:00|日本| ||寛政2年1月|<出版>北尾重政「絵本武将記録」(浮世絵)
- 1790年2月14日-09:00|日本| ||寛政2年1月|<出版>北尾政美「絵本武隈松」(浮世絵)
- 1790年2月20日-01:00|オーストリア/チェコ/フランス/イタリア/ハンガリー/クロアチア/オランダ/ベルギー/ルクセンブルグ| |||<死去>神聖ローマ皇帝「ヨーゼフ2世」兼ハンガリー国王「ヨーゼフ2世」兼オーストリア大公・クロアチア王・ボヘミア王「ヨーゼフ2世」兼ブルゴニョ公・アルトワ伯「ジョゼフ」兼ブラバント公・エノー伯・フランドル伯「ジョゼフ1世」兼ルクセンブルグ公「ヨーゼフ」兼カプリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「ジュゼッペ」48歳
- 1790年2月20日-01:00|オーストリア/チェコ/フランス/イタリア/クロアチア/ハンガリー/オランダ/デンマーク| |||<即位>クロアチア王(ハプスブルグ=ロレーヌ家)・ボヘミア王(ハプスブルグ=ロートリンゲン家)・ブルゴニョ公「レオポルト2世」兼ハンガリー王国(ハプスブルグ=ロートリンゲン朝)国王「レオポルト2世」(フアン1世の子。ヨーゼフ2世の弟)兼ブラバント公(アプスブルグ=ロレーヌ家)・フランドル伯「レオポルト1世」兼オーストリア大公(ハプスブルグ=ロートリンゲン家)「レオポルト7世」(~17920301死去44歳)
- 1790年3月-05:30|インド| |||<就任>スーラト国支配者(ナワブ)「ミル・ウッティーン・ムハンマド・カーン」(~17990108没)
- 1790年3月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「ヴェンメル侯爵アムール・ジョゼフ・フィリップ・シャル・ティ」(1回目~4月)
- 1790年3月-01:00|フランス| |||フランス「農民一揆鎮圧法」が制定される

1790迄 (2181件)

1790年3月1日 06:00|アメリカ| |||アメリカで国勢調査法制定 (8/1, 初の国勢調査が実施される/人口は392万9214人)
1790年3月2日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 総督「モラン」(~10月)
1790年3月4日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金弼」(~5.3)
1790年3月8日-01:00|フランス/ハイチ| |||ティブランを基盤とする植民地委員会の部隊が、旧体制に近いフランス軍二個連隊
に対し反乱。ポルト＝フランスを制圧
1790年3月9日-01:00|フランス| |||フランス「国有財産売却法」が可決される
1790年3月15日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ16世の「勅令」により、マモルト(領主による領民の財産への支配)、領主の
狩猟独占権、市場権などが廃止/領主的諸権利買戻しの法令、身分的諸権利の廃止/長男の優先的財産相続が
廃止
1790年3月17日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントピア 総督「エフィンガム伯爵トマス・ハワード」(~17911117没)
1790年3月17日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政2年2月2日|<解任>老中「牧野貞長」
1790年3月19日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールト＝コスト総裁「ヤコブス・エイトリアン・デ・ビア」(~17940505没)
1790年3月20日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|寛政2年2月5日|<死去>池田定就(67歳)前因幡若桜藩主
1790年3月24日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島副知事代理「Robert Ross」(~17911104)
1790年3月25日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「フランシス・ジュ・デ・タダ・イ・レモス・エ・ウイラ・マリ」(~17960606)
1790年3月26日 06:00|アメリカ| |||アメリカで1790年帰化法制定
1790年3月30日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「チェレブ・サデ・シェリフ・ハサン・パシャ」(~17910215)
1790年3月31日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛政2年2月16日|<死去>伊予吉田藩3万石「伊達村賢」(46歳)⇒4月8
日、次男「伊達村芳」が継ぐ(⇒文化13(1816)年11月6日、隠居)
1790年4月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「ホーレ男爵フィリップ・ジヨセフ・ネーデル」⇒「ルイ・ジヨセ
フ・ド・ハベスケル」(~5月)
1790年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリアーノ・ベグニ」「マッテオ・マルテリ」
1790年4月3日-09:00|日本|東京都中央区|寛政2年2月19日|幕府が、無宿者や軽犯罪者を対象とする授産更生施設
として、石川島に人足寄場の設置を決める
1790年4月4日-09:00|日本|滋賀県野洲市|寛政2年2月20日|<交替>近江三上藩1万石「遠藤胤忠」隠居⇒養子「遠藤
胤富」が継ぐ(⇒文化8(1811)年6月23日、隠居)
1790年4月4日-09:00|日本|山形県上山市|寛政2年2月20日|<交替>出羽上山藩3万石「松平信亨」強制隠居⇒長男「
松平信古」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年10月4日、死去)
1790年4月5日-09:00|日本| |||寛政2年2月21日|<死去>桜井雪館(76歳)画家
1790年4月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ルートヴィヒ9世」
1790年4月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ルートヴィヒ10世」ルートヴィヒ9世の息子(⇒18060813ヘッセン大
公「ルートヴィヒ1世」)
1790年4月7日-05:30|インド| |||マイソールで3次マイソール戦争が始まる
1790年4月7日-01:00|フランス| |||フランスがメートル法を制定、子午線の4000万分の1を1mとする
1790年4月9日 00:00|モロッコ| |||<死去>アラウィー朝スルタン「ムハンマド3世」80歳
1790年4月10日 06:00|アメリカ| |||アメリカで特許法制定
1790年4月10日 06:00|アメリカ| |||コロンビア号、アメリカ初の世界一周を成し遂げて帰還
1790年4月11日 00:00|モロッコ| |||<即位>アラウィー朝スルタン「ムレイ・ヤスィード」ムハンマド3世の息子(~17920223死去42歳)
1790年4月16日-01:00|フランス| |||フランスで国有資産となった「教会領」(聖職者の没収財産)を担保とした「アシニャ」(債
券)に強制通用力を付与/不換紙幣「アシニャ紙幣」として流通し始める
1790年4月17日 06:00|アメリカ| |||<死去>ベンジャミン・フランクリン/84歳(誕生:17060117)避雷針の発明
1790年4月19日-09:00|日本|愛知県岡崎市|寛政2年3月6日|<交替>三河奥殿藩16000石「松平乗友」隠居⇒弟「松平
乗尹」が継ぐ(⇒享和2(1802)年12月2日、隠居)
1790年4月22日-09:00|日本|東京都|寛政2年3月9日|<死去>画人、劉安生(号寿山、麻布曹溪寺に葬す)
1790年4月26日-09:00|日本| |||寛政2年3月13日|<死去>二六庵竹阿(81歳)俳人
1790年4月27日-01:00|フランス| |||パリの「コレトリエ修道院」(6区、現在「パリ大学」医学科付属の病理解剖学博物館「デ
ュピュイトラン博物館」)に「コレトリエ・クラブ」(人間と市民の権利の友人会)が設立される
1790年4月29日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「ファン・アントニオ・モン・イ・ベラルデ
・ハルト・イ・シエンフエス」(~17910305没)
1790年5月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「ボナヴェントゥラ・ヒヤンテ・ジヨセフ・ド・ブージュ」(1回
目)⇒「ウエム侯爵アムール・ジヨセフ・フィリップ・シャル・ティ」(2回目)⇒「ボナヴェントゥラ・ヒヤンテ・ジヨセフ・ド・ブージュ」(2回目~6月)
1790年5月-01:00|フランス| |||医師出身のフランス革命政治家ジャン＝ポール・マラー、亡命先のイギリスから帰国し、下層市民の
立場に立つ革命新聞「人民の友」を再刊
1790年5月5日-09:00|日本|東京都江東区|寛政2年3月22日|<大相撲>寛政2年3月場所[江戸深川八幡宮](~9日間)
優勝(東大関(横綱))小野川, 8勝0敗1無勝負
1790年5月9日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「レオンテ 伯爵セルイス・デ・カストロ」(~1801101
4)
1790年5月10日-01:00|フランス| |||フランス南部のモン＝パンで「反革命運動」が起こる
1790年5月12日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチアのバン「ヤノス・グロフ・エルデティ」(~18060323)
1790年5月15日-01:00|フランス/ハイチ/ドミニカ共和国| |||フランスが、西インド諸島のイスパニオラ島のフランス領の黒人の一部解放
を宣言
1790年5月16日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ハートウィック伯「フィリップ・ヨーク」

1790迄 (2181件)

1790年5月16日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ハートウィック伯「フィリップ・ヨーク」先代の甥(〜18341118死去)
1790年5月17日-02:00|シリア・アラブ/フランス| |||シリアでジャッカル・アマトがフランス軍を撃退
1790年5月18日-09:00|日本|愛媛県今治市|寛政2年4月5日|<交替>伊予今治藩35000石「松平定休」隠居⇒長男「松平定剛」が継ぐ(⇒文政7(1824)年6月5日、隠居)
1790年5月20日-09:00|日本|福島県西白河郡中島村|寛政2年4月7日|磐城滑津本法寺再建
1790年5月21日-01:00|フランス| |||「パリ市制」を組織する法案が可決され、町は王権から独立/市当局は、市長1、理事16、参事32、議員96、市代訴人1(不在時の代理代訴人2)で構成/市当局は、有選挙権市民によって構成される限定選挙民によって選出/警察、財政、食料、公共施設、公共工事を管理する5つの「委員会」を置く/市は48のセクション(小区)に分割、セクション(小区)ごとに1名の警察委員(任期2年)を選出
1790年5月22日-01:00|フランス| |||フランスで、征服戦争及び人民の自由に対する武力行使を放棄することを規定した法令が公布される
1790年5月23日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ケラフス・ロマナス・イグナチウス・ポトスキ」(〜17910503)
1790年5月23日 00:00|イギリス| |||<死去>初代モンタギュー公・初代モンタギュー侯・4代カーデイガン伯「ジョージ・モンタギュー」モンタギュー公爵廃絶
1790年5月23日 00:00|イギリス| |||<就任>5代カーデイガン伯「ジェームズ・フルデネル」4代カーデイガン伯の弟(〜18110224死去)
1790年5月26日 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島首長「コッソハーゲン」「Johan Heinrich Knuth」(〜18020706死去)
1790年5月29日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ロートアイランド植民地⇒アメリカ合衆国ロートアイランド州(13番目)
1790年5月29日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政2年4月16日|<就任>老中格「本多忠壽」(〜1798年10月26日)
1790年5月29日-09:00|日本|福島県いわき市|寛政2年4月16日|<加増>陸奥泉藩15000石「本多忠壽」+5000石⇒2万石(⇒寛政11(1799)年10月23日、隠居)
1790年5月31日 06:00|アメリカ| |||ワシントン、最初の著作権法に署名
1790年6月-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア植民地最初の商店の開店
1790年6月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「シャルル・ジョセフ・ド・ケレイク」(〜7月)
1790年6月 04:00|モントセイト/イギリス| |||<死去>イギリス植民地モントセイト大統領「アレクサンダー・Gordon」
1790年6月 06:00|ベリズ/イギリス| |||<就任>ベリズ居留地管理者(ジャマカの知事に従属)「ヒーター・ハンター」(〜1791年3月)
1790年6月1日-05:30|インド/イギリス| |||イギリス、マラーター王国、ニザーム王国の三者同盟が成立
1790年6月2日-01:00|フランス| |||フランス「国民議会」、「暴動煽動者取締令および処分令」を可決
1790年6月5日-09:00|日本|東京都|寛政2年4月23日|<死去>初代中村仲蔵(55歳、1736年生)歌舞伎役者
1790年6月9日 04:00|マルティニーク| |||マルティニークの黒人反乱、フランス人入植者との内戦に発展
1790年6月10日-01:00|フランス| |||フランス南部のニームに反革命運動が起こる
1790年6月12日-01:00|フランス| |||フランス南部の教皇領アヴィニョンで革命派市民が反乱、フランスへの併合を議決
1790年6月13日-09:00|日本| |||寛政2年5月|幕府が「好色本禁止、子供の草子、絵本、内容規制」
1790年6月15日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督代行「ジュリアン・フランソワ・ド・フレリッシュ」(⇒17920824、総督〜18021204)
1790年6月19日-01:00|フランス| |||フランス、国民議会が「貴族」の尊称、「世襲貴族制」を廃止
1790年6月24日-09:00|日本|茨城県土浦市|寛政2年5月12日|<死去>常陸土浦藩95000石「土屋泰直」(23歳)⇒弟「土屋英直」が継ぐ(⇒享和3(1803)年8月12日、死去)
1790年6月29日-09:00|日本|三重県鳥羽市|寛政2年5月17日|<死去>稲垣昭央(60歳)前志摩鳥羽藩主
1790年6月30日 04:00|フォークランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォークランド諸島司令官・総督「Juan Jose de Elizalde y Ustariz」(1期目〜17910301)
1790年7月-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル総督代行「サー・ロバート・ポイド」(⇒1790.10総督2期目〜17940513)
1790年7月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「ジャン・フランソワ・ゲンデビアン」(〜8月)
1790年7月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルが領主裁判権を廃止
1790年7月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ファン・ホセ・デ・メノ・デ・サダ・イ・バルヌエボ」(〜1796.3)
1790年7月2日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「蔡濟恭」(〜17930711)
1790年7月2日-09:00|日本|大分県竹田市|寛政2年5月20日|<死去>豊後岡藩70440石「中川久貞」(67歳)⇒孫「中川久持」が継ぐ(⇒寛政10年9月18日(17981027)、死去)
1790年7月6日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<死去>イギリス領ジブラルタル知事「ジョージ・オーガスタス・エリオット」
1790年7月6日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「ヘンリー・Frere」(〜17910624)
1790年7月6日-09:00|日本| |||寛政2年5月24日|寛政異学の禁/幕府、朱子学を正学とし、湯島聖堂での正学以外の教授を禁止
1790年7月8日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ルイス・デ・ラス・カサス・イ・アラゴリ」(〜17961206)
1790年7月9日-01:00|スウェーデン/ロシア| |||ロシア暦6月28日|ロシア・スウェーデン戦争のスヴェンスカントの戦いで、スウェーデン軍がロシア軍を破る
1790年7月12日-01:00|フランス| |||フランス「国民議会」で「聖職者民事基本法(聖職者市民法)」決議/宗教関係の財産を奪い、司教や教区司祭を「公選制」(行政単位ごと)とする/「司教管区」を行政単位の「県」と一致させる/行政改革の原則が教会組織にまで拡大し、「教会」は国家と市民社会に従属しなければならないとする

1790迄 (2181件)

1790年7月14日-01:00|フランス| |||第1回パリ祭/ジャン・ド・マルスで全国連盟祭
1790年7月16日 06:00|アメリカ| |||米国の首都ワシントンに決まる
1790年7月17日 00:00|イギリス| |||<死去>アダム・スミス/67歳(誕生17230605) イギリスの経済学者
1790年7月17日 00:00|イギリス| |||ロンドンでシンガが特許を獲得
1790年7月18日-09:00|日本|福島県白河市|寛政2年6月7日|<死去>松平定邦(63歳) 前陸奥白河藩主
1790年7月22日-01:00|イタリア| |||<即位>トスカナ大公「フェルディナント3世」ピエトロ・レオナルド1世の息子(~18010803ナポレオンの侵略による追放)
1790年7月26日-09:00|日本| ||寛政2年6月15日|最上徳内「蝦夷国風俗人情之沙汰」を著す(のち校訂を加え「蝦夷草紙」とす)
1790年7月27日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||プロシヤとオーストリアがライプツィヒ条約を結んで和解
1790年7月29日-04:00|モリスヤス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督代行「トミニク・フロベール・ド・シェルモン」(~8.19)
1790年7月31日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛政2年6月20日|<死去>上野沼田藩35000石「土岐定富」(17歳)⇒弟「土岐頼布」が継ぐ(7月2日襲封⇒文化10(1813)年7月8日、隠居)
1790年8月-05:30|インド| |||<即位>コーチ国統治者(マハラジャ・ガングア・コウ・イラティ・カリカル)「ラマヴァルマ9世サクタン・タンフラン」(~18050926没)
1790年8月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「フランソワ・イグナス・ファン・デル・メルシュ」(~9月)
1790年8月 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「オラフル・ステファンソン」(~18060822)
1790年8月3日-01:00|フランス| |||フランスで農民紛争厳罰の法令が出される
1790年8月3日-09:00|日本|宮城県仙台市|寛政2年6月23日|<交替>陸奥仙台藩62万石「伊達重村」隠居⇒次男「伊達斉村」(⇒寛政8年7月27日(17960829)死去)
1790年8月4日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ギルフォード 伯「フランス・ノース」
1790年8月4日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ギルフォード 伯「フレデリック・ノース」(~17920805死去)
1790年8月4日 06:00|アメリカ| |||<設立>財務省傘下に税関監視艇局(アメリカ沿岸警備隊)
1790年8月4日 06:00|アメリカ| |||ワシントン、独立戦争時の各州の債務を連邦が引き受ける法案に署名
1790年8月7日 06:00|アメリカ| |||クリーク族のマグリガレイ、連邦政府とニューヨーク条約調印
1790年8月7日 06:00|アメリカ| |||ジョサイア・ハーマー率いる部隊、ネイティブ・アメリカンに惨敗
1790年8月10日-07:00|ベトナム| ||大越・光中3年7月|ベトナムの西山軍が阮福映の攻撃によって本拠地の帰仁を失う
1790年8月11日-01:00|フランス| |||フランス「10分の1税」無償廃止
1790年8月11日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政2年7月|「彦山権現誓助剣」歌舞伎初演、大坂中の芝居
1790年8月14日-02:00|フィンランド/スウェーデン/ロシア| |||ロシア暦8月3日|スウェーデンとロシアが、ヴァレア条約を締結し、ロシアがフィンランドの一部を獲得
1790年8月18日-01:00|フランス| |||フランス東南部のヴァイガル地方で反革命の運動が起こる
1790年8月19日-04:00|モリスヤス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督代行「デヴィッド・シャルパンティエ・ド・コンニ」(~17920618)
1790年8月24日-01:00|フランス| |||ナッシー事件/兵士の反乱が鎮圧される/ラ・ファイエットの声望が失われる
1790年8月26日-09:00|日本|広島県安芸郡海田町|寛政2年7月16日|安芸郡海田市火災. 町家140軒(竈数163軒)を焼く
1790年8月27日-01:00|フランス| |||フランスで、アシニヤ債券の利子が廃され、紙幣に切り換えられる
1790年8月27日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛政2年7月17日|<死去>播磨姫路藩15万石「酒井忠以」(36歳)⇒9月3日、長男「酒井忠道」が継ぐ(⇒文化11(1814)年9月30日、隠居)
1790年8月29日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット侯「ルートヴィヒ・ギンター4世」
1790年8月29日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット侯「フリードリヒ・カル」(~17930413死去)
1790年8月31日-01:00|フランス| |||フランス、ナッシー駐屯部隊で発生した兵士の反乱がブイエ将軍に鎮圧される
1790年9月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「レイヴドとサント=マリエ領主イグナス・ジョセフ・ド・ラ・ソール・ド・グリュン」(~10月)
1790年9月-01:00|フランス| |||フランスのジャック・ル・エールが「右派」を批判する新聞「デュシェヌ親爺」を創刊し、下層市民サンキュロット層の支持を受ける(1794年に処刑されるまで385号発行)
1790年9月1日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛政2年7月22日|肥前国浦上村の村民19人がキリシタンとしてはじめて検挙(浦上一番崩れ)
1790年9月3日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣「アルマン・マルク、ユメト・ド・モンモリソ」(~17910903)
1790年9月5日-09:00|日本|広島県広島市|寛政2年7月26日|佐伯郡草津村大火, 町家309軒(375竈), 寺2焼失
1790年9月6日-01:00|フランス| |||フランス、高等法院の廃止
1790年9月8日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Dominique Prosper de Chermont」(~17921018)
1790年9月8日-09:00|日本|千葉県市原市|寛政2年7月29日|<死去>上総五井藩1万石「有馬氏保」(29歳)⇒9月23日、婿養子「有馬久保」が継ぐ(⇒文化11(1814)年7月16日、死去)
1790年9月9日-09:00|日本| ||寛政2年8月|<出版>伴資芳(三熊花顔, 画)「近世畸人伝」
1790年9月13日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「Sir Robert Boyd」(2期目~17940513)
1790年9月13日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ大司教摂政「ゲメ公、カンブレ大司教フェルディナント・マクシミリアン・メアデック・ド・ローハン」(~17910110)
1790年9月13日-09:00|日本| ||寛政2年8月5日|<寛政3年関東風水害>東海地方から関東、東北南部にかけて暴風雨/相模国では小田原で高潮が発生. 箱根山が崩れて泥流の山津波となり、塔ノ沢、木賀などの温泉宿などが流失

1790迄 (2181件)

し死亡者多数。相模川も大洪水となり大山でも山崩れが発生/江戸湾でも高潮発生、大森から品川、高輪、芝、築地に海水が押し寄せ人家が多く流出、倒壊。州崎、行徳、船橋あたりでも人家が流れ多くの人が死亡/河川では上野国に大雨が降り、利根川から隅田川流域に大洪水を引き起こした

- 1790年9月18日 00:00|イギリス| |||<死去>カバールランド=ストラソン公・初代ダブリン伯「ヘンリー・フレデリック王子」
- 1790年9月21日-01:00|フランス| |||赤、白、青の三色旗がフランスの国旗として選ばれる
- 1790年9月24日-09:00|日本| ||寛政2年8月16日|<死去>狩野典信 (61歳) 狩野派の絵師
- 1790年9月25日 00:00|イギリス| |||<死去>2代モントローズ公「ウィリアム・ゲラーム」
- 1790年9月25日 00:00|イギリス| |||<就任>3代モントローズ公「ジェームズ・ゲラーム」 (~18361230死去)
- 1790年9月27日-09:00|日本|福井県小浜市|寛政2年8月19日|小浜で大水、板橋・中橋・西津口橋落ちる
- 1790年9月28日-09:00|日本|宮崎県延岡市|寛政2年8月20日|<交替>日向延岡7万石「内藤政脩」隠居⇒養子「内藤政韶」が継ぐ(⇒享和2 (1802) 年7月31日、死去)
- 1790年9月29日-01:00|フランス| |||フランス、無利子の新アッシニア紙幣が発行される/インフレの引き金になる
- 1790年9月30日-01:00|オーストリア/トイ/イタリア/チェコ/ハンガリー/クロアチア/フランス/ベルギー/オランダ/ルクセンブルグ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・トイ王「レオポルト2世」兼ハンガリー国王「リポート2世」兼クロアチア王・ボヘミア王「レオポルト2世」兼オーストリア大公・ブーハント公・エノー伯・フランドル伯「レオポルト1世」兼ルクセンブルク公・ブルゴニユ公・カラリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)・アルトワ伯「レオポルト」フランス1世とマリア・テレジアの息子 (~17920301死去)
- 1790年10月-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「サイモン・ラカール」 (~1791年6月)
- 1790年10月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Ahmed Pasha al-Djazzar」 (2期目~1795年)
- 1790年10月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「バリエ伯爵夫人バティスト・フランソワ・ザビエル・ヒヤント」 (~11月)
- 1790年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・ベルツィ」 「アントニオ・カッピオニ」
- 1790年10月4日-09:00|日本|愛知県岡崎市|寛政2年8月26日|<死去>三河岡崎藩5万石「本多忠典」 (27歳) ⇒養子「本多忠顕」が継ぐ(⇒文政4 (1821) 年2月9日、隠居)
- 1790年10月4日-09:00|日本|滋賀県高島市|寛政2年8月26日|<死去>分部光庸 (57歳) 前近江大溝藩主
- 1790年10月6日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ラパ子爵マヌエル・デ・アルメイダ・エ・ウァスコンセロス」 (~17970801)
- 1790年10月8日-09:00|日本| ||寛政2年9月|<刊行>本居宣長、「古事記伝」上巻
- 1790年10月8日-09:00|日本| ||寛政2年9月|<出版>下河辺拾水(月岡雪鼎の挿画)「女庭訓御所文庫」
- 1790年10月9日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランス王国ブルゴニユ公(オーストリア・ハプスブルク家)レオポルト 兼フランドル伯(アブスブルグ=ロレーヌ家)レオポルト1世[神聖ローマ皇帝レオポルト2世] (~17920301)
- 1790年10月9日-01:00|アルジェリア| |||アルジェリア・オラン地震、死者3千
- 1790年10月9日-09:00|日本|三重県津市|寛政2年9月2日|<死去>伊勢久居藩53000石「藤堂高轟」 (20歳) ⇒10月29日、養子「藤堂高兌」が継ぐ(⇒文化3 (1806) 年10月12日、本家津藩を継ぐ)
- 1790年10月11日 00:00|イギリス| |||<死去>4代オックスフォード伯=モティマー伯「エドワード・ハーレー」
- 1790年10月11日 00:00|イギリス| |||<就任>5代オックスフォード伯=モティマー伯「エドワード・ハーレー」 (~18481230死去)
- 1790年10月15日 00:00|イギリス| |||<昇格>9代アバコン伯「ジョン・ジェームズ・ハミルトン」⇒初代アバコン侯 (~18180127死去)
- 1790年10月15日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|寛政2年9月8日|<死去>美濃加納藩32000石「永井直旧」 (23歳) ⇒10月29日、甥「永井尚佐」が継ぐ(⇒天保10 (1839) 年5月18日、57歳で死去)
- 1790年10月19日-09:00|日本| ||寛政2年9月12日|<死去>片山北海 (68歳) 儒学者、漢詩人
- 1790年10月20日-02:00|ラトヴィア/ポーランド| |||<就任>ポーランド・リヴァニア総督「アダム・エウァルト・フェルケルツァン」 (~17940223没)
- 1790年10月20日 06:00|アメリカ| |||ジョサイア・ハーマー率いる部隊、ネティグ・アメリカに惨敗
- 1790年10月24日-01:00|フランス| |||三色旗がフランス王国海軍旗として制定
- 1790年10月26日-05:30|インド/イギリス| |||コダグ国はイギリスの保護領
- 1790年10月28日-01:00|フランス/ハイチ| |||ハンサン・オジェとシャバンス、300の部隊とともにドントンで武装蜂起
- 1790年10月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政2年9月22日|<死去>儒者、漢詩人「片山北海」
- 1790年10月30日-09:00|日本|東京都|寛政2年9月23日|<死去>前句付けの点者、柄井川柳 (73歳) 浅草新堀龍宝寺門前の坊正にして柄井八右衛門/俳諧の一体に俗談を旨として狂句を作り其の集を「柳樽」と号し、数編を選ぶ
- 1790年11月-01:00|フランス/ハイチ| |||評議会は600人の部隊を編成し、オジェの陣地を襲い撃退される/白人は1500人の軍勢を組織し攻撃、部隊は壊滅し、二人はサント・ミゴに逃れサント・ミゴ官憲は二人を逮捕し強制送還
- 1790年11月1日 00:00|イギリス| |||イギリスで、エドマンド・バークの「フランス革命の省察」が発行される
- 1790年11月3日-01:00|フランス| |||フランス「国有財産売却法令」改訂
- 1790年11月4日-01:00|フランス| |||フランス「貨幣偽造者死刑処罰令」発布
- 1790年11月7日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督「ホセ・バスケス・イ・テレス」 (~1796年)
- 1790年11月7日-09:00|日本| ||寛政2年10月|<出版>大阪の浮世絵師流光斎、絵本「画本行潦」
- 1790年11月8日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国主権議会議長「ハントリック・ヘルマン・ヴェルナー・フランス・アントン・ファン・クラムピペン」⇒「ペトルス・ヨハネス・サイモン・ヴァイスバック・ファン・ユーベン」 (~12. 2)
- 1790年11月9日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミゴ 総督「フィリベール・フランソワ・ルセル・ド・ブランシュランデ」 (~1792年)
- 1790年11月12日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー政府評議会議長「アレクサンダー・レオポルト・エルツヘルツォーク・フォン・エステルライヒ」 (~17950712没)
- 1790年11月15日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政2年10月9日|<大相撲>寛政2年11月場所[江戸本所回向院] (~10日

1790迄 (2181件)

間)優勝(西関脇)雷電, 8勝0敗2預

1790年11月17日-01:00|フランス| |||フランス聖職者全てが国家の公務員と規定/聖職者を公務員化して政府が給与を支払う/聖職者には「憲法」への忠誠を宣誓することを義務づけており、これへの対応で聖職者は「宣誓僧」(司教130人中7人、司祭は約半数)と「宣誓拒否僧」(司教130人中123人、司祭は約半数)に分かれる

1790年11月22日-01:00|オーストリア/ベルギー| |||ベルギー革命派内の対立を利用してオーストリア軍がベルギー再占領

1790年11月22日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政2年10月16日|<就任>老中「戸田氏教」(~文化3年4月26日)

1790年12月2日-05:30|インド| |||<就任>デウス国ラジャ「ルクマンガト・ラオ・ファール」(~1817年没)

1790年12月2日-01:00|オーストリア/ベルギー| |||オーストリア軍がブリュッセルを占領し、ベルギーの独立運動が鎮圧される

1790年12月2日 00:00|イギリス| |||<死去>初代メイヨー伯「ジョン・ボーク」

1790年12月2日 00:00|イギリス| |||<就任>2代メイヨー伯「ジョン・ボーク」(~17920420死去)

1790年12月3日-09:00|日本| ||寛政2年10月27日|幕府がふたたび好色本などの出版を禁じる

1790年12月6日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー合衆国総督代行「フリュート・クロード・グラフ・マシー・アルジャント」(~1791年6月)

1790年12月6日 06:00|アメリカ| |||ニューヨークからフィラデルフィアに首都移転

1790年12月6日-09:00|日本| ||寛政2年11月|蠣崎広年(波響)「夷酋十二人図像(夷酋列像)」完成

1790年12月7日-01:00|ベルギー/オーストリア| |||オーストリアのベルギー支配が回復

1790年12月10日-01:00|オーストリア/ベルギー| |||オーストリアとベルギーの間にハーグ条約が締結され、ベルギーに国会が設立されることになる

1790年12月10日 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ(マラケシュのみ)スルタン「ヒシャム」(1回目~1795年1月)

1790年12月12日-01:00|フランス| |||フランス銀本位制(銀単本位制)を採用

1790年12月13日-09:00|日本|福岡県北九州市|寛政2年11月8日|<死去>豊前小倉藩15万石「小笠原忠総」(64歳)⇒翌年1月29日、養子「小笠原忠苗」が継ぐ(⇒文化元(1804)年7月20日、隠居)

1790年12月14日 06:00|アメリカ| |||ハミルトン支持者たちが連邦党形成

1790年12月15日 06:00|アメリカ| |||アメリカで言論・出版・集会の自由など民権を推進する10項目の憲法修正条項(権利の章典)、大衆の圧力により実現

1790年12月17日-05:30|インド/イギリス| |||カナヌル国をイギリス領インドが占領(~1792年)

1790年12月17日 07:00|メキシコ| |||メキシコシティで「太陽の石」発掘(古代アステカ王朝6代皇帝アツヤカトルが作らせた?)

1790年12月18日-05:30|インド/イギリス| |||ニコイは英領インドに降伏

1790年12月22日-02:00|ルーマニア/ロシア/トルコ| ||ロシア暦12月11日|第2次ロシア・トルコ戦争で、ロシアがオスマン帝国の要塞イズマイルを占領

1790年12月24日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ジョン・オード」(2回目~17921017)

1790年12月27日-09:00|日本|京都府京都市上京区|寛政2年11月22日|内裏の造営がなり、光格天皇が聖護院仮御所から移る